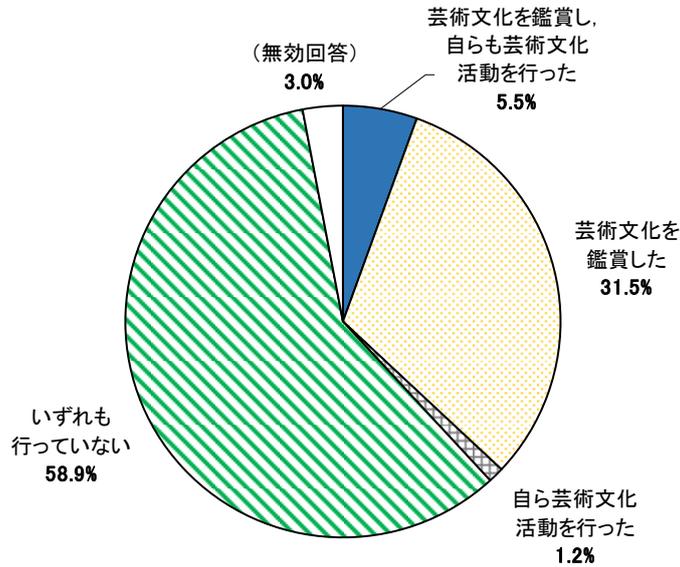


【芸術・歴史文化について】

問 46) あなたは、おおむね1年の間に、市内・市外を問わず、芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。

<全体 (n=1378) >

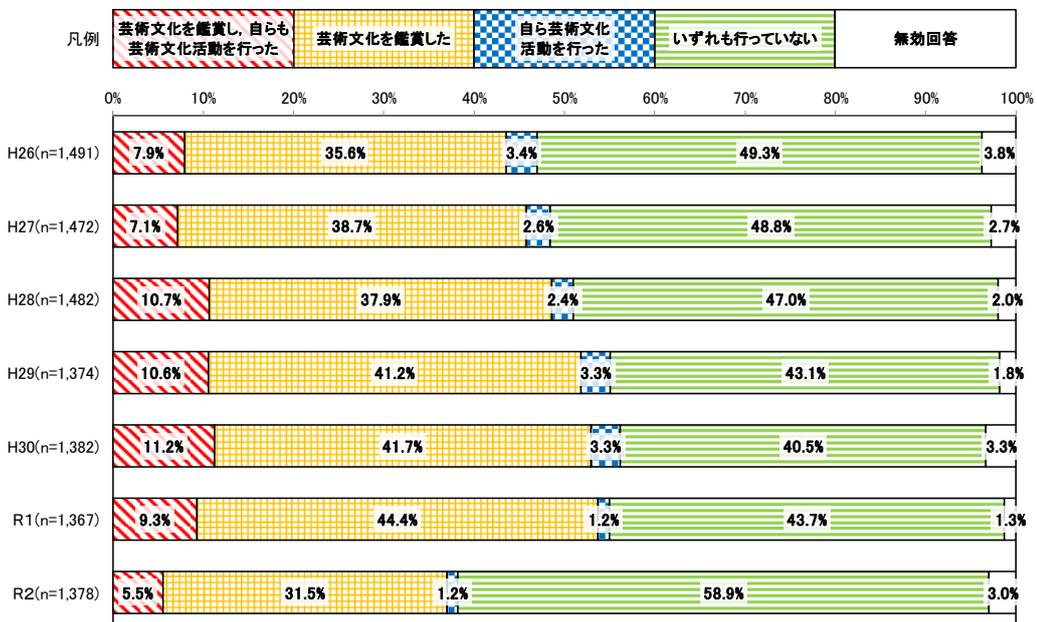
○「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」が5.5%、「芸術文化を鑑賞した」が31.5%、「自ら芸術文化活動を行った」が1.2%で、これらの合計が38.2%となっています。



<経年比較>

○「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」、「芸術文化を鑑賞した」、「自ら芸術文化活動を行った」の合計は、令和元年度まで増加傾向にありましたが、令和2年度は令和元年度の54.9%から16.7ポイント減少しています。

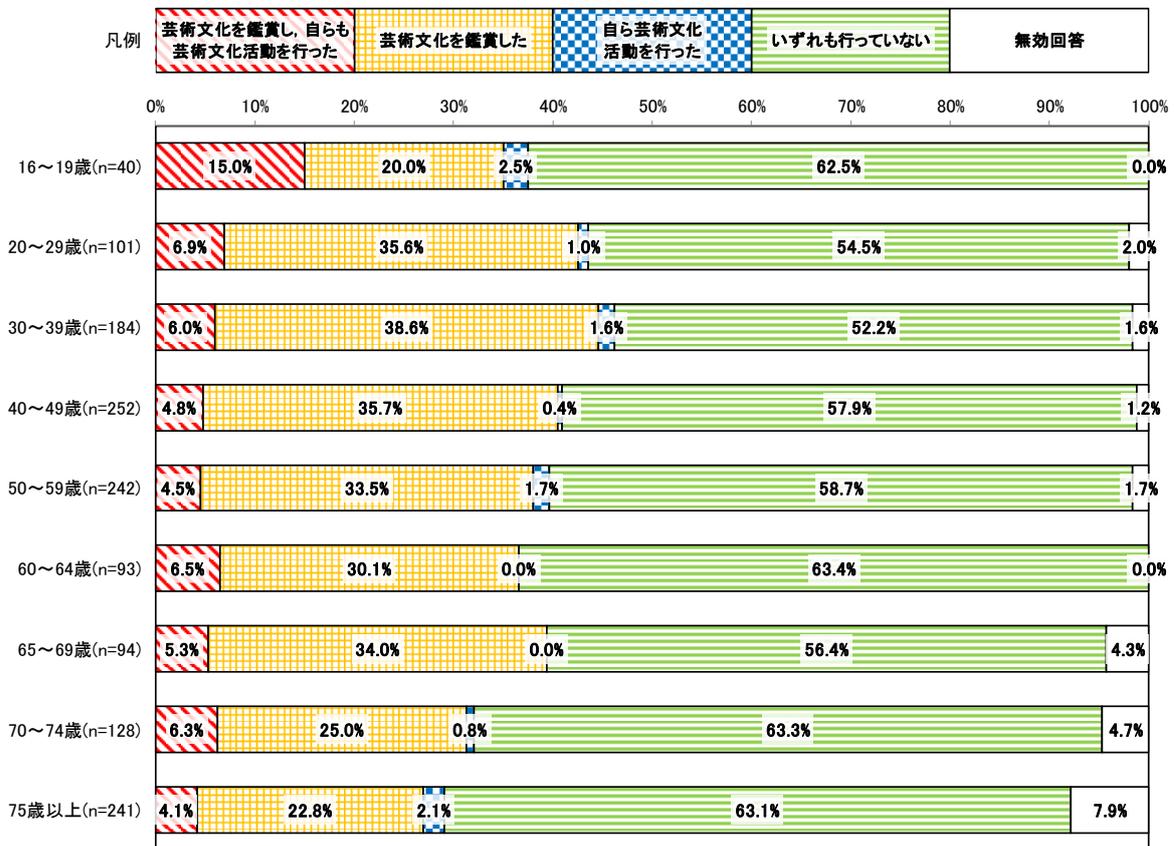
○一方、「いずれも行っていない」は、平成27年度以降おおむね減少傾向にありましたが、令和2年度は令和元年度の43.7%と比べて15.2ポイント増加しています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」、「芸術文化を鑑賞した」、「自ら芸術文化活動を行った」の合計が50%以下となっています。

○30～39歳では、「芸術文化を鑑賞し、自らも芸術文化活動を行った」、「芸術文化を鑑賞した」、「自ら芸術文化活動を行った」の合計が46.2%で、他の年齢層に比べ高くなっていますが、40歳以上ではおおむね年齢が上がるにつれて、低下しています。



問 46-1) 芸術文化を鑑賞した、または芸術文化活動を行った場所はどこですか。

<全体 (n=526) >

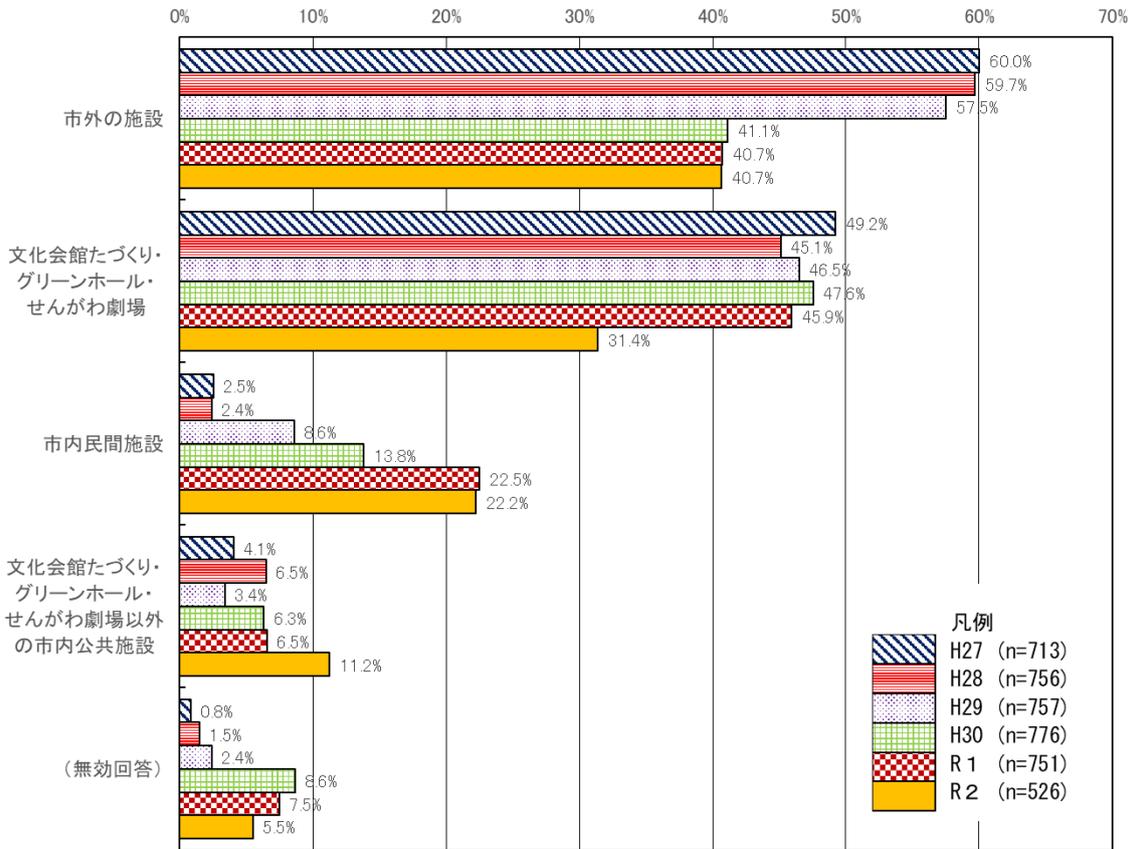
○「市外の公共・民間施設」の40.7%が最も高く、次いで「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」の31.4%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<経年比較>

○文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場は、令和元年度の45.9%から令和2年度の31.4%に大きく低下しています。



<年齢層別>

○20～69歳では、「市外の公共・民間施設」が高く、16～19歳では「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場以外の市内公共施設」、70歳以上では「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	526	15	44	85	103	96	34	37	41	70
市外の公共・民間施設	214	4	26	45	42	46	15	15	7	13
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場	165	2	2	12	22	23	12	14	30	48
市内民間施設	117	3	9	21	34	29	7	5	5	4
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場以外の市内公共施設	59	6	7	14	12	11	2	3	0	4
(無効回答)	29	1	4	3	3	4	2	3	0	9
	5.5%	6.7%	9.1%	3.5%	2.9%	4.2%	5.9%	8.1%	0.0%	12.9%

(上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が最も高い： 0.0%
 回答割合が2番目に高い： 0.0%

【主な市外の施設(主な回答)】

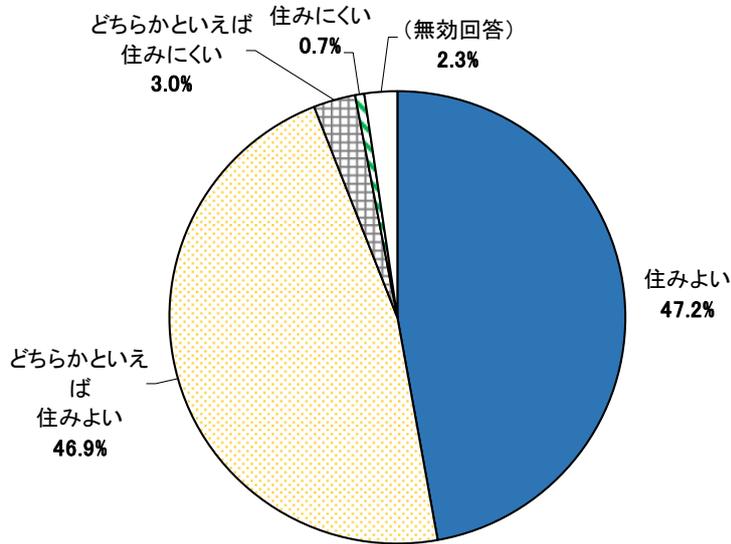
TOHOシネマズ府中(府中市)	国立新美術館(港区)
上野の森美術館(台東区)	東京芸術劇場(豊島区)
サントリーホール(港区)	府中の森芸術劇場(府中市)

【良質な市街地について】

問 47) あなたは、調布市を住みよいまちだと思いますか。

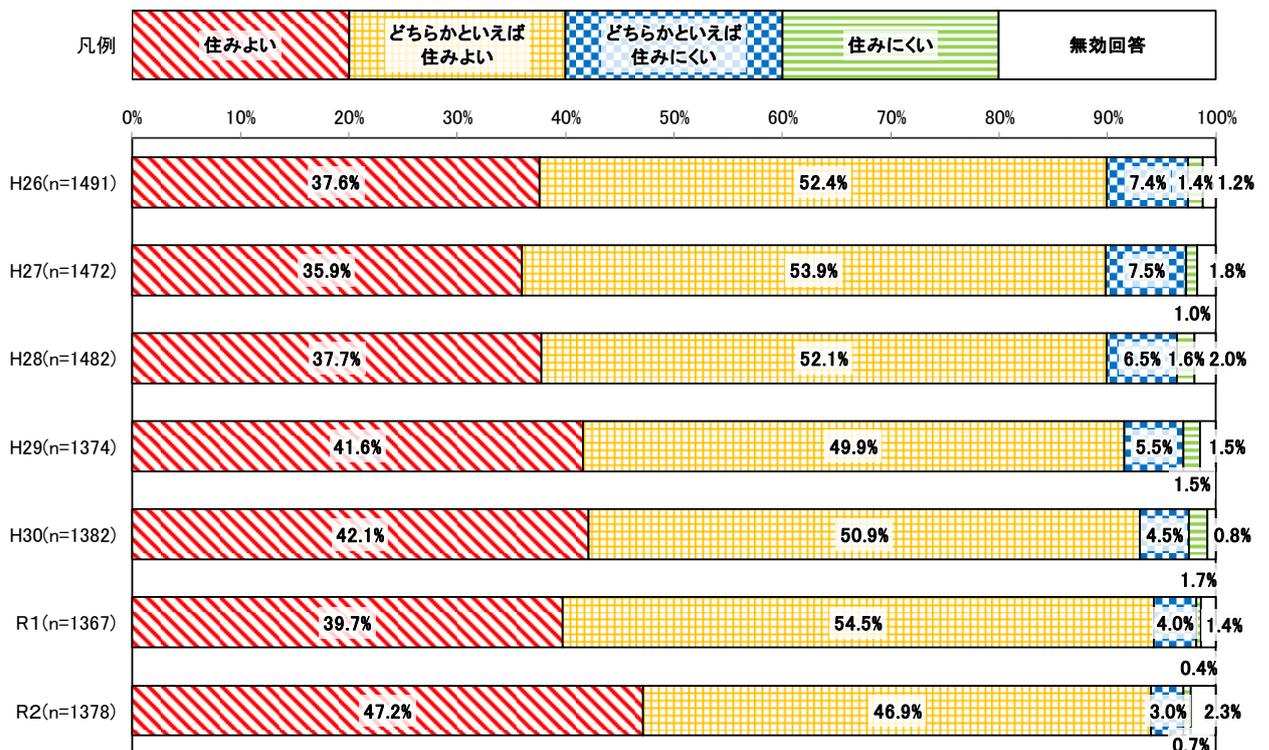
<全体 (n=1378) >

○「住みよい」は 47.2%, 「どちらかといえば住みよい」は 46.9%であり, 合計で 94.1%を占めています。



<経年比較>

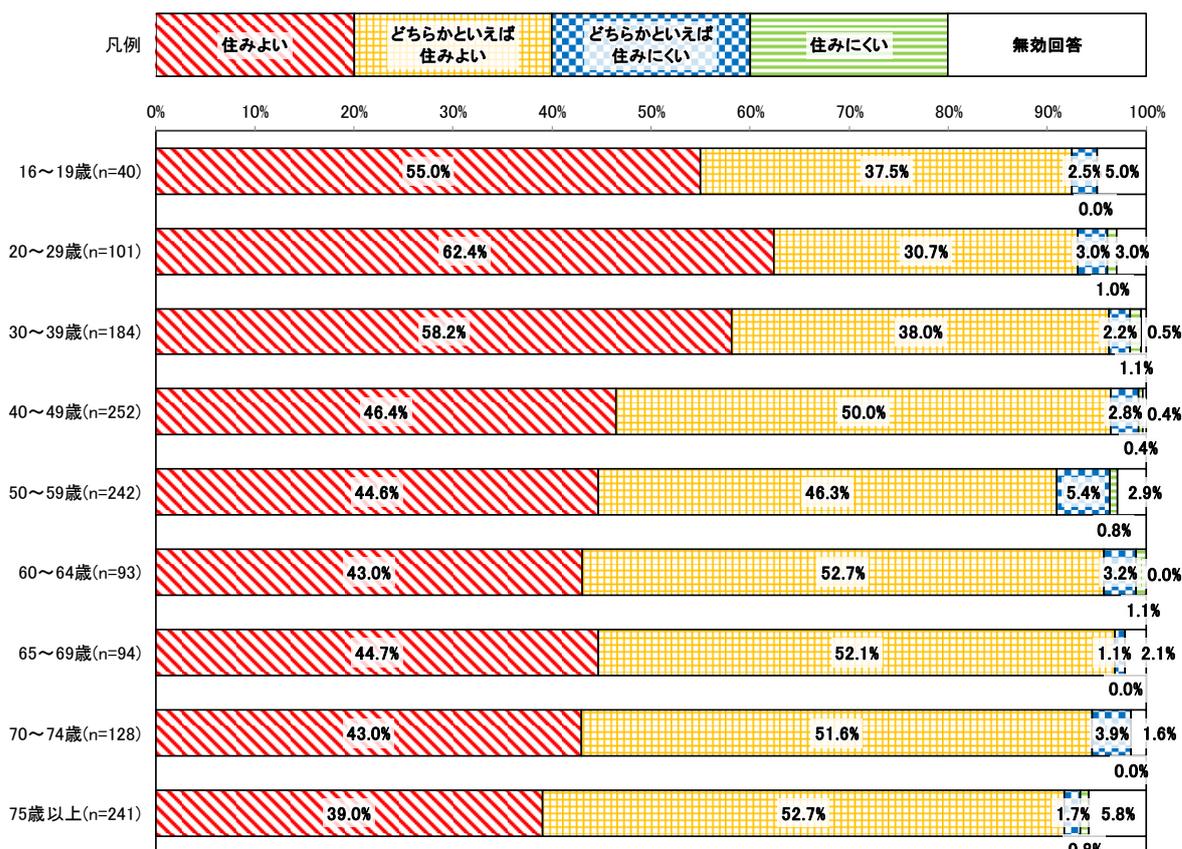
○「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は、平成 26 年度以降、いずれもおおむね 90%台で推移しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

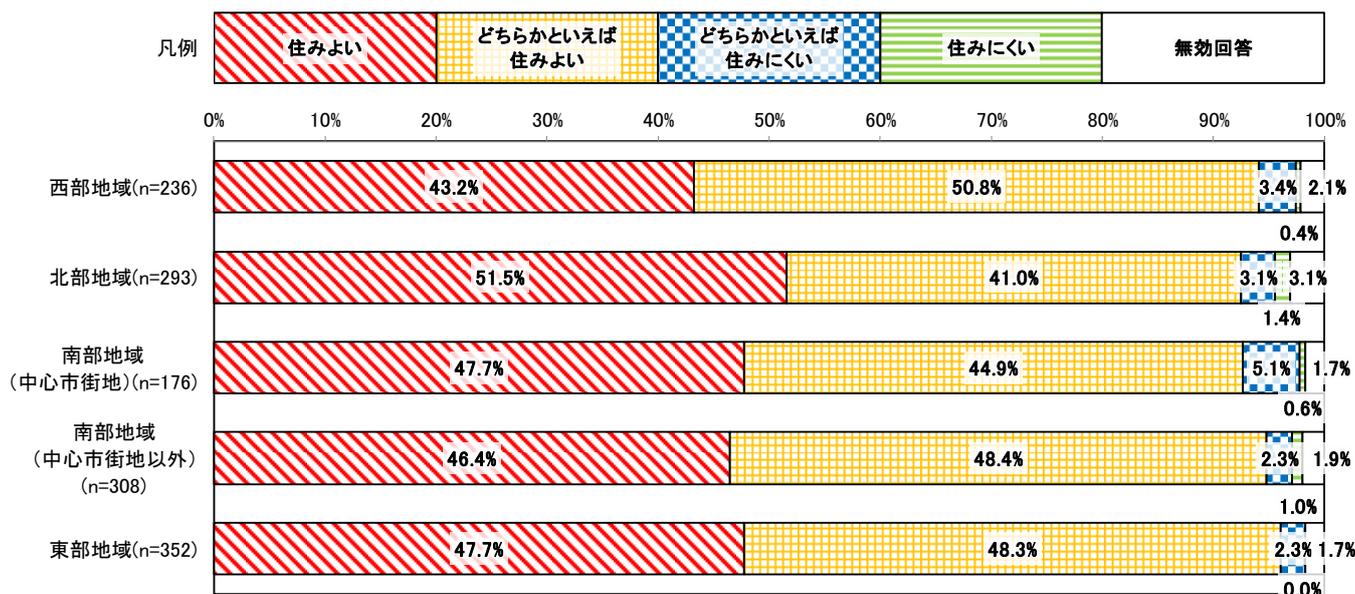
<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は90%台となっています。



<地域別>

○いずれの地域も、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計が90%台となっています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

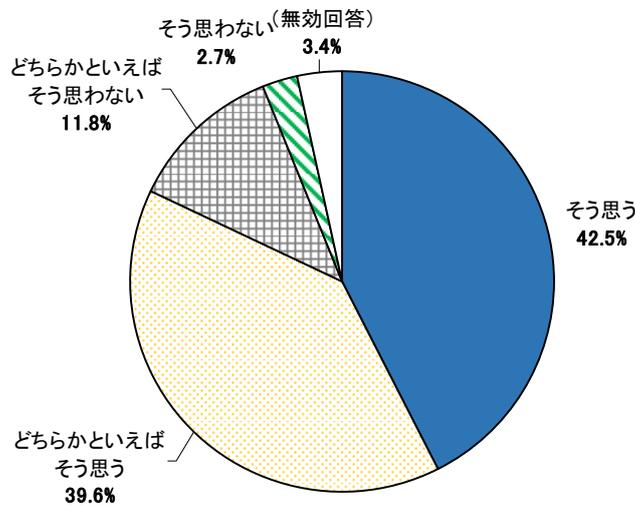
【図表 住みよい/住みにくいと思う理由】(261件)

「住みよい」, 「どちらかといえば住みよい」	「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」
<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い。 ・都心に近いが、自然が豊かである。 ・商業施設が色々そろっていて買い物しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い。 ・子供達が、自由に野球やサッカーなどができる広場（公園）が少ない

問 48) あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いますか。

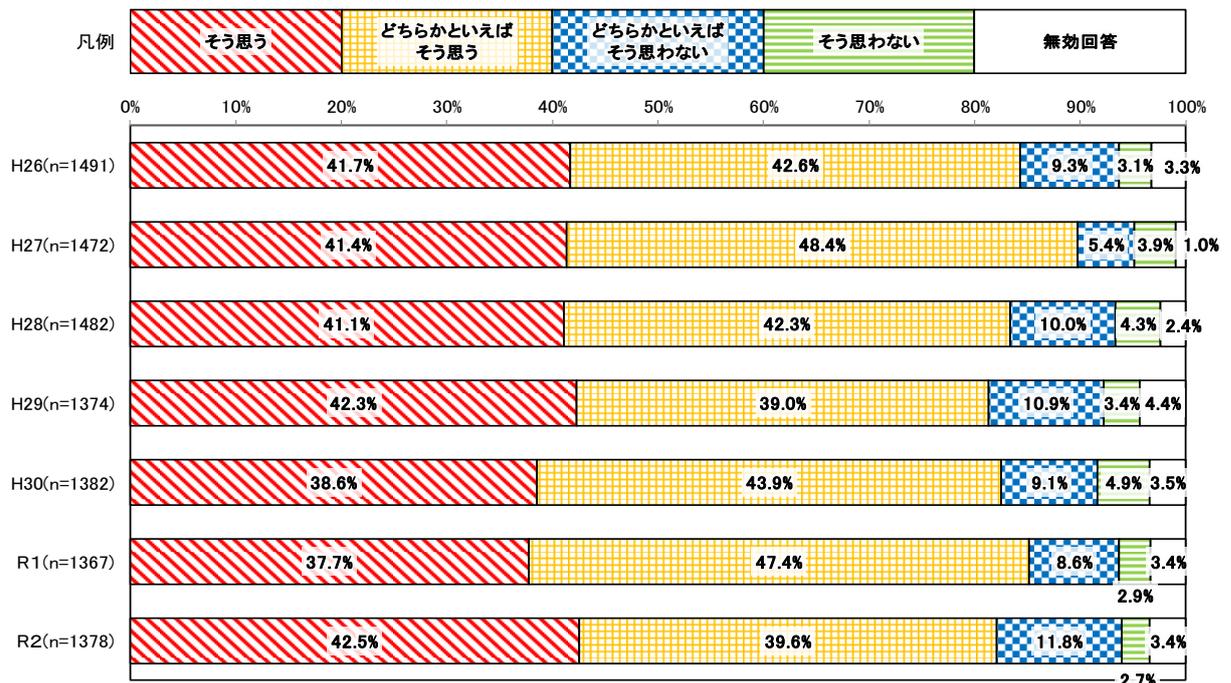
<全体 (n=1378) >

○「そう思う」は 42.5%, 「どちらかといえばそう思う」は 39.6%であり、合計で 82.1%を占めています。



<経年比較>

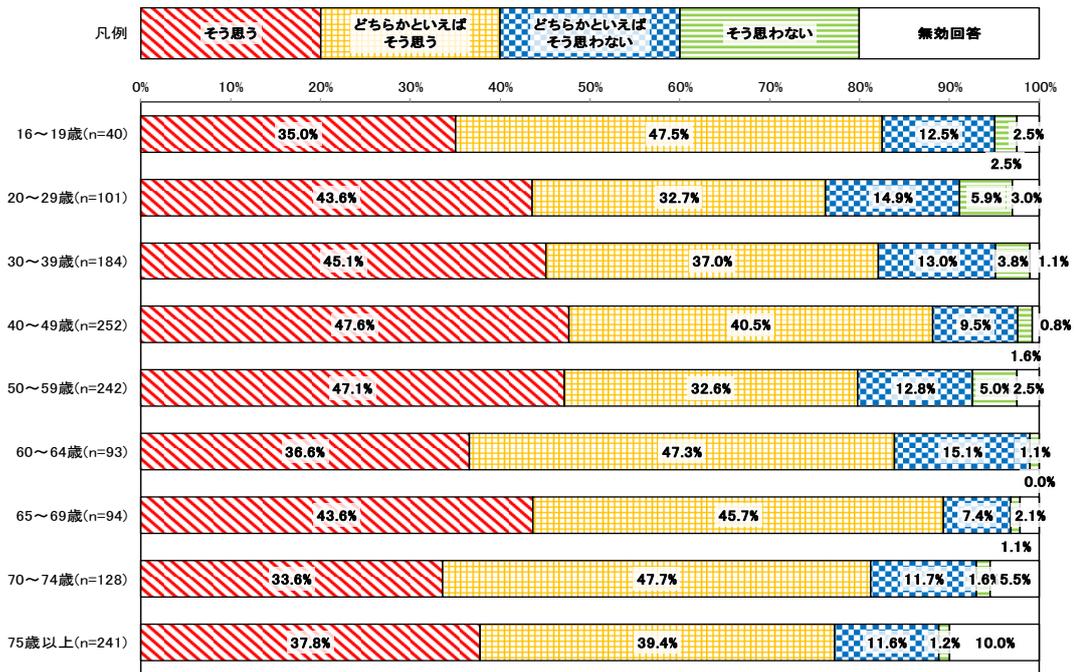
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、おおむね 80%台で推移しており、令和 2 年度は令和元年度と比べ 3.0 ポイント減少しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○20～29歳と50～59歳、75歳以上を除く年齢層で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が80%以上を占めています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

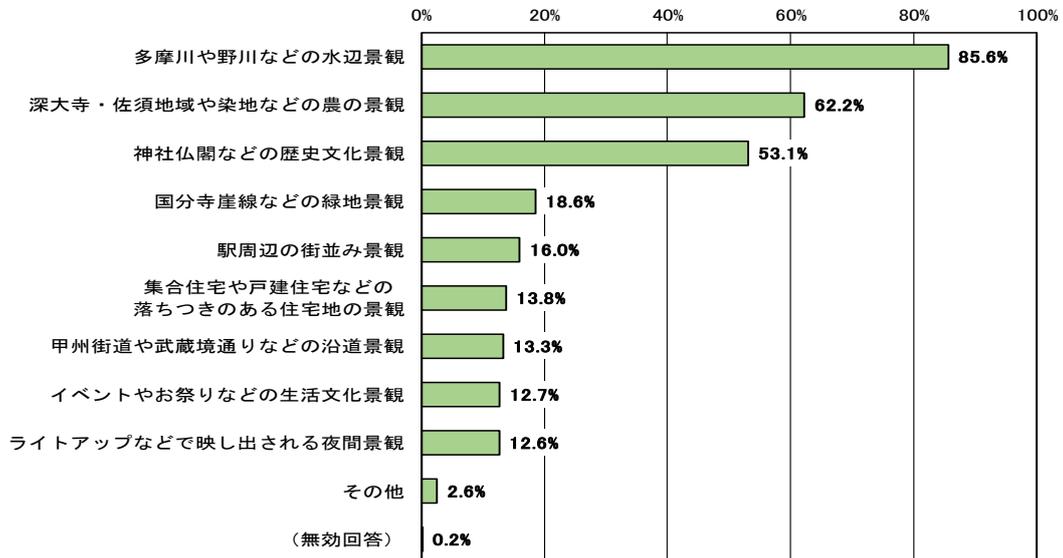
【図表 緑豊かなまちづくりや良好な景観づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(91件)

- ・ 相続問題、後継者問題に具体的、効果的な施策を行ってほしい。これ以上の農地減少を止めてほしい。
- ・ 直売所の野菜はスーパーで購入するものより美味しいのでずっと続いてほしい。
- ・ 市民農園を増やして。

問 48-1) 優れた景観だと思う場所はどこですか。

<全体 (n=1131) >

○「多摩川や野川などの水辺景観」が85.6%で最も高く、次いで「深大寺・佐須地域や染地などの農の景観」の62.2%、「神社仏閣などの歴史文化景観」の53.1%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「多摩川や野川などの水辺景観」が最も高く、「深大寺・佐須地域や染地などの農の景観」が2番目に高くなっています。

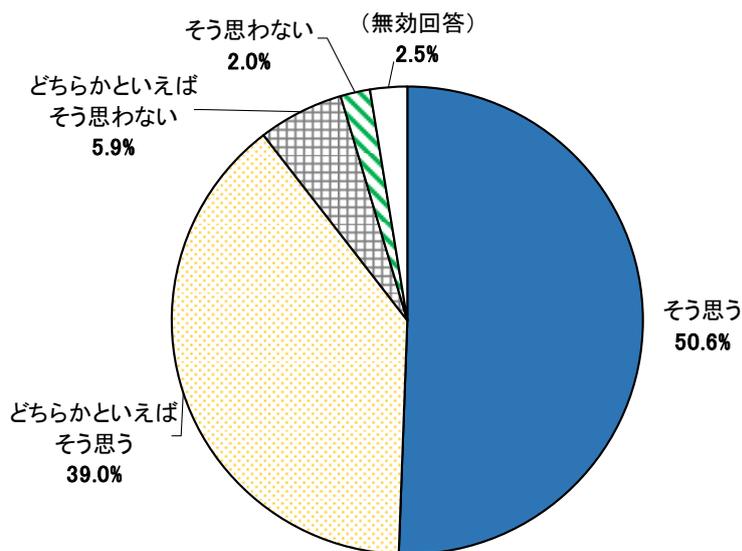
選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,131	33	77	151	222	193	78	84	104	186
多摩川や野川などの水辺景観	968	27	56	123	192	167	70	67	96	167
深大寺・佐須地域や染地などの農の景観	704	20	51	99	130	126	42	52	68	114
神社仏閣などの歴史文化景観	601	16	35	67	119	111	41	46	62	102
国分寺崖線などの緑地景観	210	2	7	12	26	50	14	12	28	59
駅周辺の街並み景観	181	9	13	31	27	28	13	12	17	31
集合住宅や戸建住宅などの落ちつきのある住宅地の景観	156	6	11	28	33	21	8	12	10	27
甲州街道や武蔵境通りなどの沿道景観	150	2	5	18	23	25	9	13	17	38
イベントやお祭りなどの生活文化景観	144	7	14	29	21	27	9	8	10	18
ライトアップなどで映し出される夜間景観	143	5	14	15	31	29	4	14	12	19
その他	29	0	2	6	4	7	5	1	1	3
(無効回答)	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0

(上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が最も高い： 0.0% 回答割合が2番目に高い： 0.0%

問49) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。

<全体 (n=1378) >

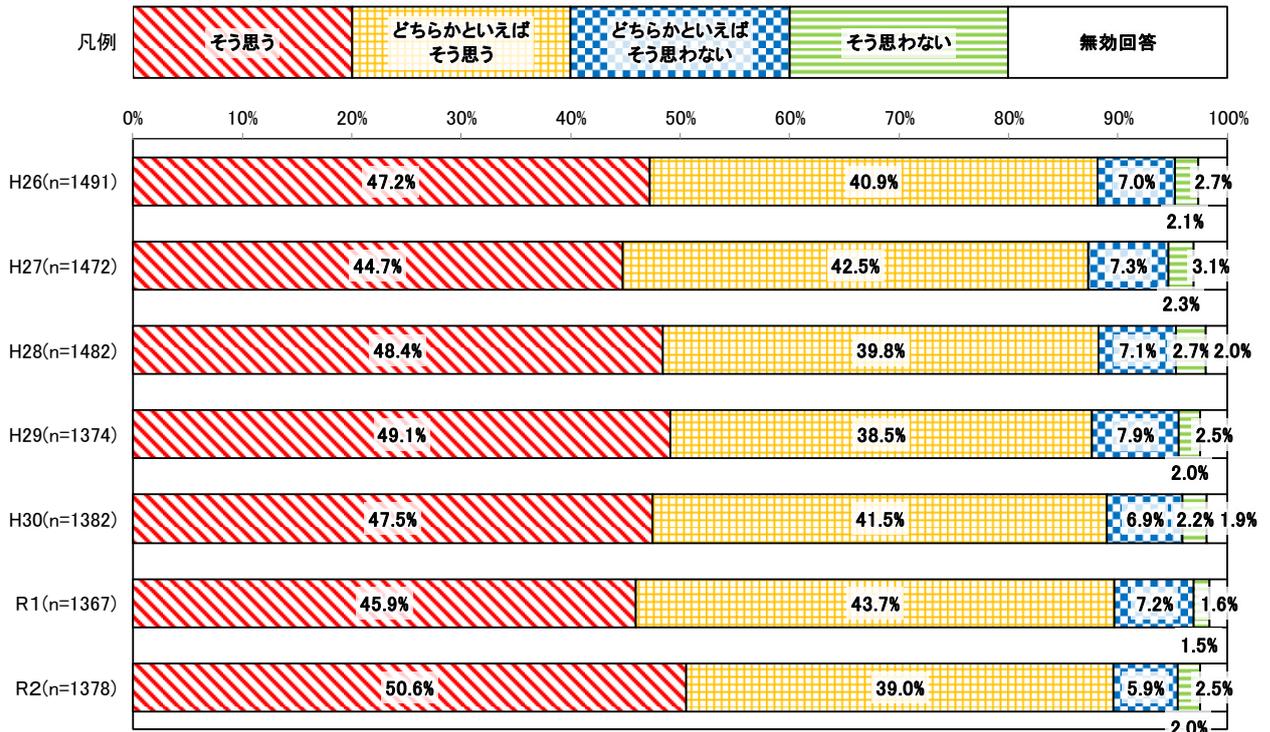
○「そう思う」は50.6%、「どちらかといえばそう思う」は39.0%であり、合計で89.6%を占めています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

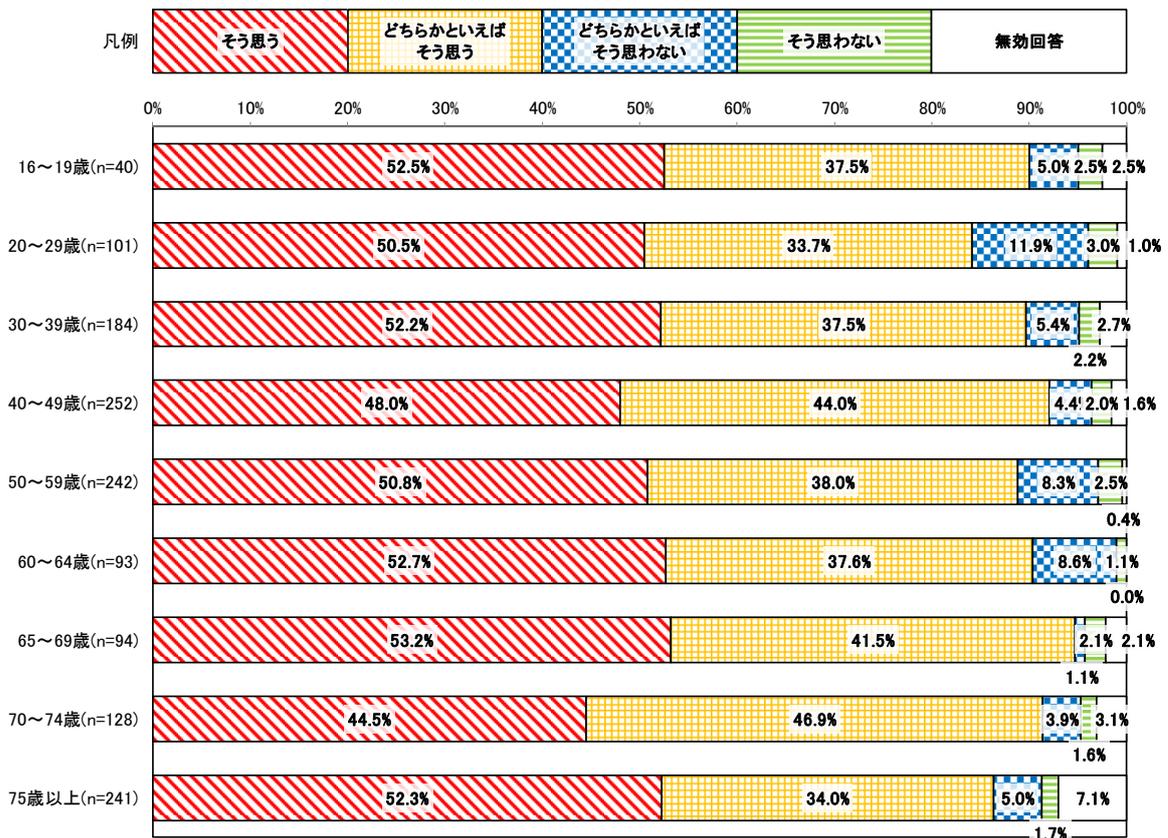
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成26年度以降、一貫して80%台で推移しています。



<年齢階層別>

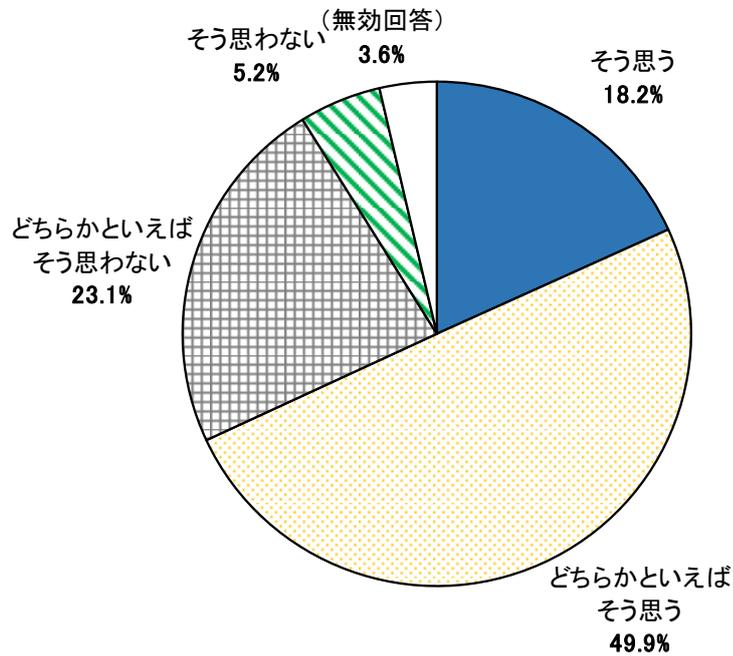
○65～69歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が94.7%と最も高く、次いで40～49歳の92.0%、70～74歳の91.4%となっています。



問 50) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的な街であると思いますか。

<全体 (n=1378) >

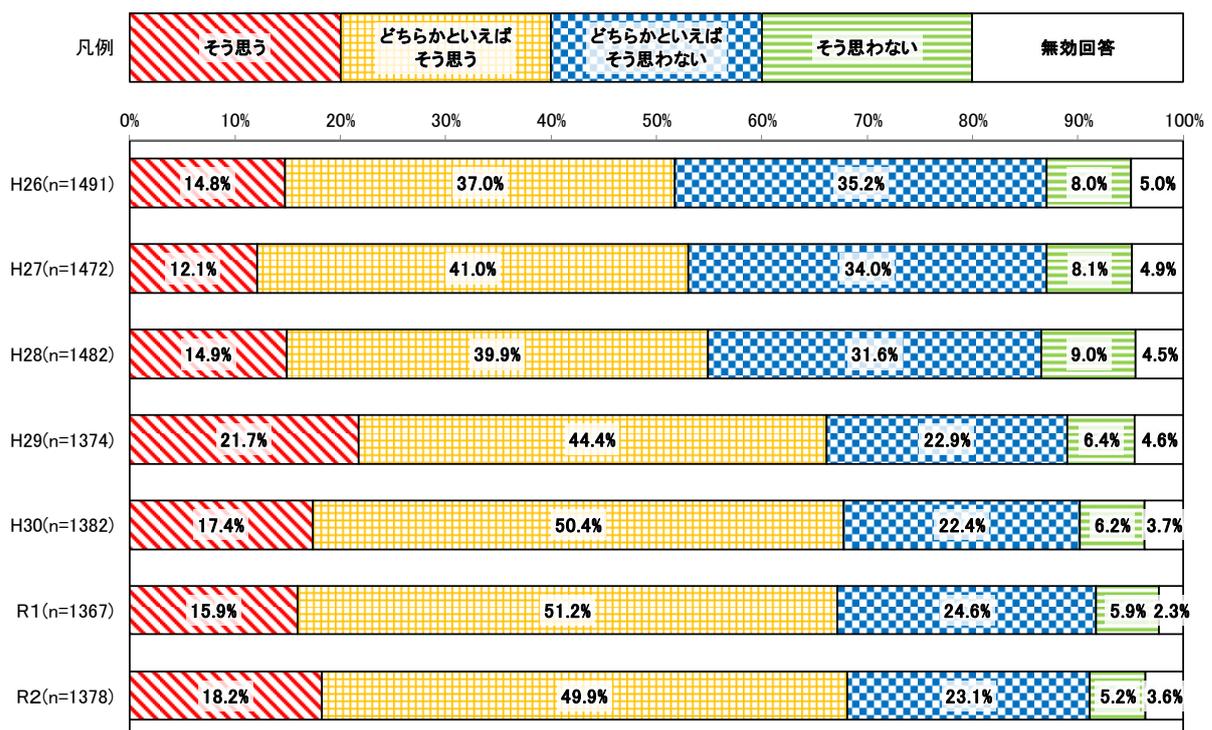
○「そう思う」が18.2%、「どちらかといえばそう思う」が49.9%で、合計で68.1%を占めています。



<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成27年度以降、おおむね増加傾向で推移しており、平成29年度以降はいずれも60%台となっています。

○一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は、平成29年度以降、30%前後で推移しています。

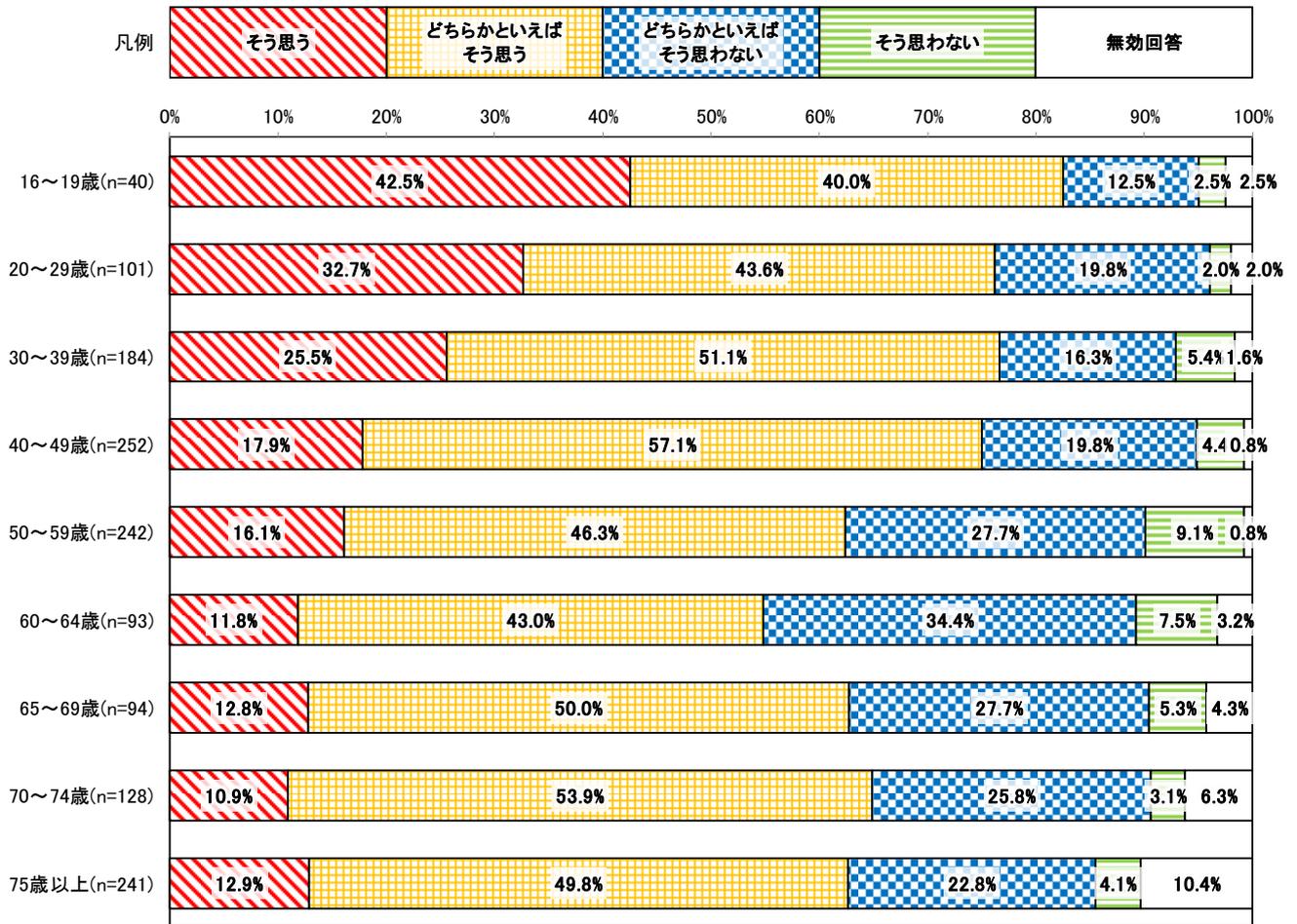


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○49歳以下では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が70%を超えています。

○60～64歳では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計が41.9%と、他の年齢層に比べて高くなっています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

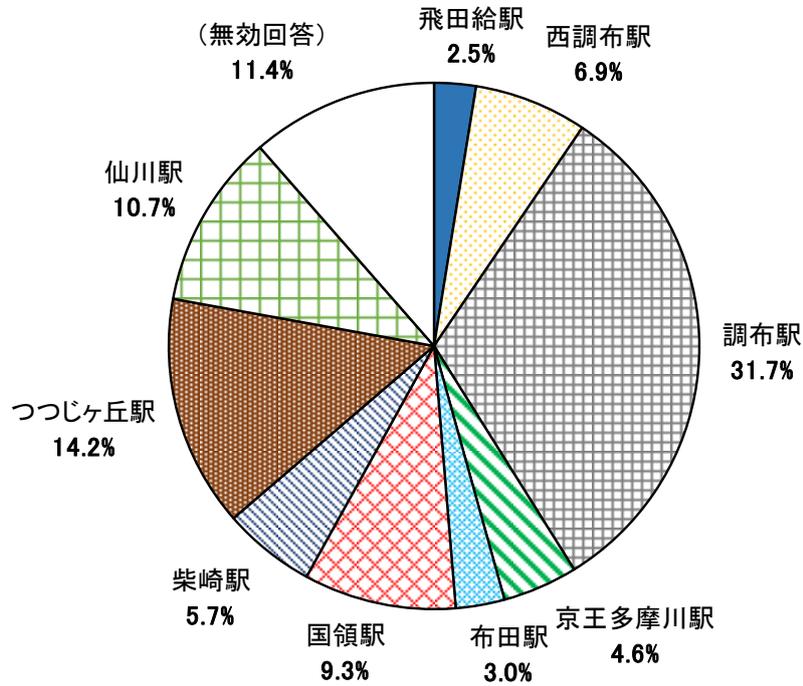
【図表 中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的な街であると思う/思わない理由】（67件）

	理由（385件）	意見・提案（186件）
「そう思う」 「どちらかといえば そう思う」	<ul style="list-style-type: none"> 京王線が地下化され、駅周辺がすっきり整備されて大変良い。 特に調布駅周辺はきれいに整備されて、商業施設がまとまっている点 必要なものは、だいたい手に入る。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前ロータリーには、タクシーバス以外が一時駐車できるスペースがほしい。 布田・国領駅周辺についてはもう少し考えた方が良くと思う。広いだけの広場が無駄に感じられる。
「どちらかといえば そう思わない」 「そう思わない」	<ul style="list-style-type: none"> 布田、国領が盛り上がっているとは思えない。 線路の跡地を広場にするなど、有効活用したほうがよい 道路がせまい。調布駅周辺の渋滞がひどい。 	<ul style="list-style-type: none"> 京王線あと地の有効利用を中心に、道路、歩道等のインフラ整備を急ぐ！駐輪、駐車場の充実。 緑を多くして欲しい。

問51) あなたは、普段どの駅を利用しますか。

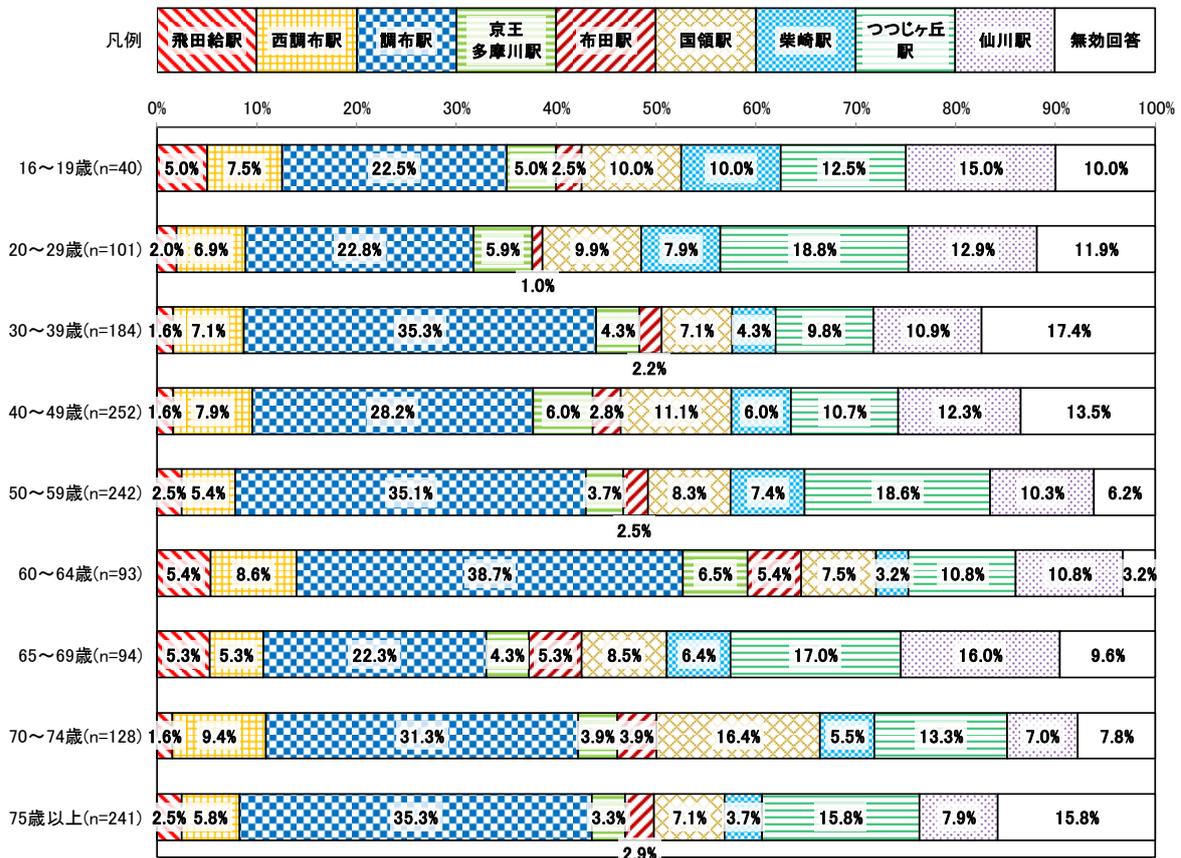
<全体 (n=1378) >

○「調布駅」が31.7%で最も高く、次いで「つつじヶ丘駅」の14.2%、「仙川駅」の10.7%、「国領駅」の9.3%の順となっています。



<年齢層別>

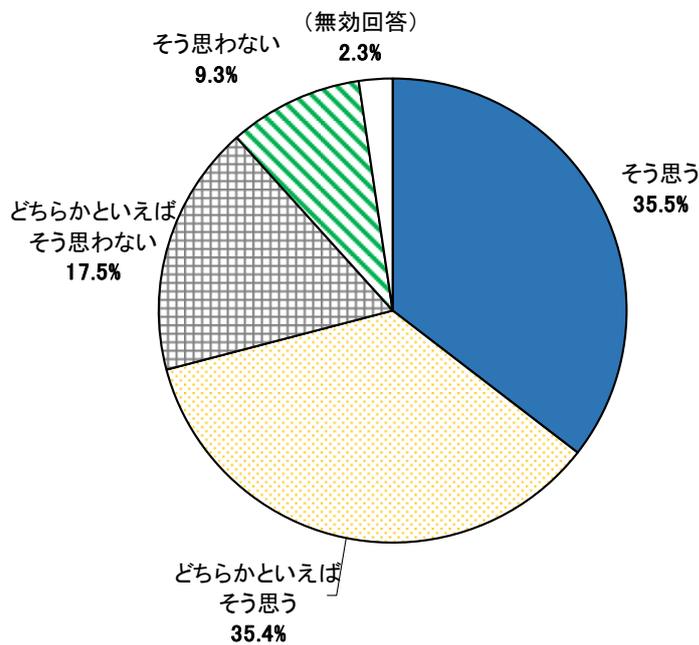
○いずれの年齢層も、調布駅が最も高くなっています。



問 51-1) あなたはその駅の周辺は利便性が高いと思いますか。

<全体 (n=1378) >

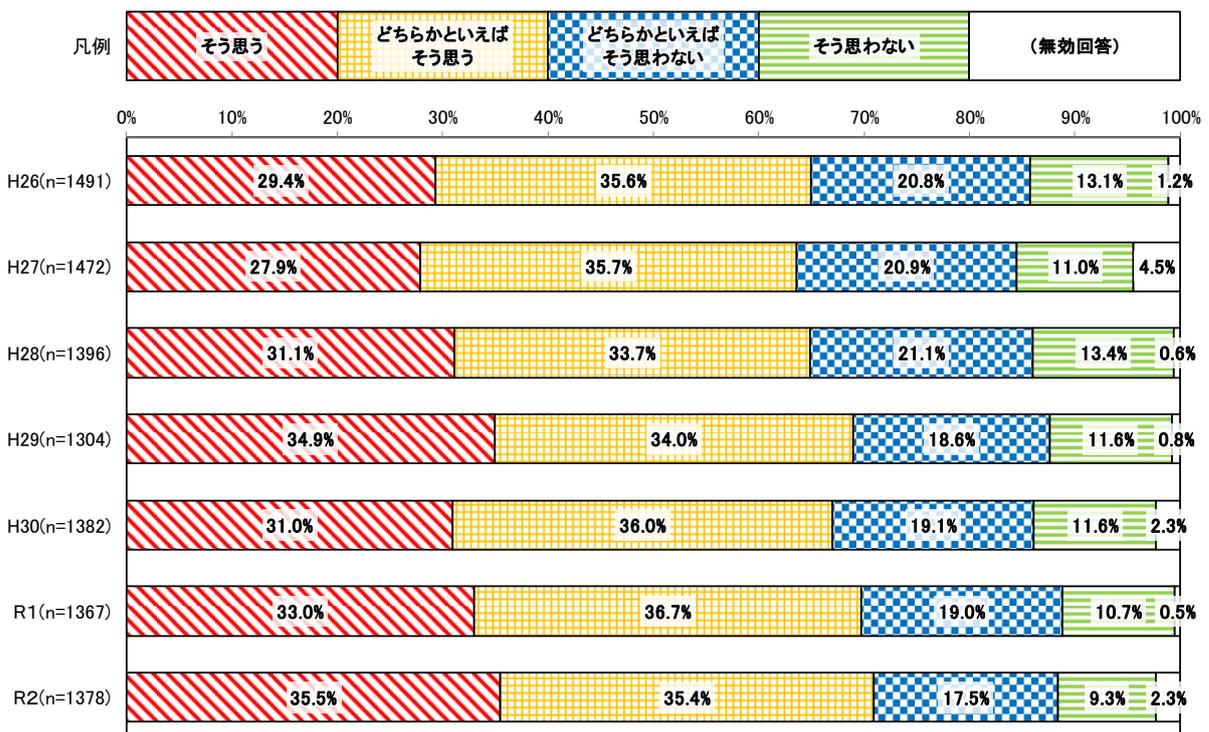
○「そう思う」が 35.5%、「どちらかといえばそう思う」が 35.4%で、合計 70.9%を占めています。



<経年比較>

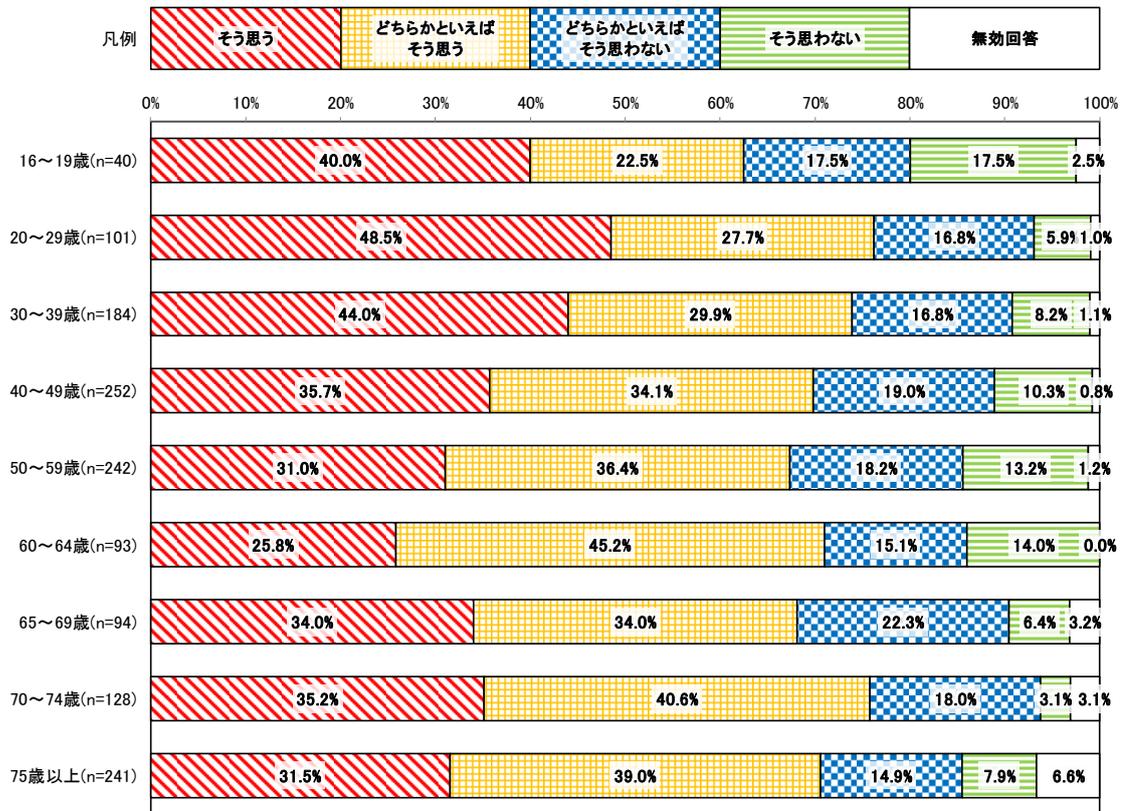
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 26 年度以降、おおむね増加傾向で推移しており、令和 2 年度は令和元年度に比べ 1.2 ポイント増加しています。

○一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は、平成 26 年度以降、おおむね減少傾向で推移しており、令和 2 年度は令和元年度に比べ 2.9 ポイント減少しています。



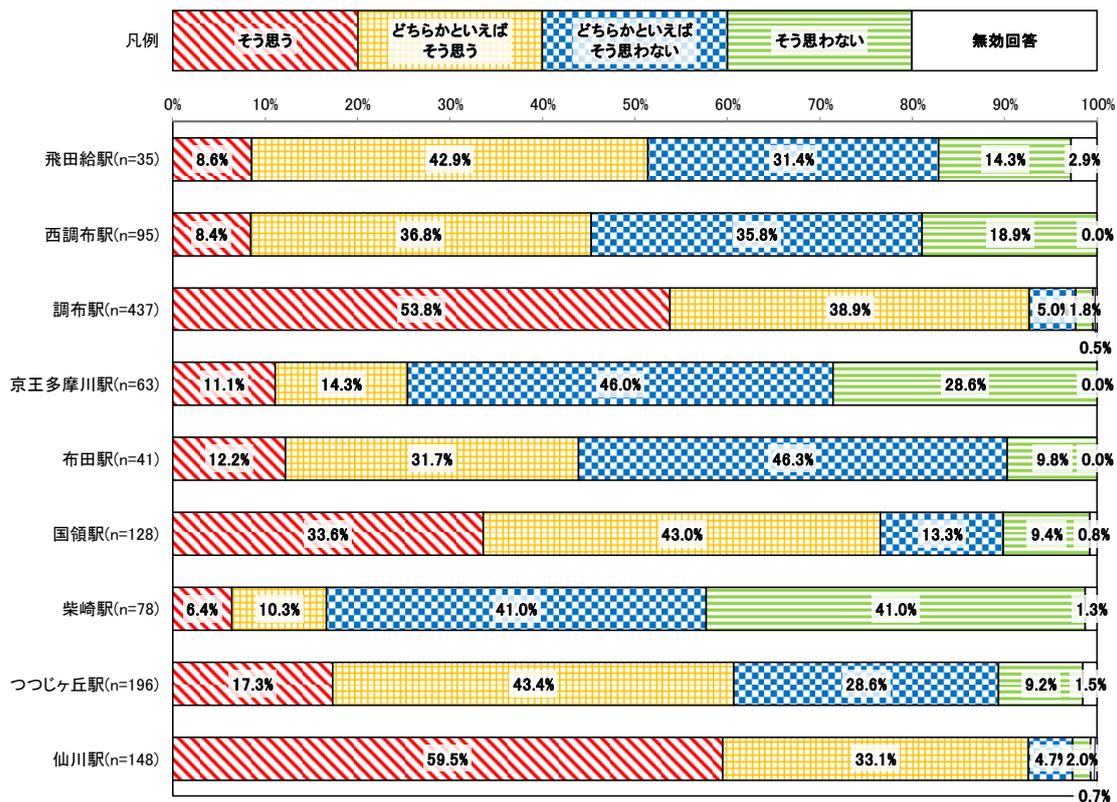
<年齢層別>

○20～29歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が76.2%と最も高く、次いで70～74歳の75.8%、30～39歳の73.9%の順となっています。



<利用駅別>

○「そう思う」について、「調布駅」及び「仙川駅」では50%台、「国領駅」では30%台となっている一方、それ以外の駅ではいずれも20%を下回っています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

【図表 普段利用する駅周辺のまちづくりについてのご意見・ご提案】(264件)

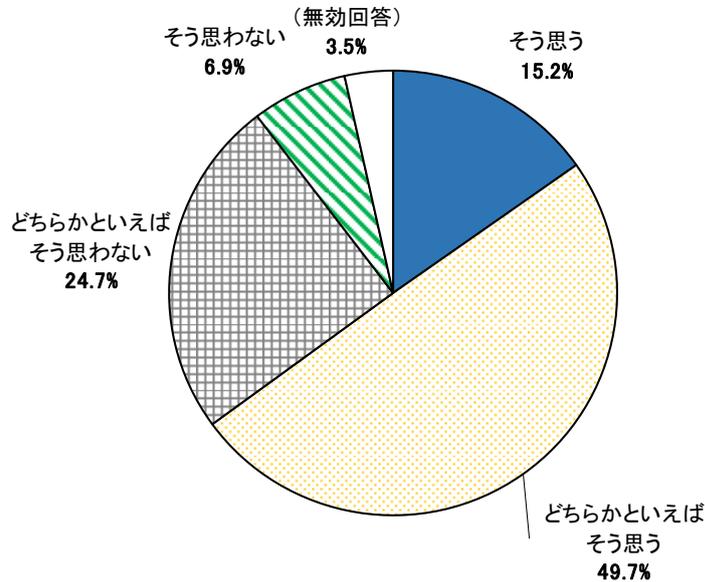
飛田給駅 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅南口に大きなスペースがある，早く整備し有効に活用してもらいたい。 ・ 今はスポーツの事が少ないけど，土，日はにぎやかで困ります。
西調布駅 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅の南側商店街の道路・歩道が狭いのに交通量や歩行者が多いので危険です。 ・ カフェやファストフードなど，もう少し気軽に飲食できる店があると大変助かる (西調布はカフェ不毛の地とも聞いていますが…)
調布駅 (44件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北口，南口のロータリー発着のバス乗場の案内板が駅の中央改札口から出て地上に出た時に，もう少し目に付きやすい場所にわかりやすく設置してほしい。 ・ 毎時間ではないが，パルコ前のバス停が羽田成田行きミニバスと同じ所なので，出来たら空港行のバス停を他に持って行ってほしい。トリエ側からパルコのバス停，身体の悪い者にはつらい。 ・ ファミリー層が多い印象だが，ファミリー向けの商業施設が少ないので，その辺りを増やしてほしい。
京王多摩川駅 (27件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーがなく買い物に困る。 ・ 利便性は高くありませんが，自然が多く住みやすさを感じています。
布田駅 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 布田駅周辺に大きなスーパーがほしい。 ・ 銀行がない。スーパーがない。交番がない。
国領駅 (26件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場が駅前にあり便利だが，急行が止まればもっとありがたい。歩道がせますぎる。 ・ 駅前の信号がひとつなくなり不便になった。
柴崎駅 (26件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柴崎駅周辺の踏切がなかなか開かないときがある。車と歩行者の距離が近く危険を感じる。 ・ 駅まわりのタバコのごみが気になります。
つつじが丘駅 (56件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業施設や医療施設が整っていない。 ・ 活気ある商店街を取り戻してほしい。
仙川駅 (25件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「駅周辺」，「仙川商店街」，「農地」，「住宅街」が適度に分散している。いろいろな年代の住民が居てバランスがよい。 ・ 駅前の桜の木をこれからも大切にしてほしい。

【道路・交通について】

問 52) あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。

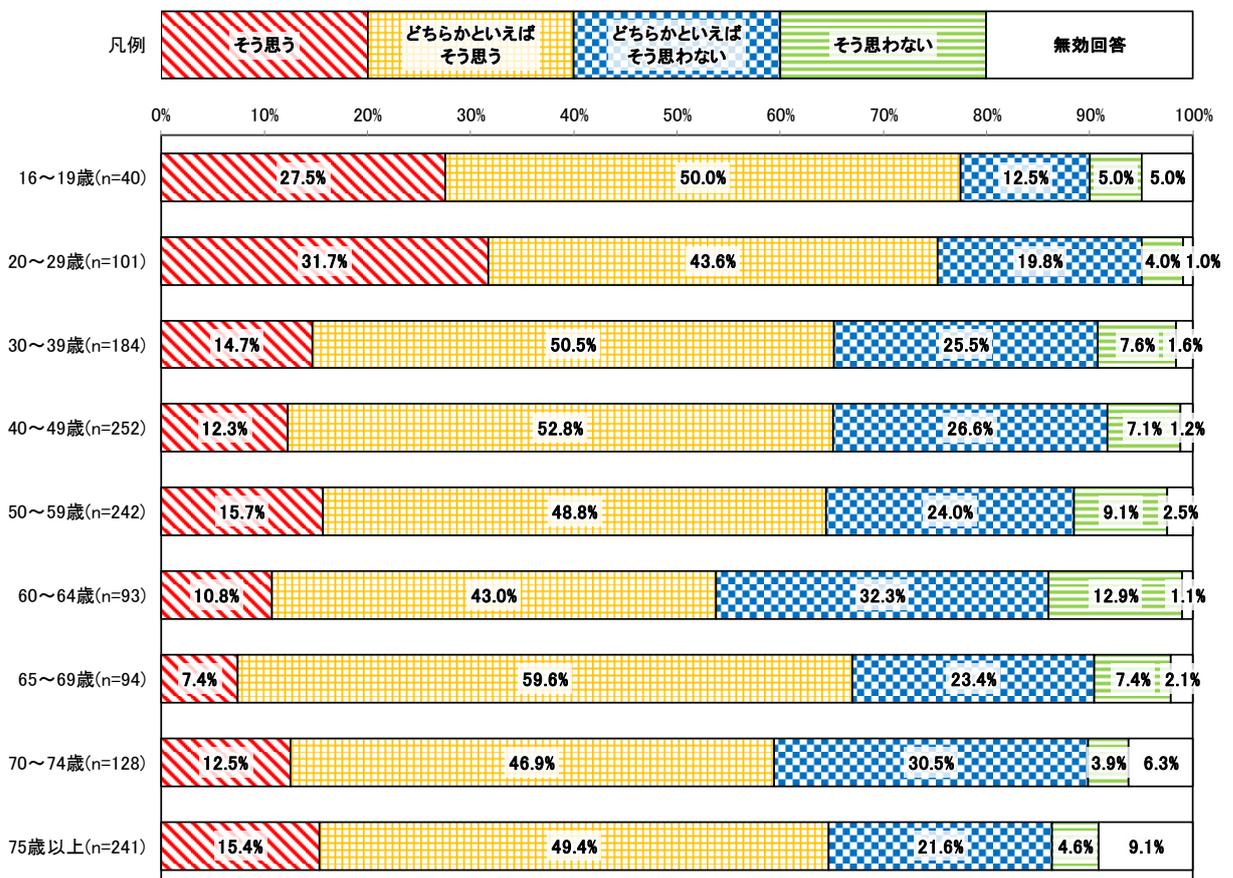
<全体 (n=1378) >

○「そう思う」が15.2%、「どちらかといえばそう思う」が49.7%で、合計で64.9%を占めています。



<年齢層別>

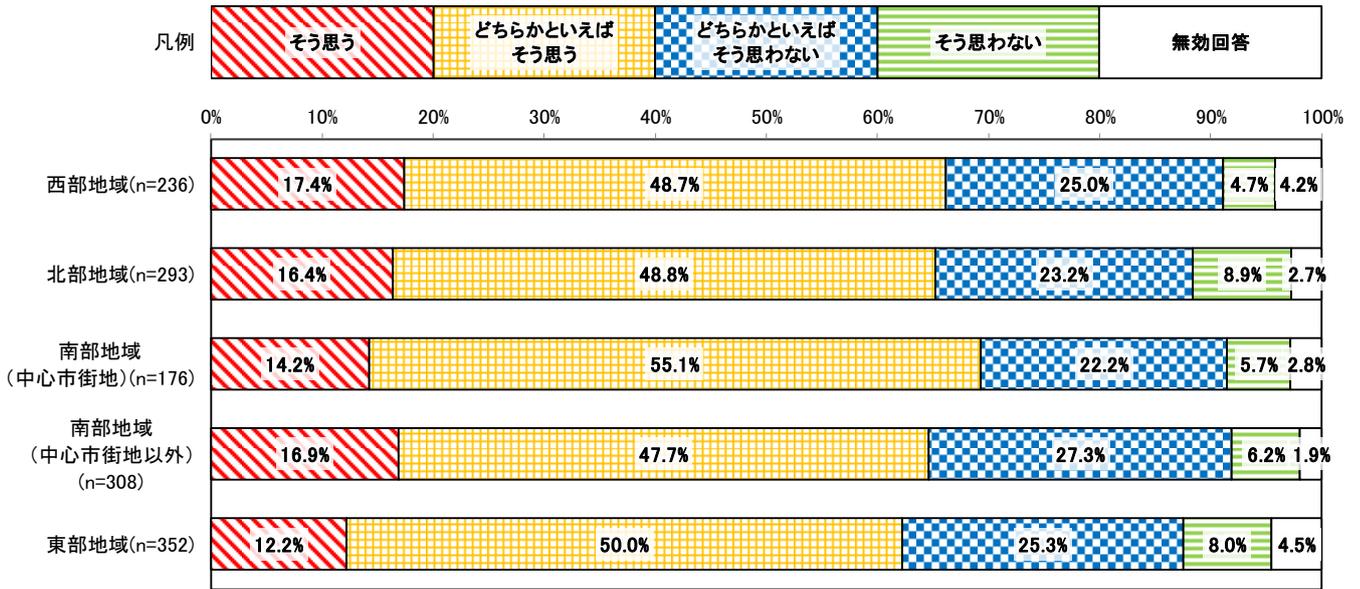
○16～19歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が77.5%で最も高く、次いで20～29歳の75.3%、65～69歳の67.0%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

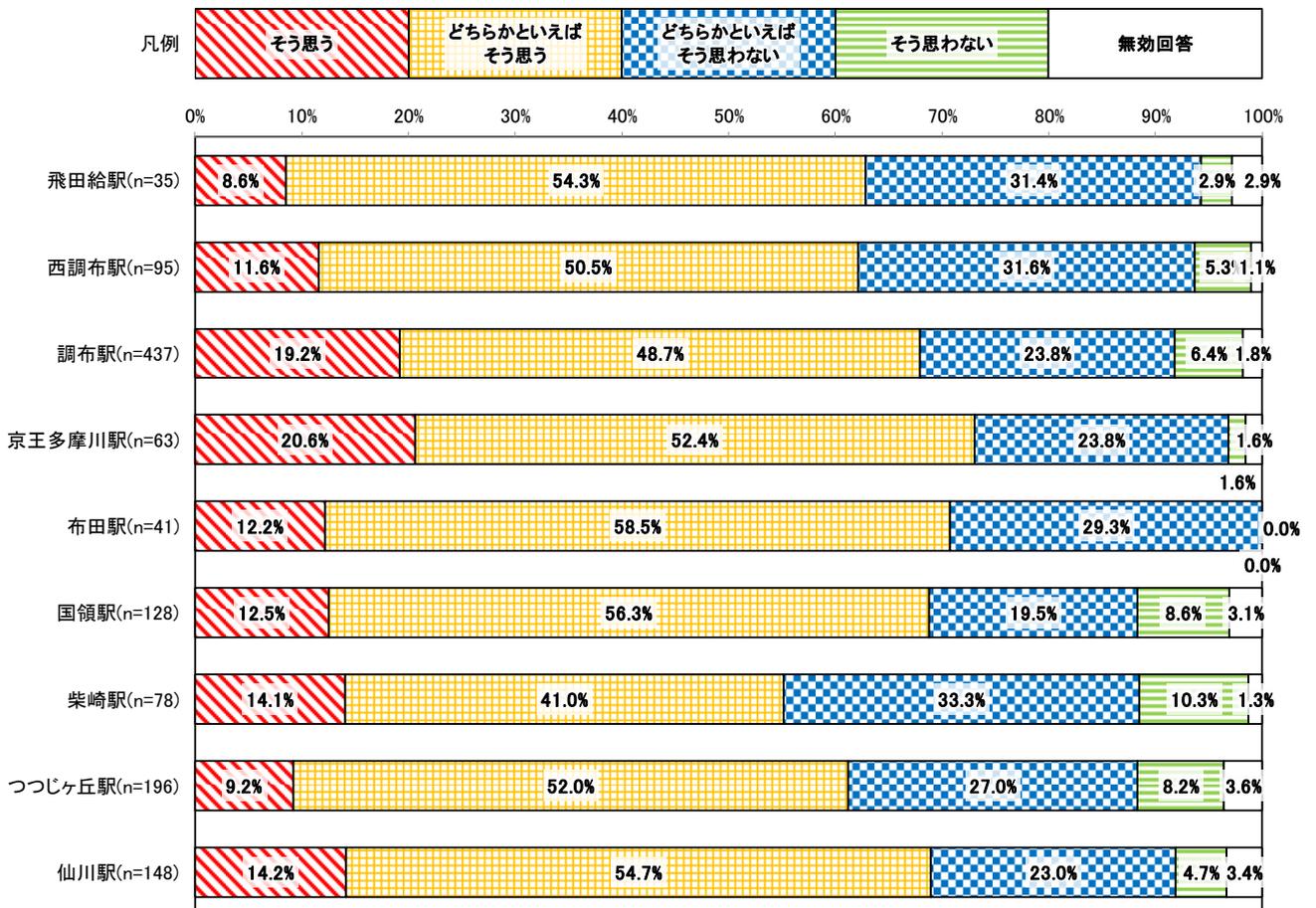
<地域別>

○すべての地域で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が60%を超えています。



<利用駅別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、京王多摩川駅が73.0%で最も高く、次いで布田駅の70.7%の順となっています。また、飛田給駅、西調布駅、調布駅、国領駅、つつじヶ丘駅、仙川駅でも60%台となっています。

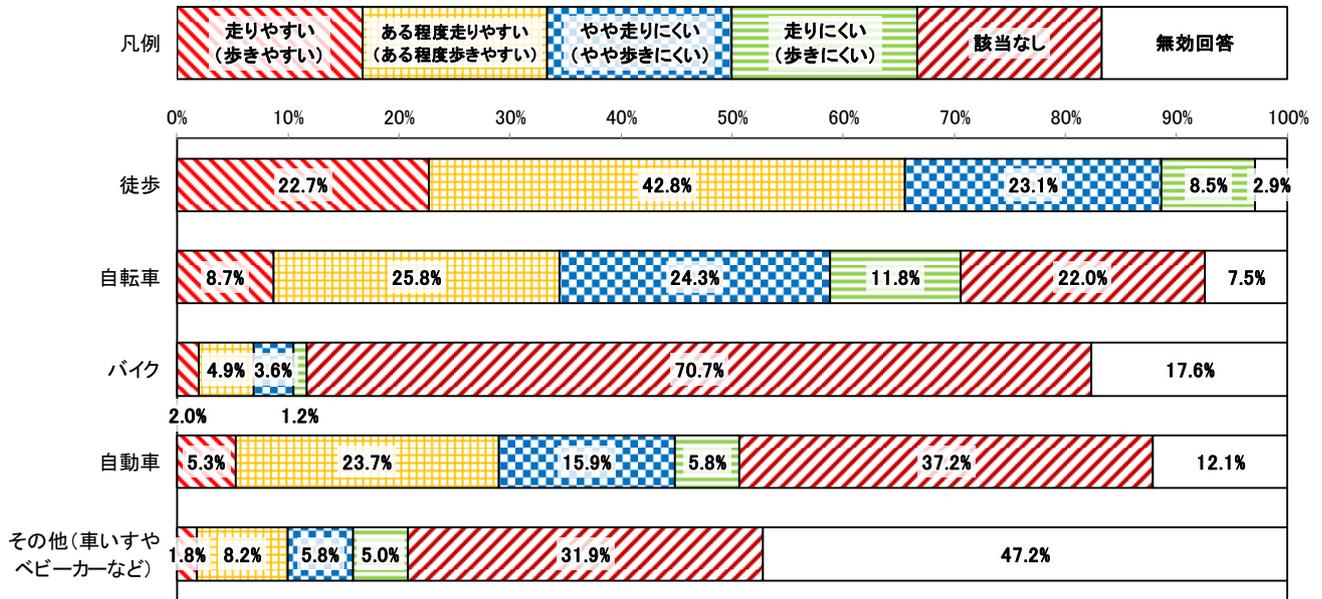


問 53) あなたは、ふだん利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。

<全体 (n=1378) >

○徒歩では、「歩きやすい」が22.7%、「ある程度歩きやすい」が42.8%で、合計で65.5%を占めています。

○自転車では、「やや走りにくい」が24.3%、「走りにくい」が11.8%で、合計で36.1%を占めています。

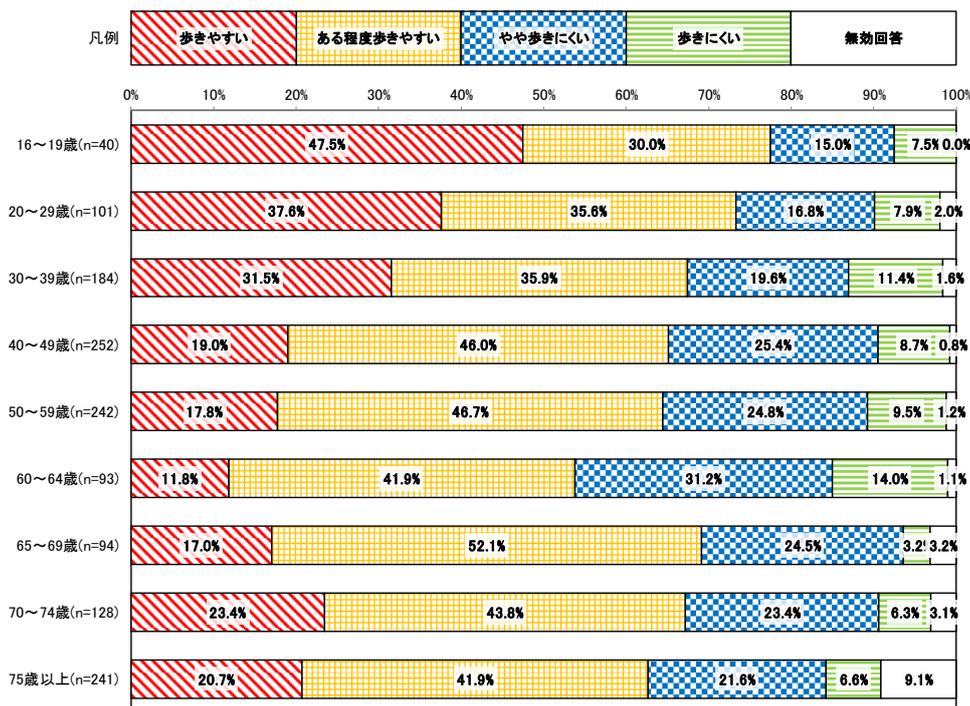


<年齢層別>

○「ア 徒歩」では、いずれの年齢層も「歩きやすい」と「ある程度歩きやすい」の合計が50%を超えています。

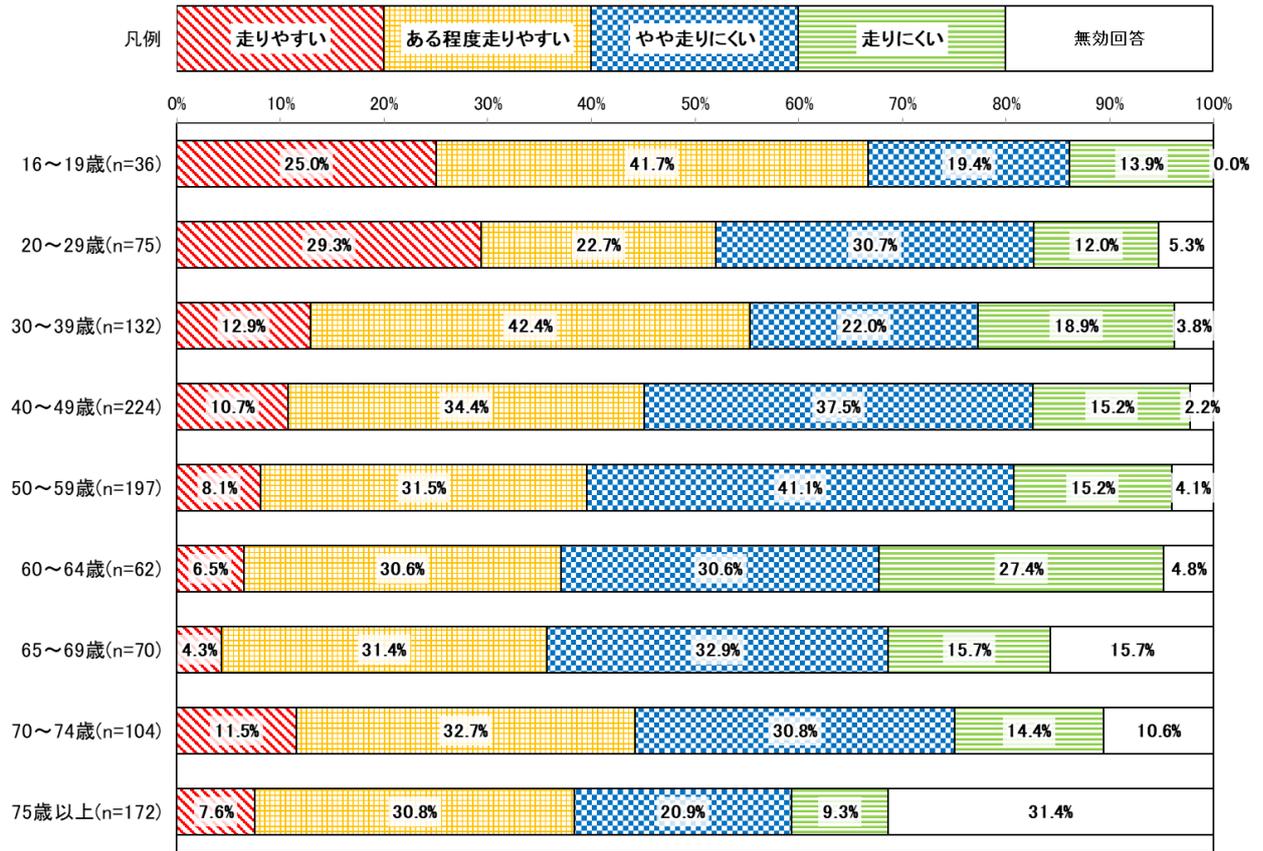
○「イ 自転車」では、16~19歳で「走りやすい」が25.0%、「ある程度走りやすい」が41.7%、両者の合計が66.7%となっています。

ア 徒歩

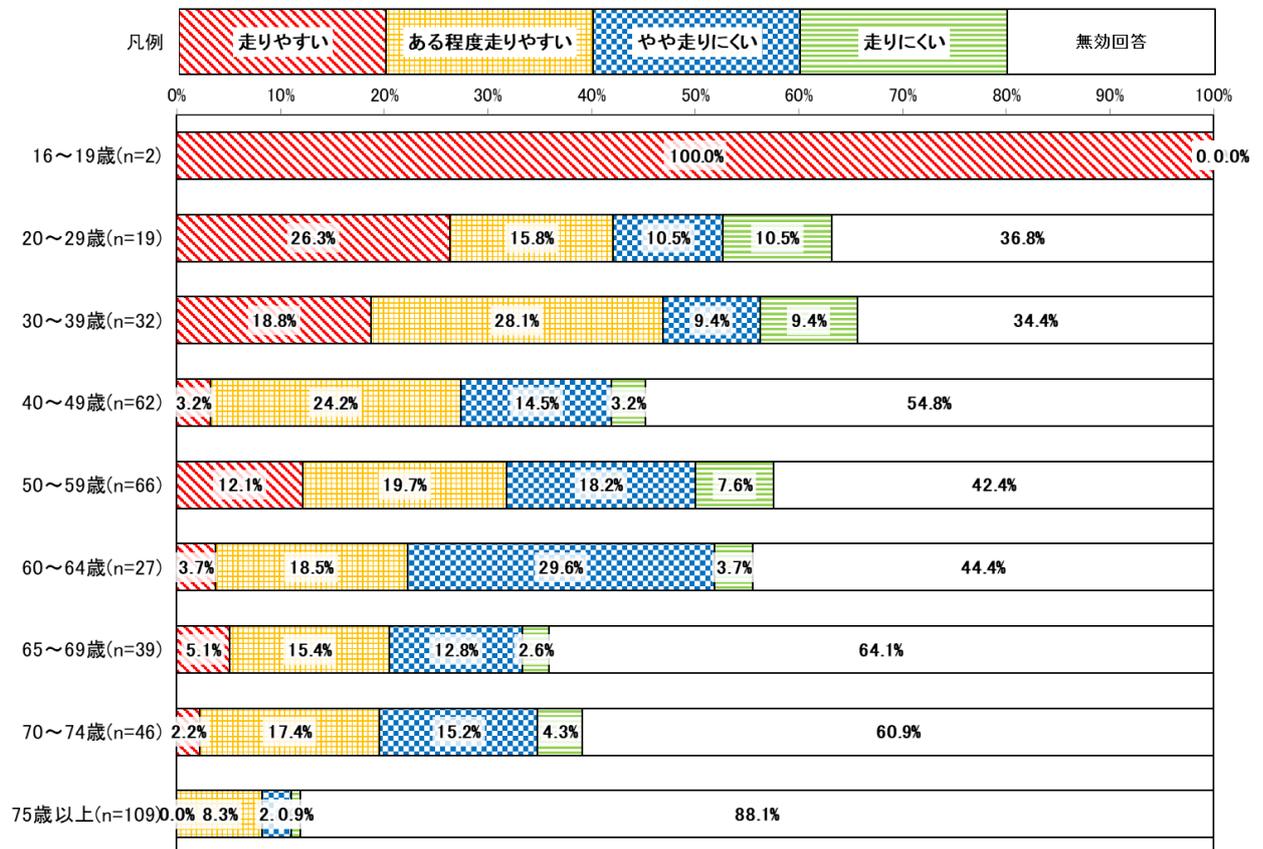


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

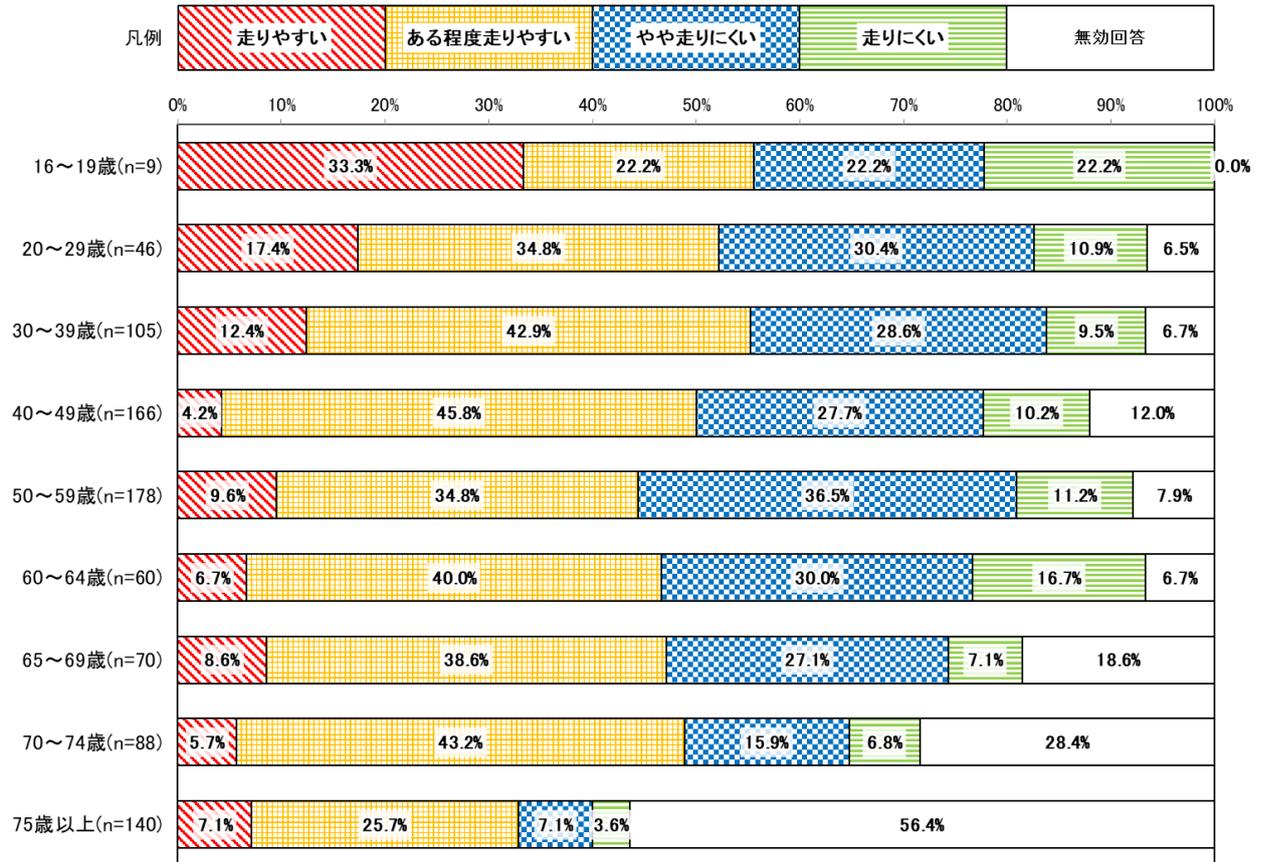
イ 自転車



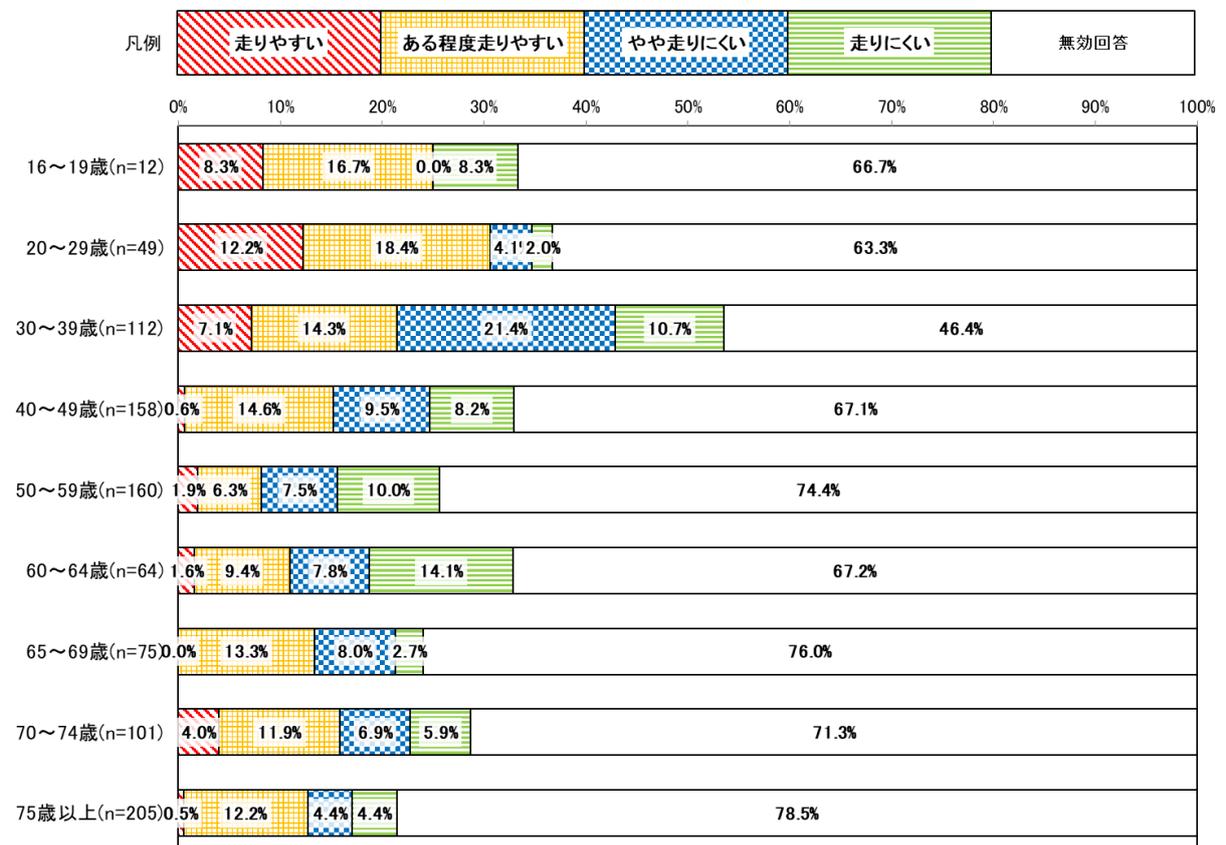
ウ バイク



エ 自動車



オ その他（車いすやベビーカーなど）

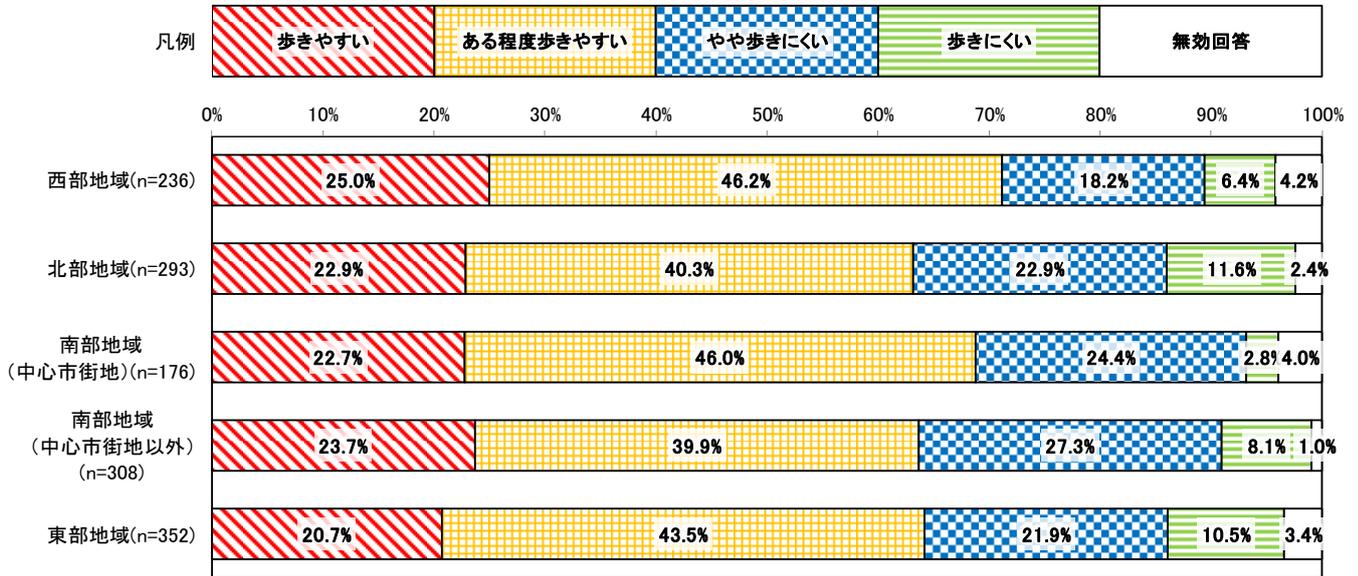


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

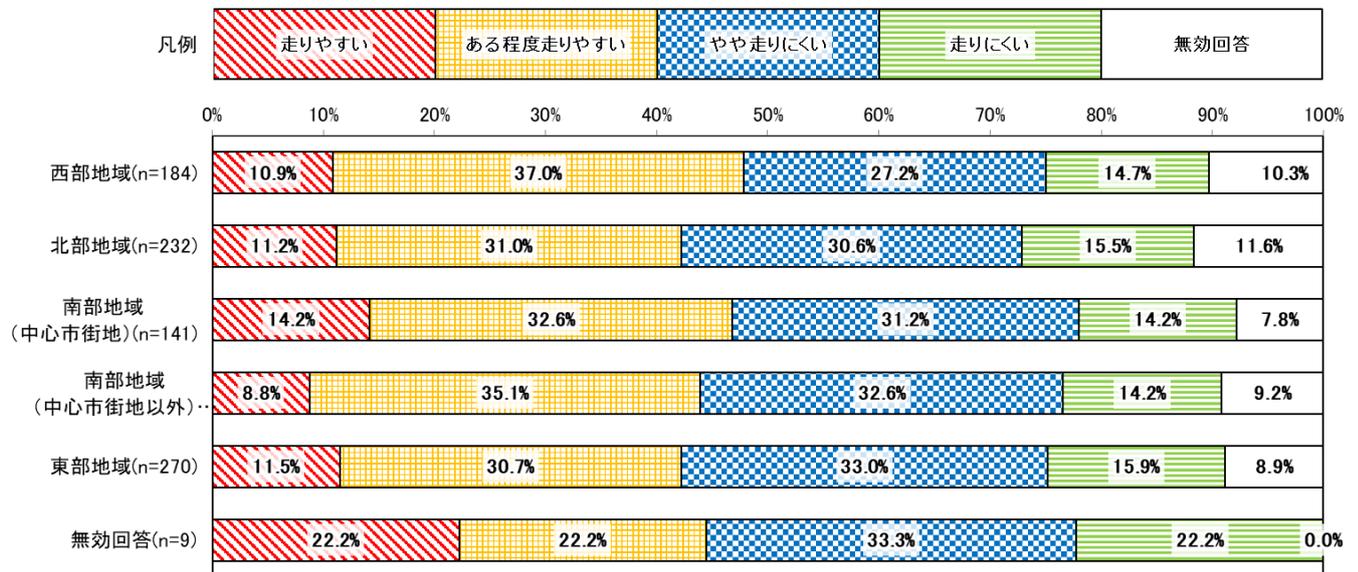
<地域別>

- 「ア 徒歩」では西部地域が「歩きやすい」、「ある程度歩きやすい」の合計が71.2%で最も高くなっています。
- 「イ 自転車」では、南部地域（中心市街地以外）が「やや走りにくい」、「走りにくい」の合計が46.8%となっています。

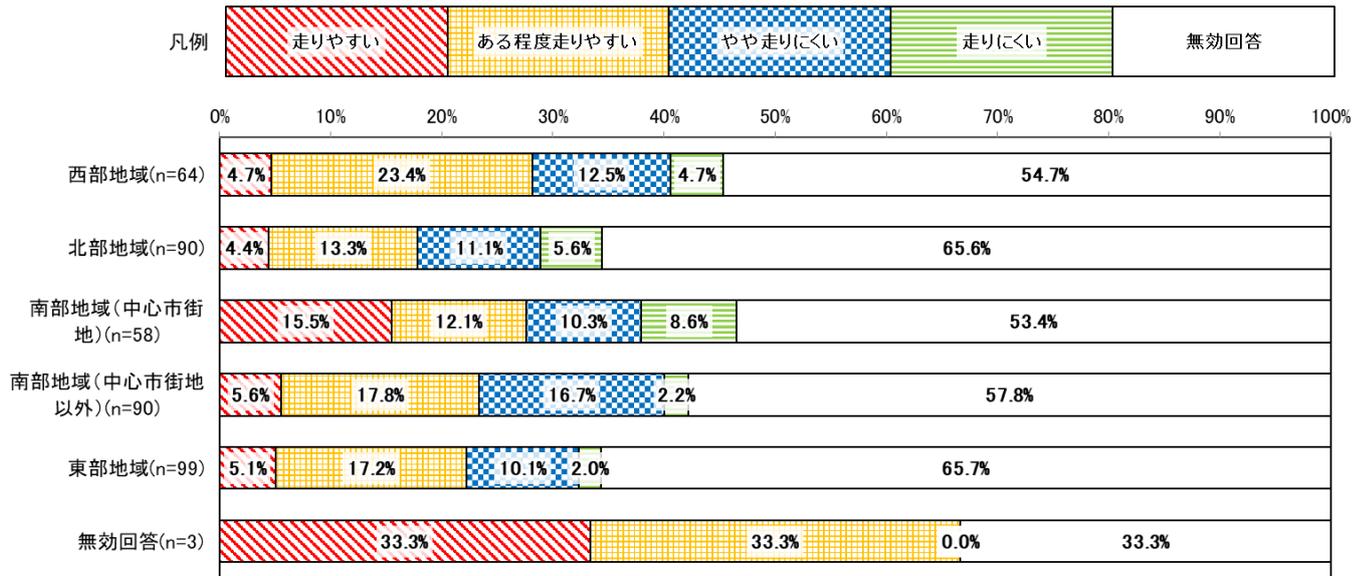
ア 徒歩



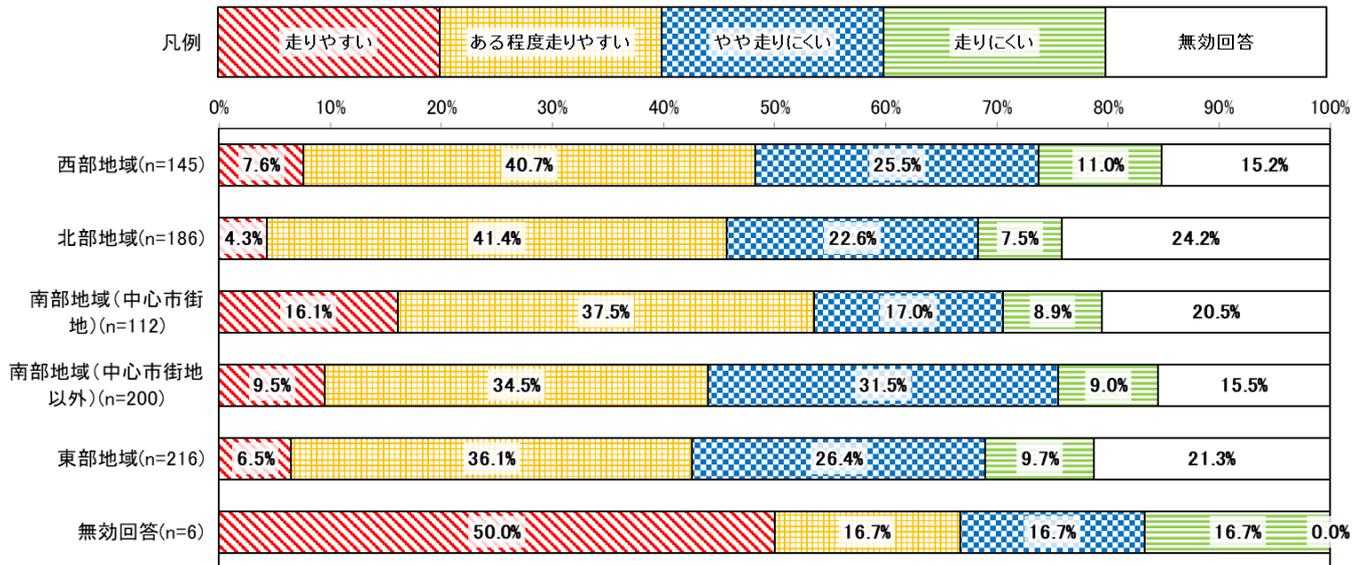
イ 自転車



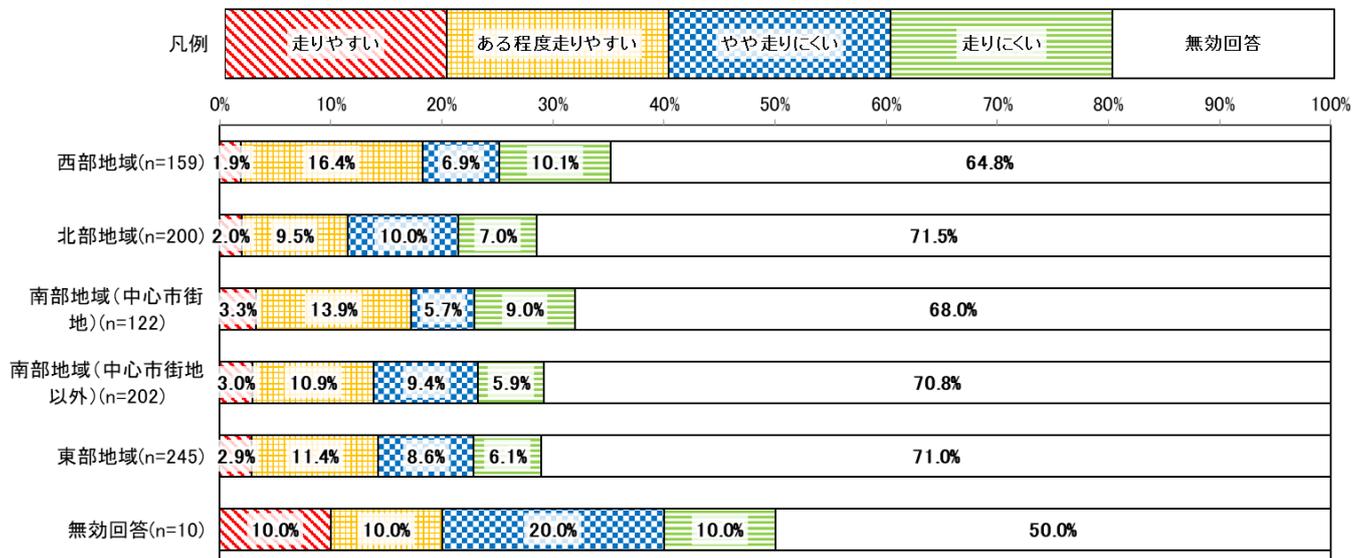
ウ バイク



エ 自動車



オ その他(車いすやベビーカーなど)

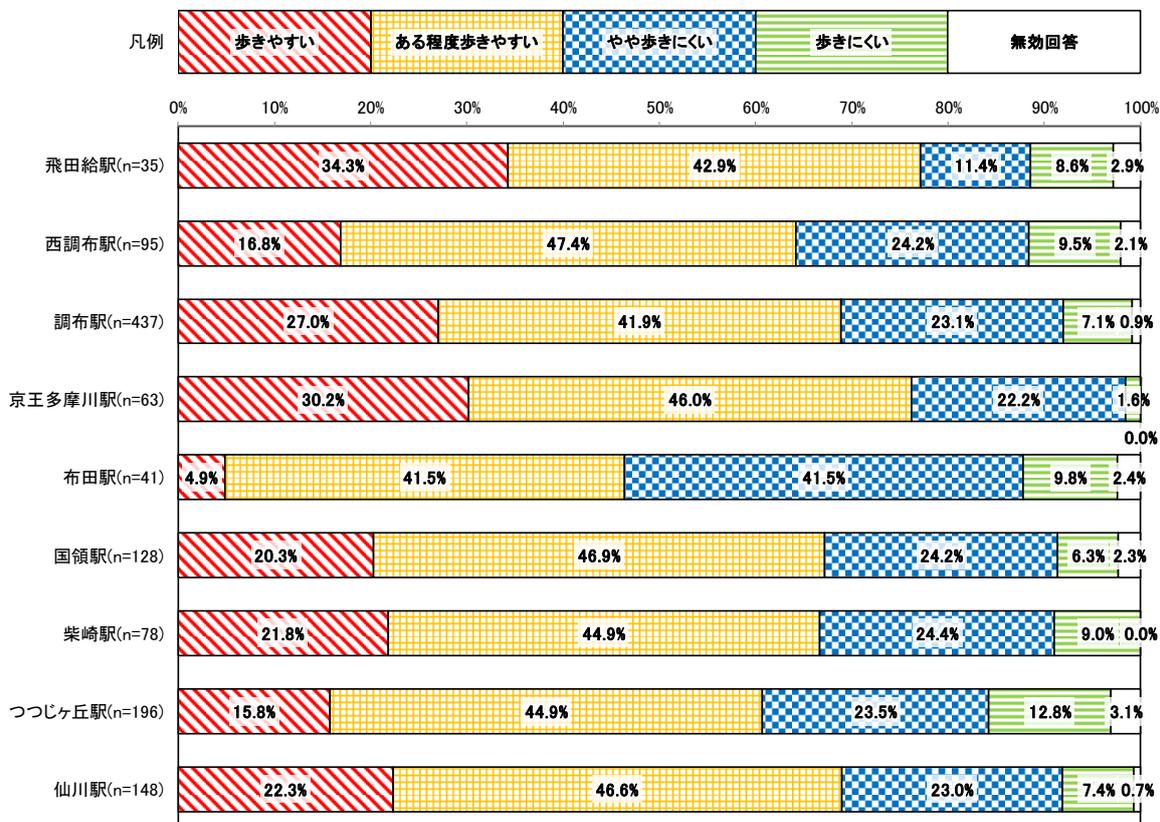


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

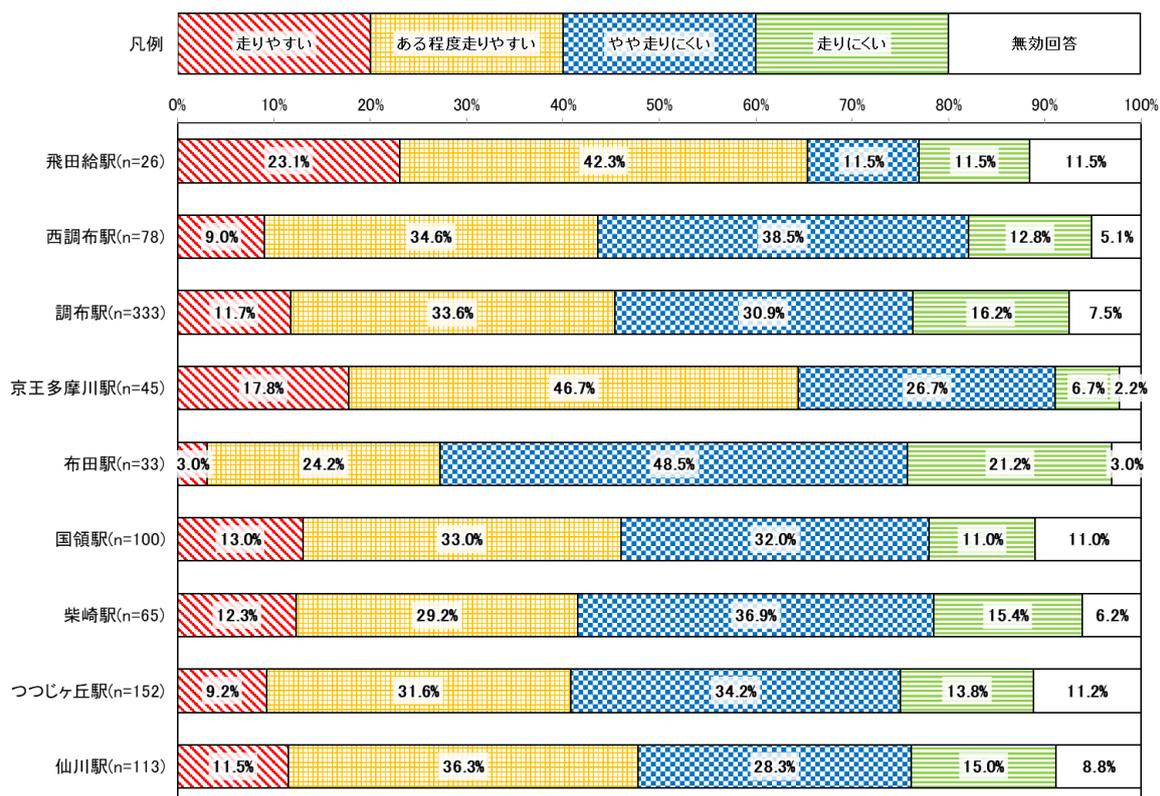
<利用駅別>

- 「ア 徒歩」について、布田駅では「やや歩きにくい」と「歩きにくい」の合計が51.3%を占めています。
- 「イ 自転車」においても、布田駅では「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が69.7%を占めています。

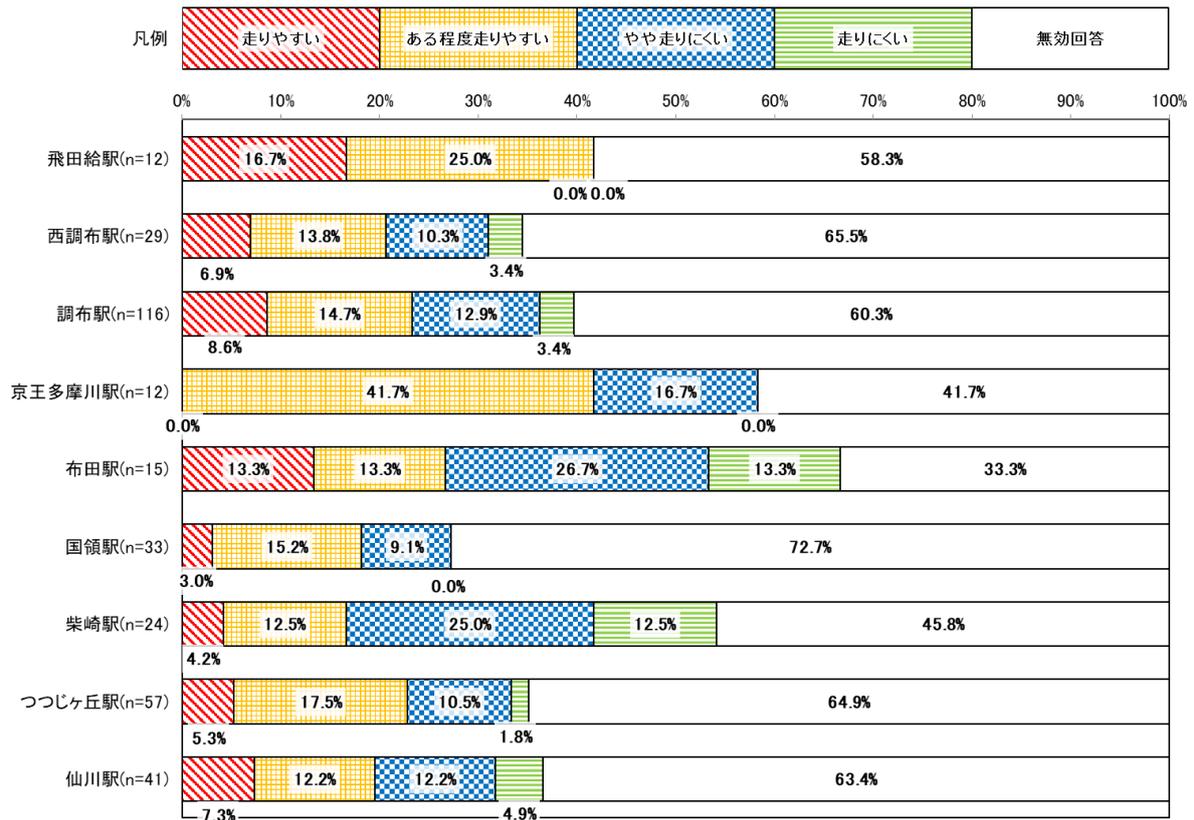
ア 徒歩



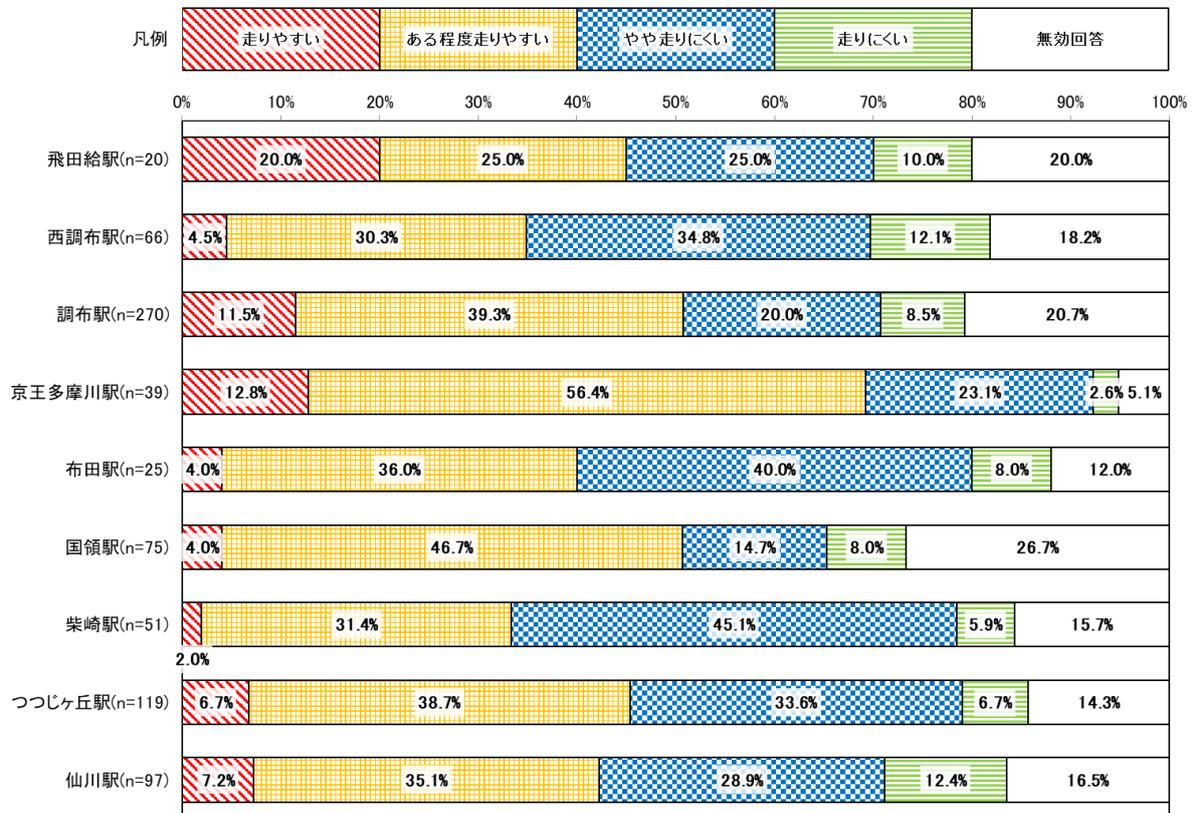
イ 自転車



ウ バイク

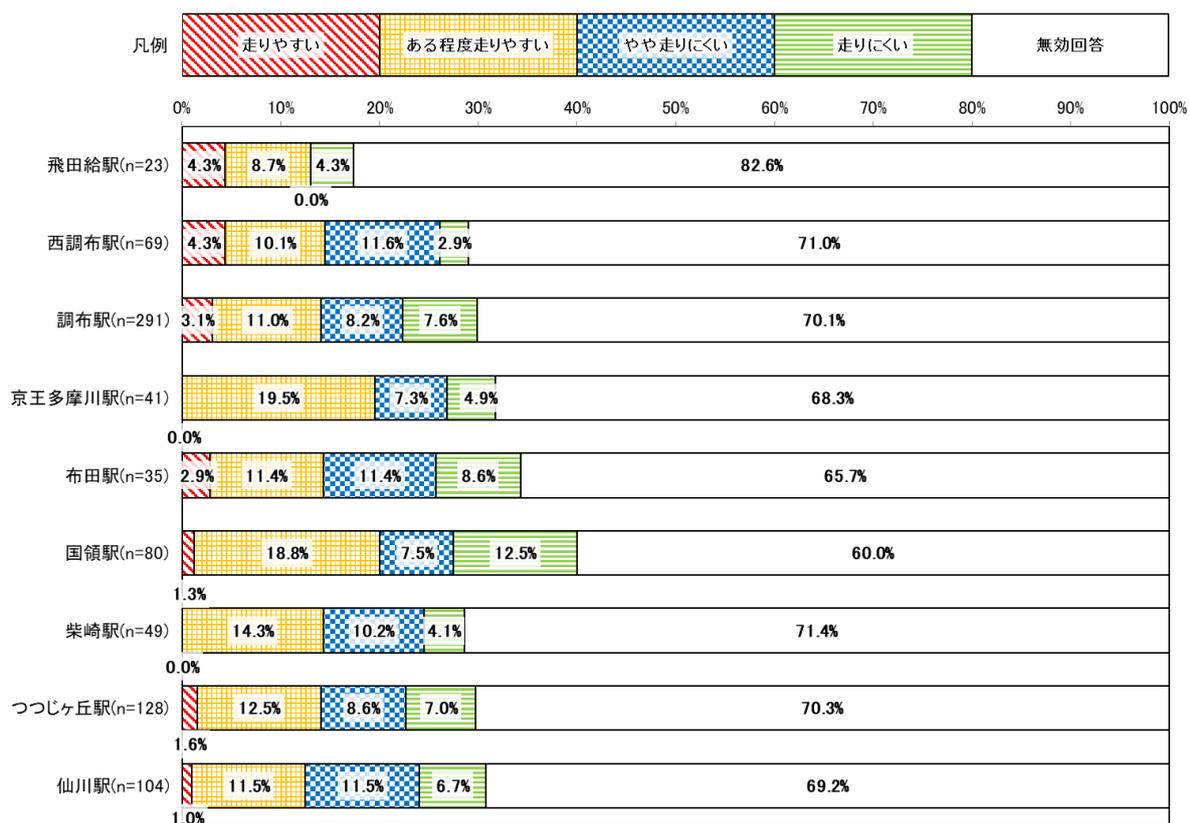


エ 自動車



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

オ その他（車いすやベビーカーなど）



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

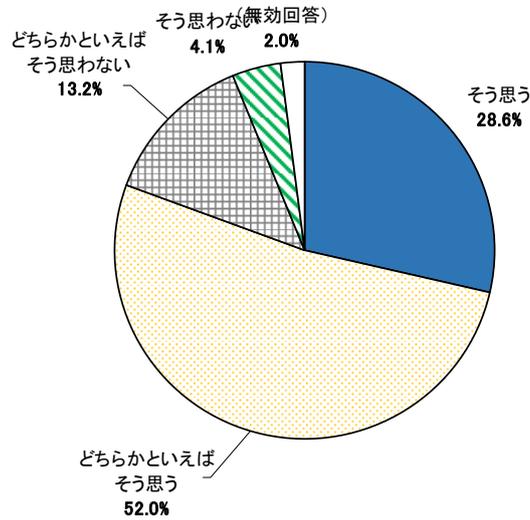
【図表 道路の新設整備や維持補修についてのご意見・ご提案】(308件)

- ・狭い歩道をひろげてほしい。
- ・電柱がじゃまなので、地中化してほしい。
- ・甲州街道沿いの歩道は、歩行者と自転車がすれちがうときなどに危険を感じる。

問 54) あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。

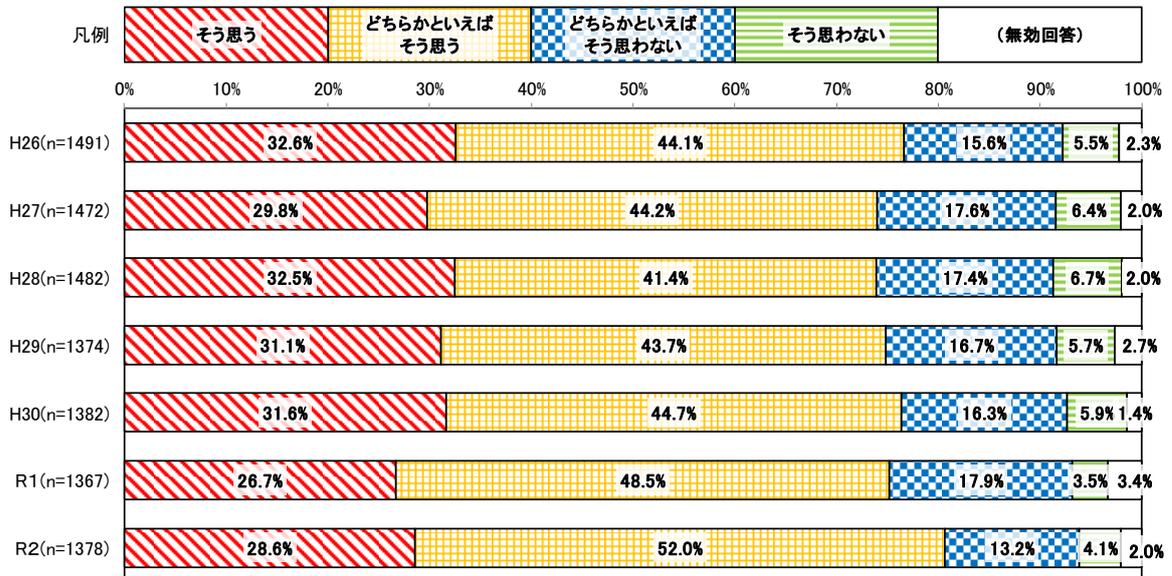
<全体 (n=1378) >

○「そう思う」が 28.6%、「どちらかといえばそう思う」が 52.0%で、合計で 80.6%を占めています。



<経年比較>

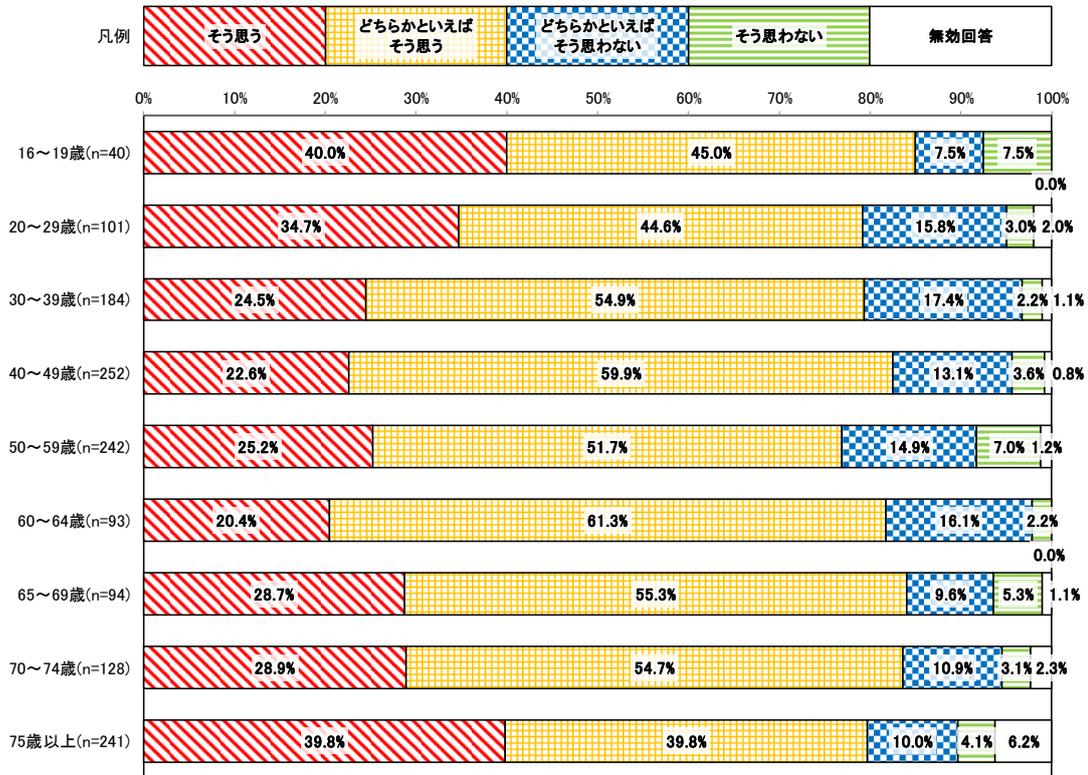
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 26 年度以降、いずれも 70%台で推移しており、令和 2 年度には前年度 (75.2%) より 5.4 ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

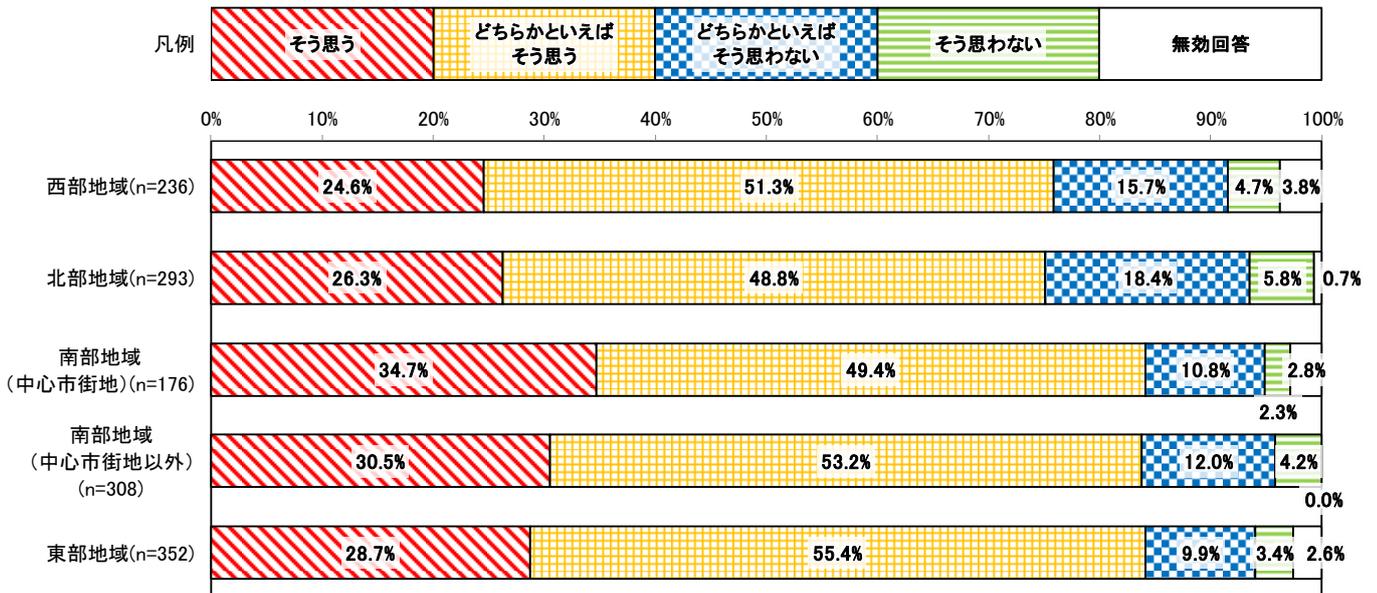
<年齢層別>

○16～19歳が、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が85.0%と最も高く、次いで65～69歳の84.0%、70～74歳の83.6%の順となっています。



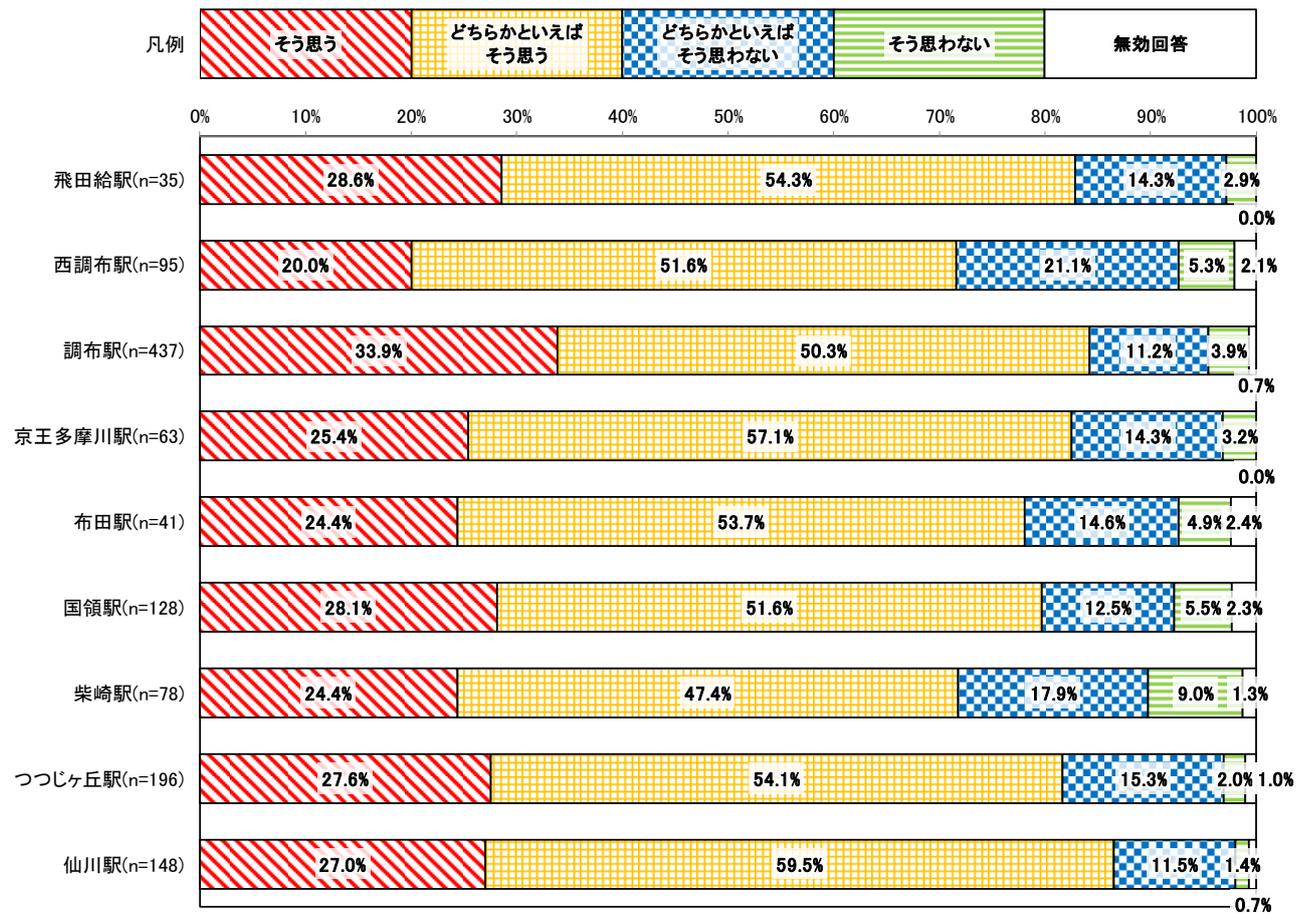
<地域別>

○いずれの地域でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が75%を超えています。
 ○西部地域と北部地域では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が20%台で、他地域に比べて高くなっています。



<利用駅別>

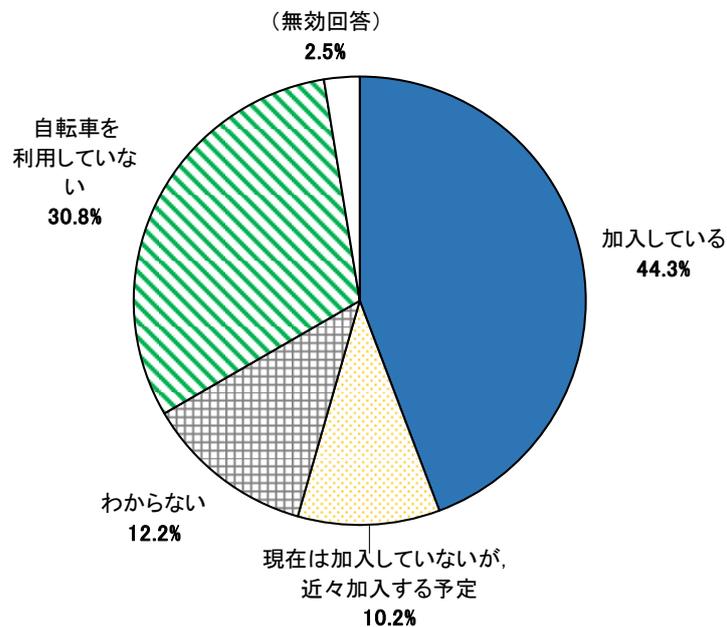
○いずれの駅でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が70%以上を占めています。



問 55) あなたは、自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に参加していますか。

<全体 (n=1378) >

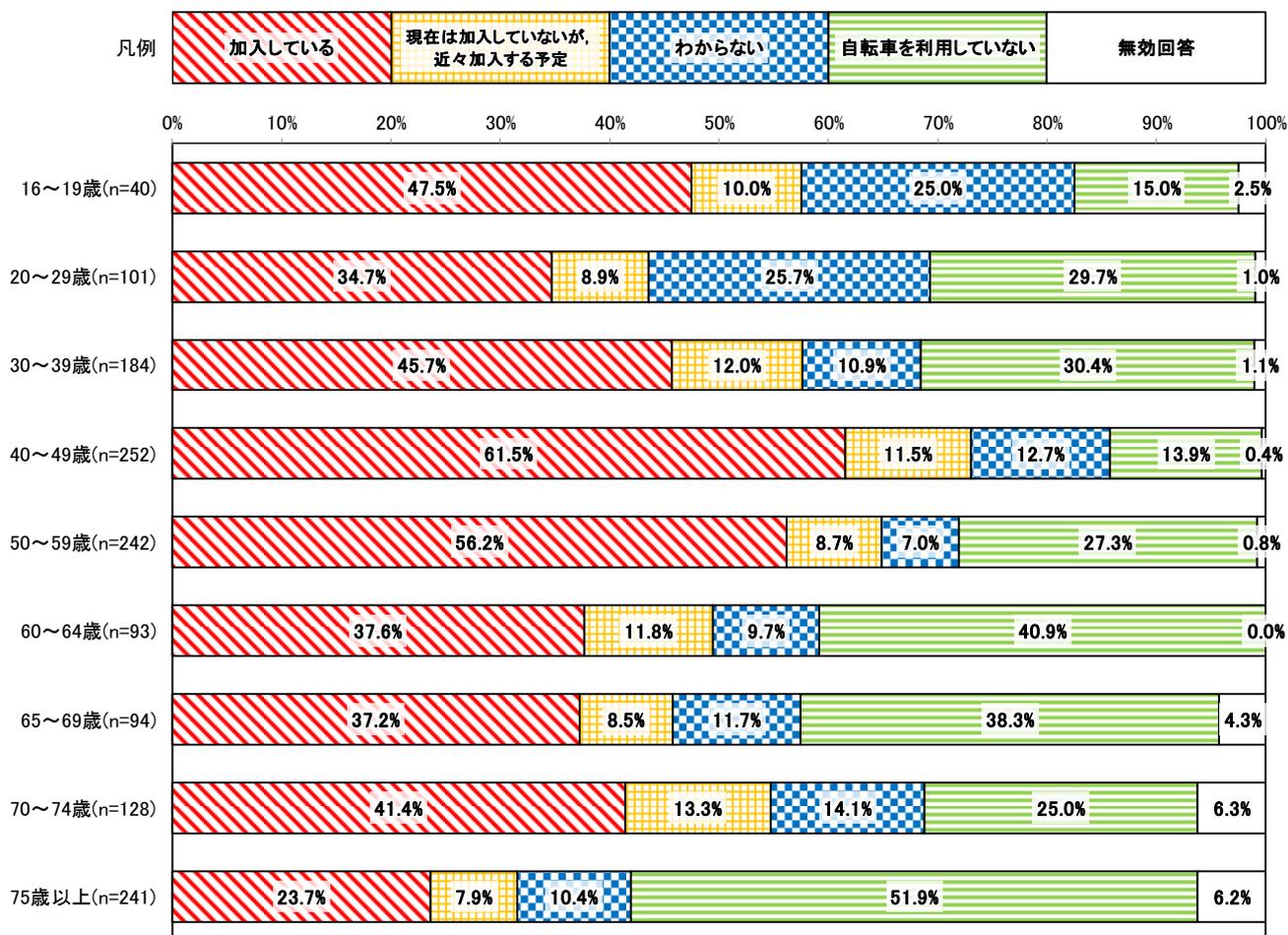
○「加入している」が44.3%、「現在は加入していないが、近々加入する予定」が10.2%となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○40～49歳が、「加入している」が61.5%で最も高く、次いで50～59歳の56.2%、16～19歳の47.5%の順となっています。

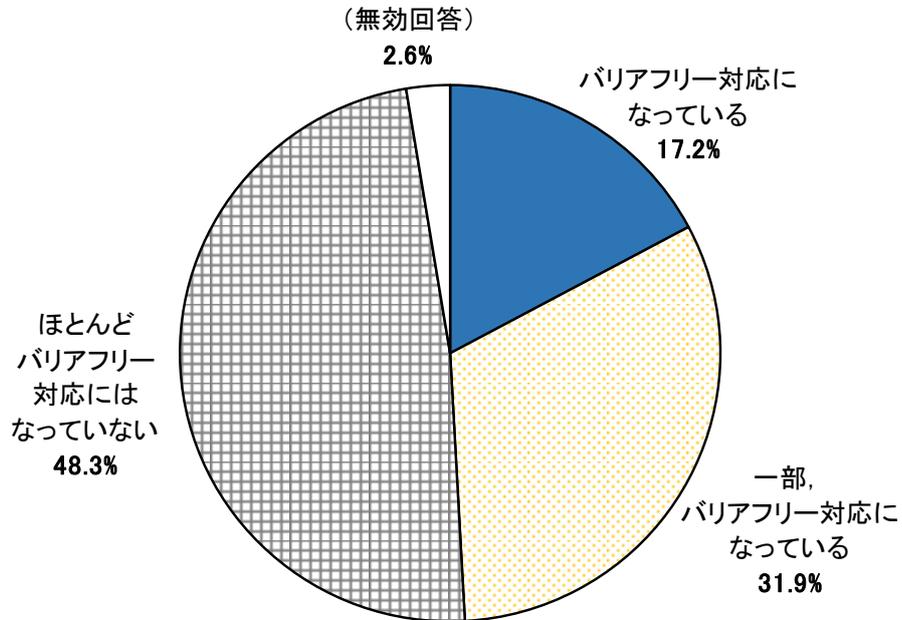


【住環境づくり・地球温暖化対策について】

問 56) あなたの住んでいる住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。

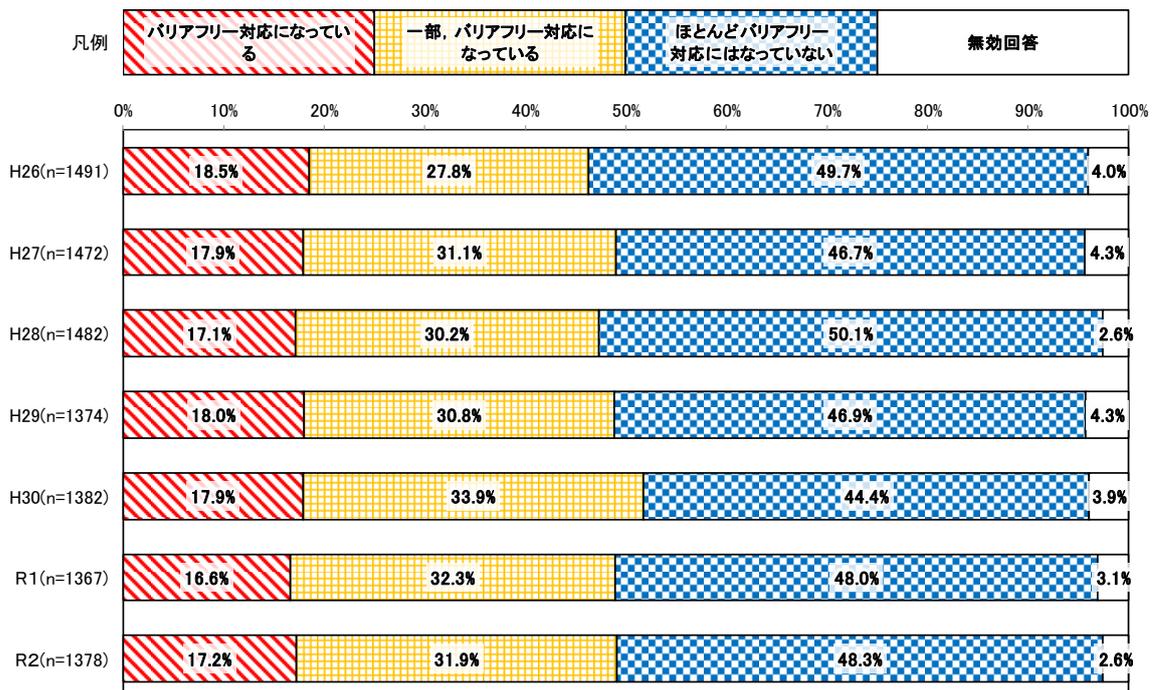
<全体 (n=1378) >

○「バリアフリー対応になっている」が 17.2%、「一部、バリアフリー対応になっている」が 31.9%で、合計 49.1%を占めています。



<経年比較>

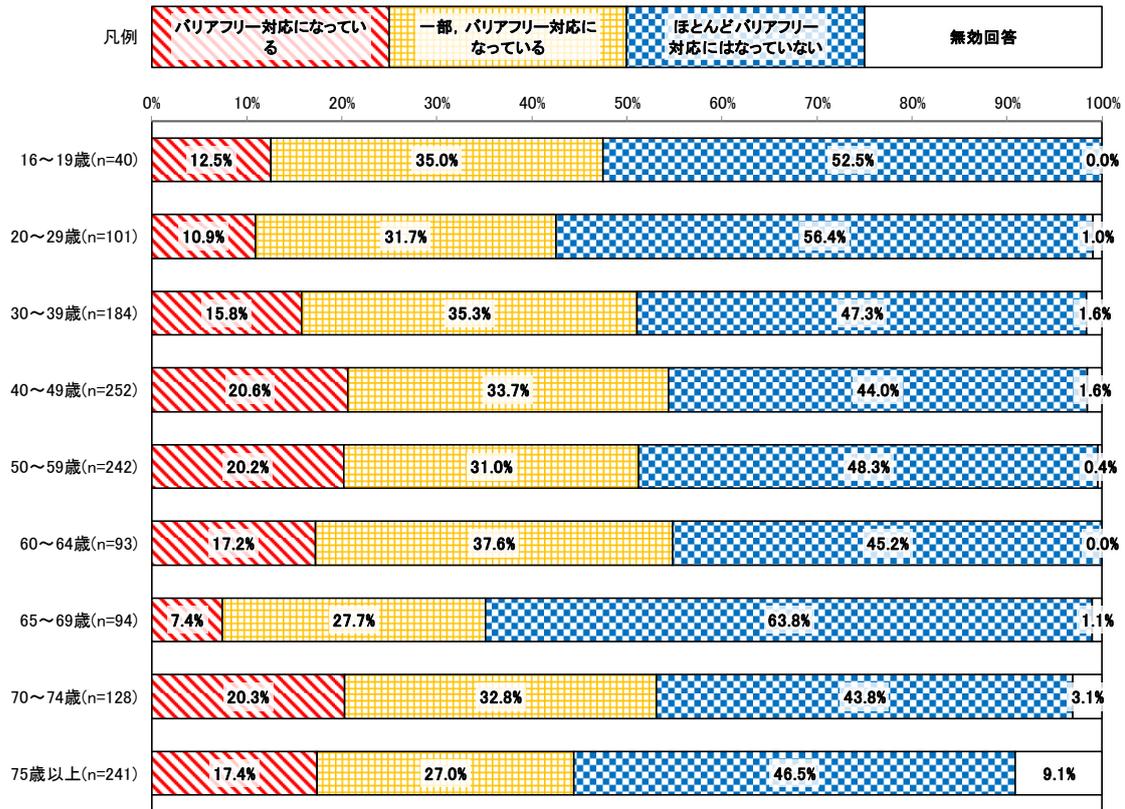
○平成 26～28 年度までは、「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は、「ほとんどバリアフリー対応にはなっていない」を下回っていたものの、平成 29 年度以降は逆転しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

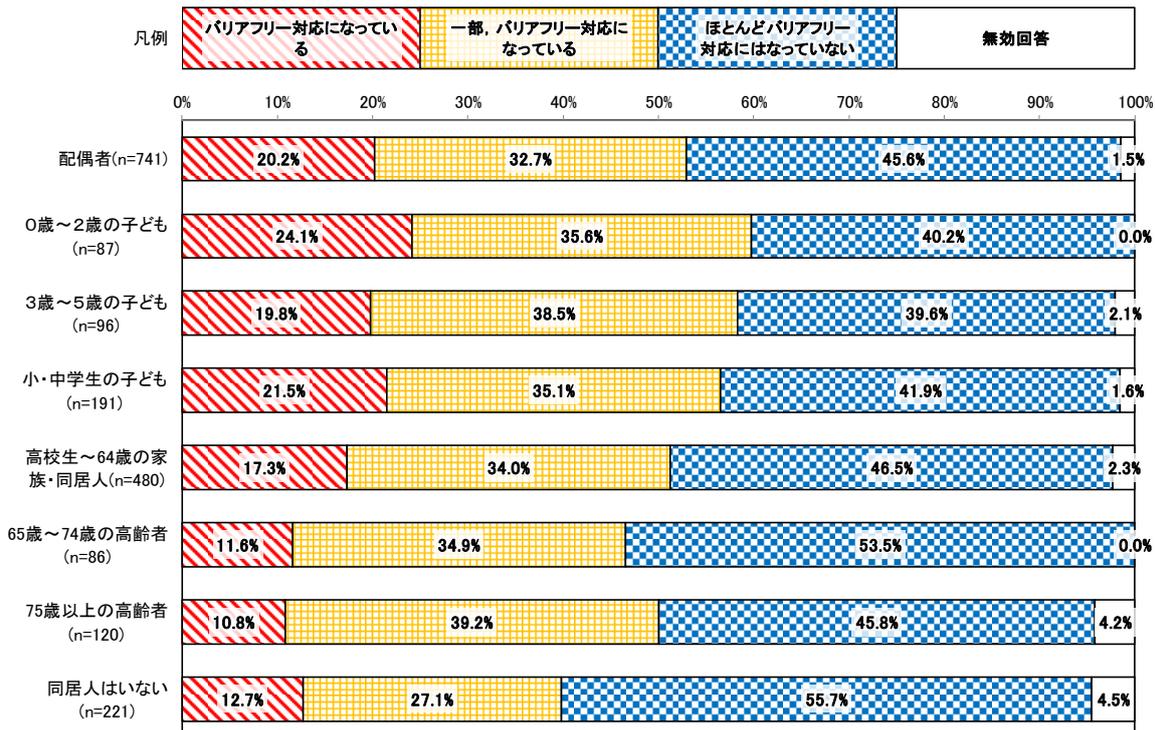
<年齢層別>

○30～64歳、70～74歳では、「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計が50%台となっています。



<同居人別>

○「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は、「0～2歳の子ども」が59.7%で最も高く、次いで「3歳～5歳の子ども」の58.3%の順となっています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

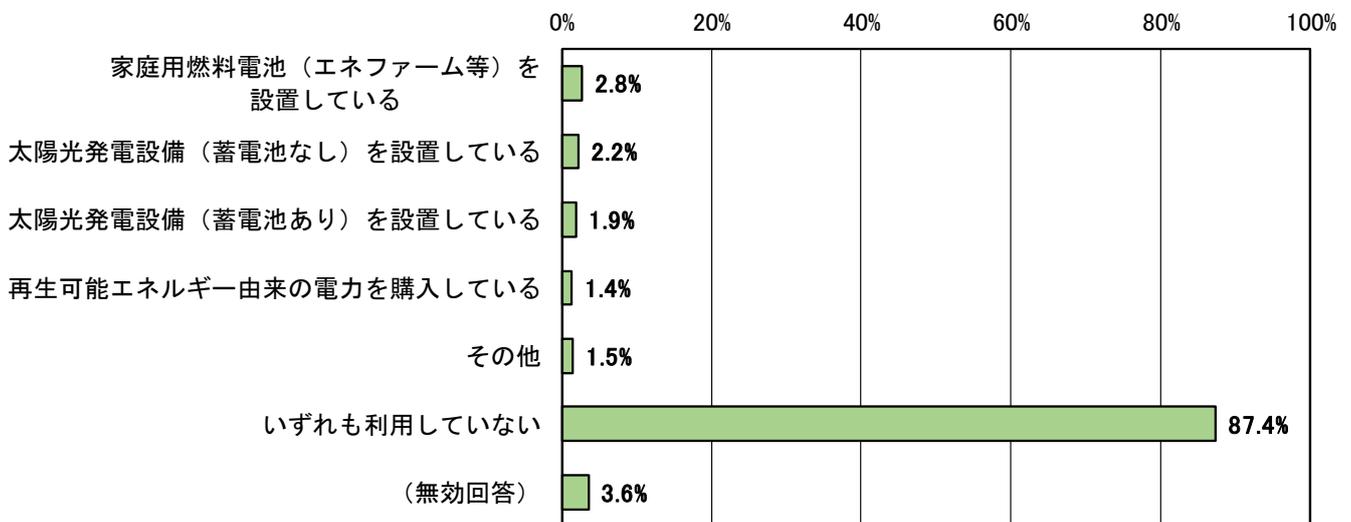
【図表 住環境づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(49件)

- ・もっとバリアフリーに対する，補助を充実してほしい。
- ・歩道の整備や段差をなくしてほしい。

問57) あなたの住んでいる住居において，再生可能エネルギーを利用していますか。また，創エネルギー設備を設置していますか。

<全体 (n=1378) >

○「家庭用燃料電池（エネファーム等）を設置している」が2.8%で最も高く，次いで「太陽光発電設備（蓄電池なし）を設置している」の2.2%，「太陽光発電設備（蓄電池あり）を設置している」の1.9%の順となっています。また，「いずれも利用していない」は87.4%となっています。



<年齢層別>

○20～39歳，50～59歳を除く年齢層で「家庭用燃料電池（エネファーム等）を設置している」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,378	40	101	184	252	242	93	94	128	241
家庭用燃料電池（エネファーム等）を設置している	38	2	2	5	11	3	1	2	8	4
太陽光発電設備（蓄電池なし）を設置している	31	0	1	6	5	12	0	2	2	3
太陽光発電設備（蓄電池あり）を設置している	26	0	3	7	6	4	1	1	2	2
再生可能エネルギー由来の電力を購入している	19	0	1	4	3	7	1	1	0	2
その他	21	3	3	4	4	4	0	0	0	3
いずれも利用していない	1,204	35	89	155	221	215	88	85	109	204
(無効回答)	49	0	2	3	4	2	2	3	8	25

(上段：実数（人），下段：構成比)

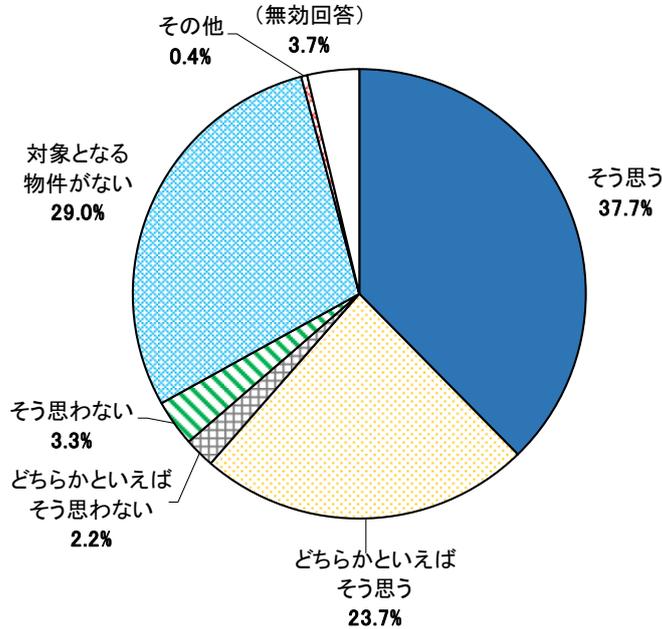
回答割合が最も高い： 0.0%

回答割合が2番目に高い： 0.0%

問 58) あなたは、あなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件が、適切な管理が行われていない空き家とならないための対策が必要だと思いますか。

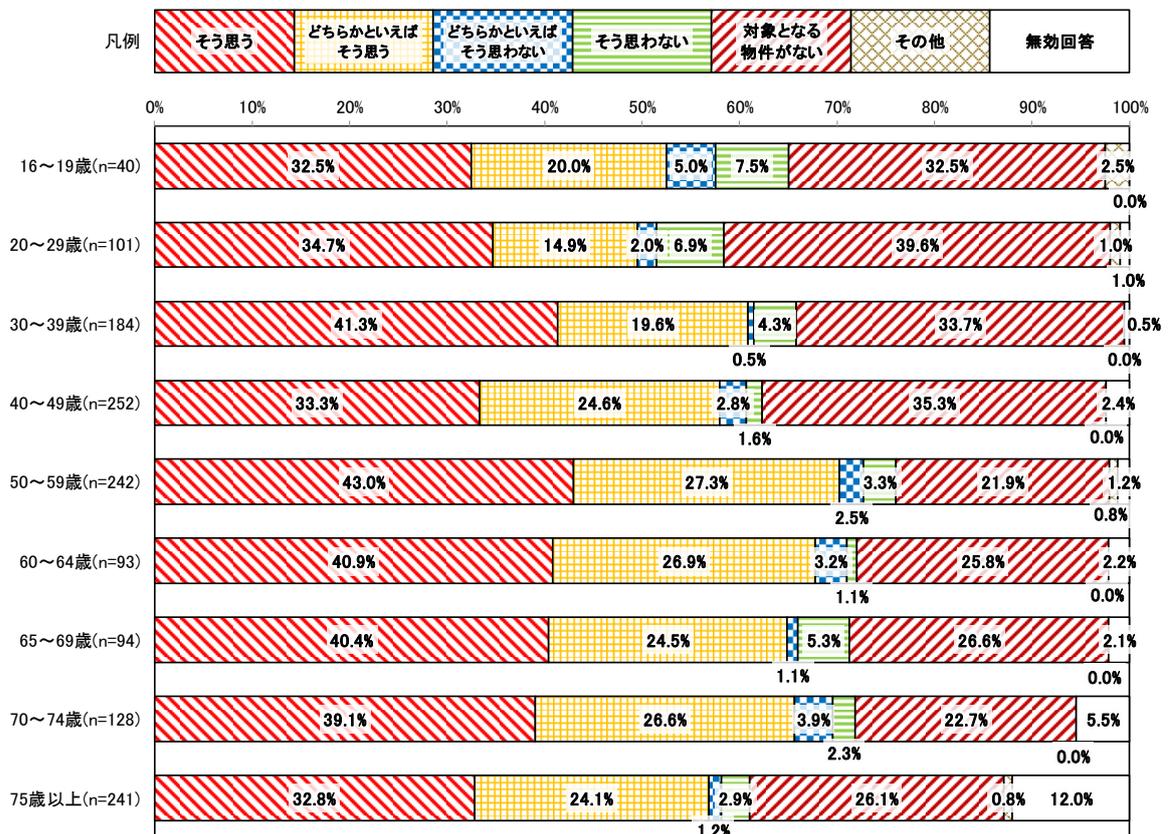
<全体 (n=1378) >

○「そう思う」が 37.7%、「どちらかといえばそう思う」が 23.7%で、合計 61.4%を占めています。



<年齢層別>

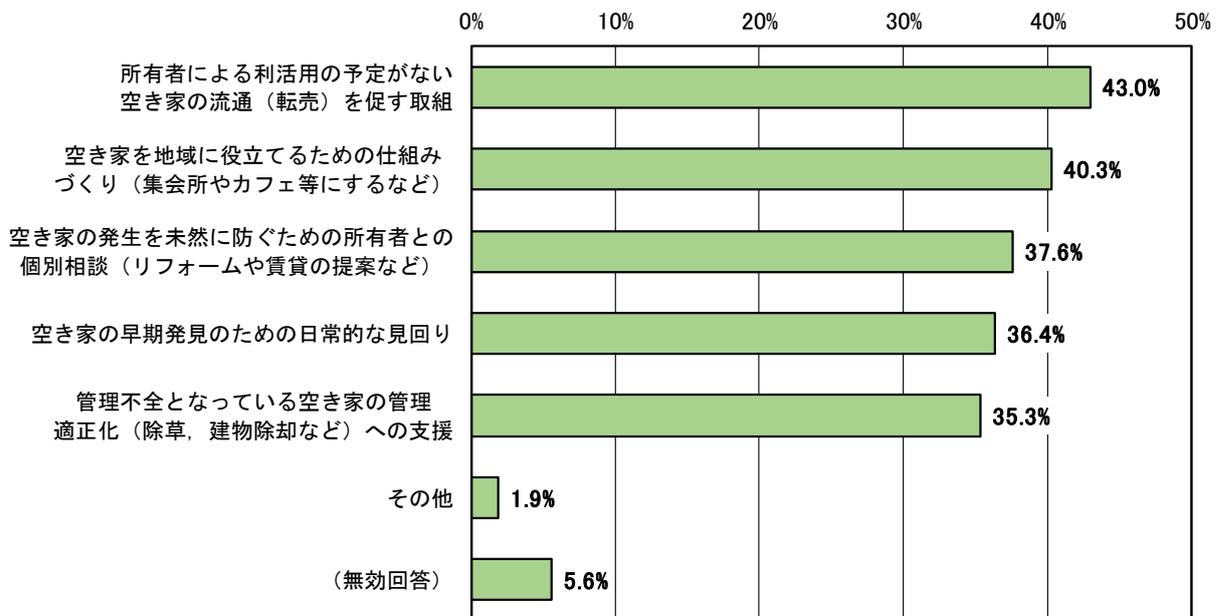
○50～59歳では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が70%台となっています。



問 58-1) あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。

<全体 (n=1378) >

○「所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組」が 43.0%で最も高く、次いで「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）」の 40.3%、「空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談（リフォームや賃貸の提案など）」の 37.6%の順となっています。



<年齢層別>

○30～64 歳では、「所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組」、70 歳以上では、「空き家の早期発見のための日常的な見回り」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,378	40	101	184	252	242	93	94	128	241
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組	592	13	30	88	128	130	43	33	55	72
	43.0%	32.5%	29.7%	47.8%	50.8%	53.7%	46.2%	35.1%	43.0%	29.9%
空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）	555	19	40	77	105	109	37	34	54	80
	40.3%	47.5%	39.6%	41.8%	41.7%	45.0%	39.8%	36.2%	42.2%	33.2%
空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談（リフォームや賃貸の提案など）	518	14	40	75	96	98	26	38	53	77
	37.6%	35.0%	39.6%	40.8%	38.1%	40.5%	28.0%	40.4%	41.4%	32.0%
空き家の早期発見のための日常的な見回り	501	15	39	65	92	81	35	34	59	81
	36.4%	37.5%	38.6%	35.3%	36.5%	33.5%	37.6%	36.2%	46.1%	33.6%
管理不全となっている空き家の管理適正化（除草、建物除却など）への支援	487	12	32	63	100	97	33	29	51	69
	35.3%	30.0%	31.7%	34.2%	39.7%	40.1%	35.5%	30.9%	39.8%	28.6%
その他	26	3	1	2	3	6	2	1	2	6
	1.9%	7.5%	1.0%	1.1%	1.2%	2.5%	2.2%	1.1%	1.6%	2.5%
(無効回答)	77	1	2	2	8	8	2	6	7	40
	5.6%	2.5%	2.0%	1.1%	3.2%	3.3%	2.2%	6.4%	5.5%	16.6%

回答割合が最も高い: 0.0%

(上段: 実数 (人), 下段: 構成比)
回答割合が2番目に高い: 0.0%

<自由記述> 主な意見を原文のまま抜粋

【図表 空き家対策についてのご意見・ご提案】(49 件)

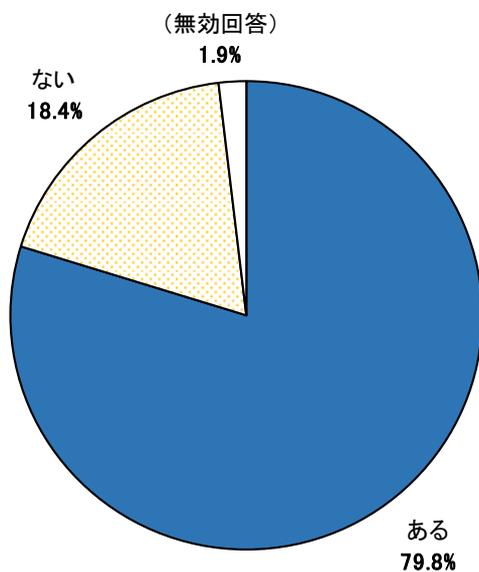
- ・ 空き家が多くて不安
- ・ 強制的に対策が出来るようすべき。

【平和について】

問 59) あなたは、これまでに戦争中の話をしたり聞いたりしたことがありますか。

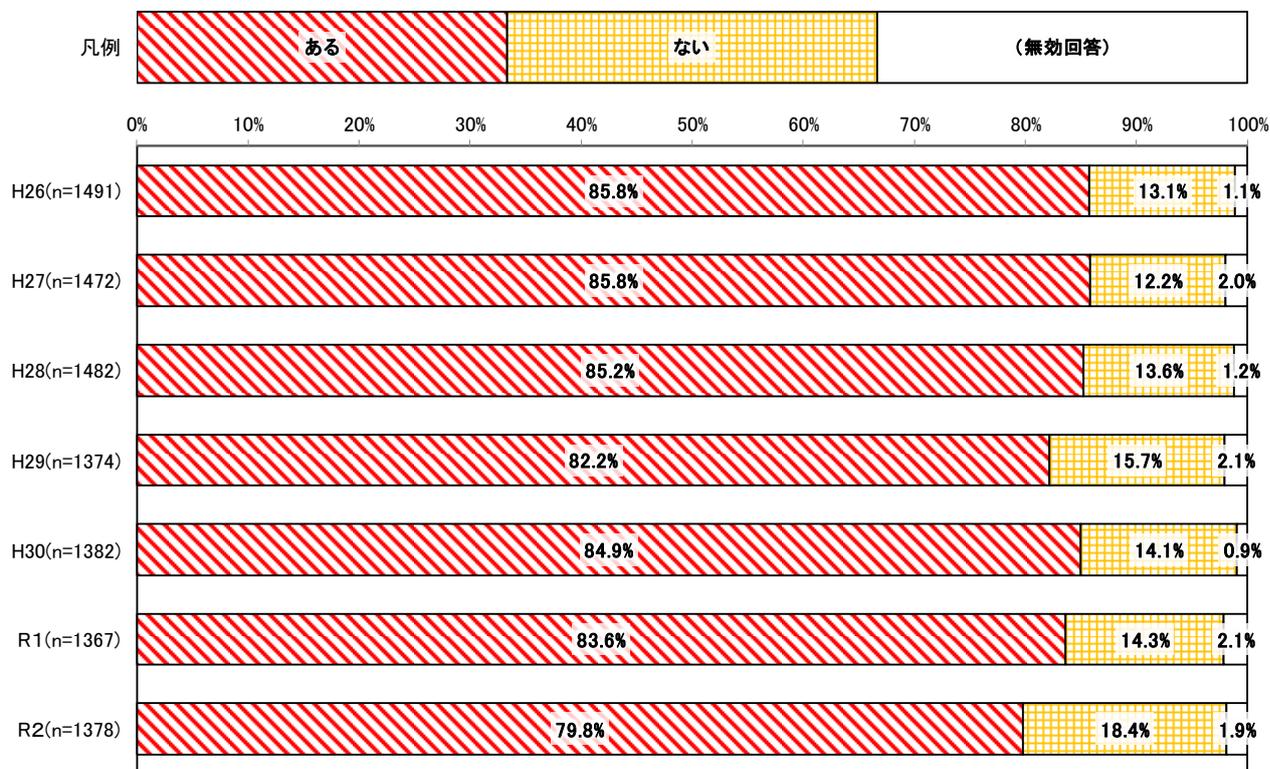
<全体 (n=1378) >

○「ある」が79.8%、「ない」が18.4%となっています。



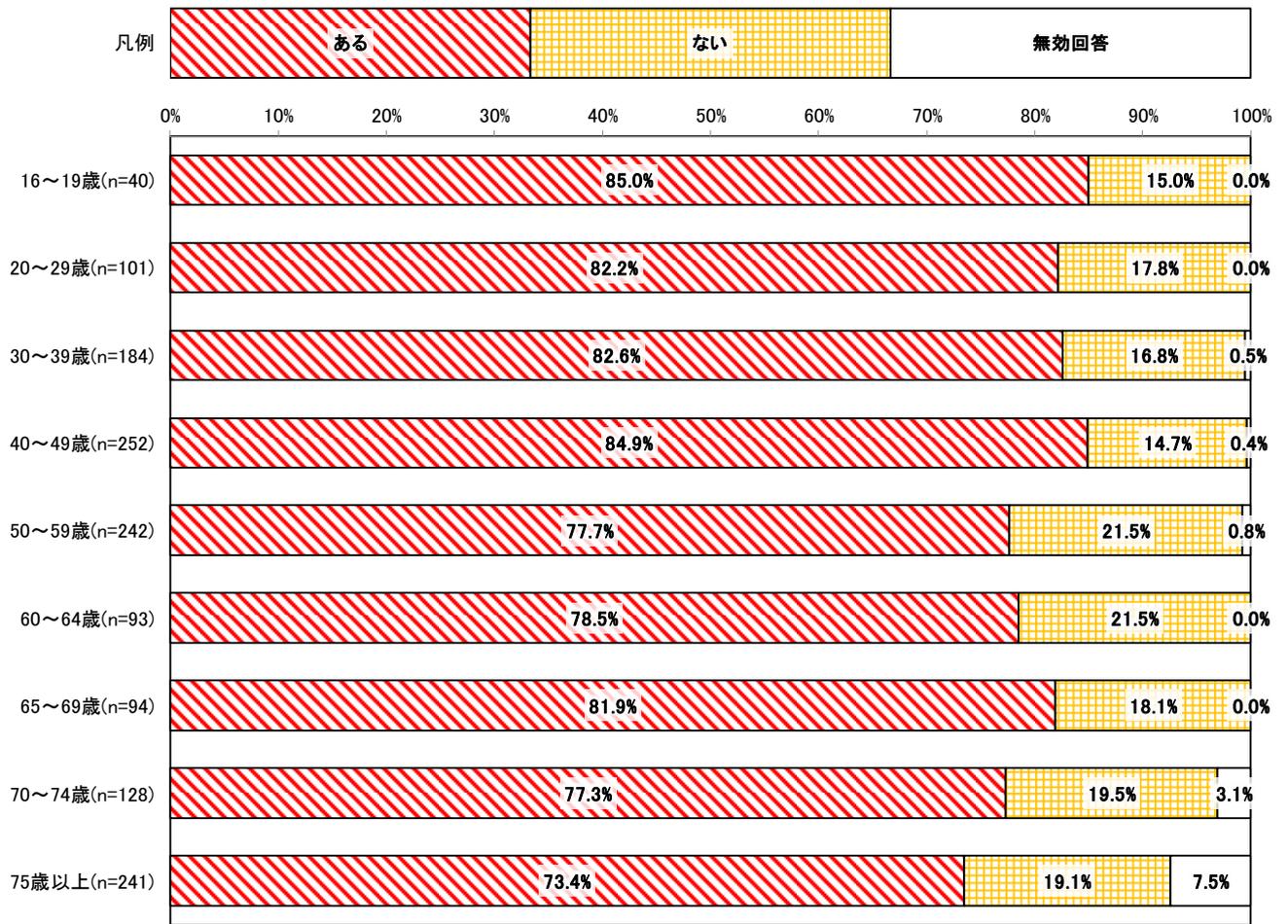
<経年比較>

○「ある」は、令和元年度の83.6%に比べ3.8ポイント減少しています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「ある」がおおむね70~80%となっています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

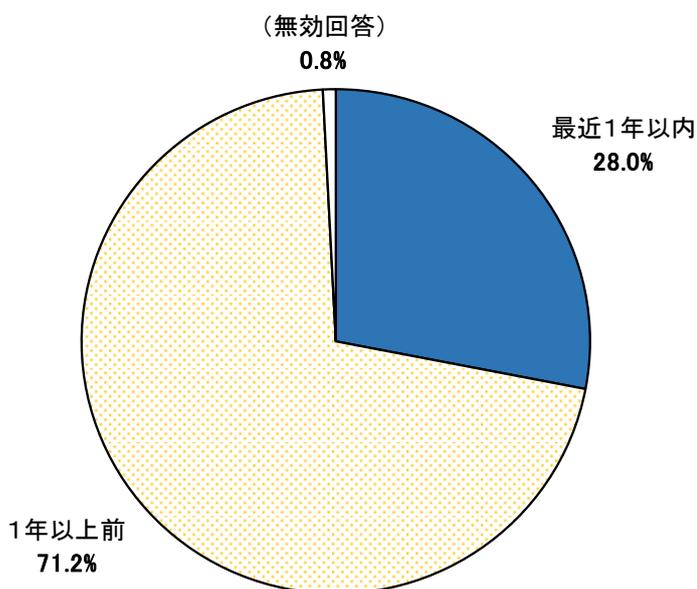
【図表 平和に関する施策についてのご意見・ご提案】(32件)

- ・戦争体験者の方から話を生で聞く機会を作る
- ・常時、戦争について意識できる、学べる施設があるとよい。小中学校への講演等実施希望。

問 59-1) 戦争中の話をしたり聞いたりしたのはいつ頃ですか。

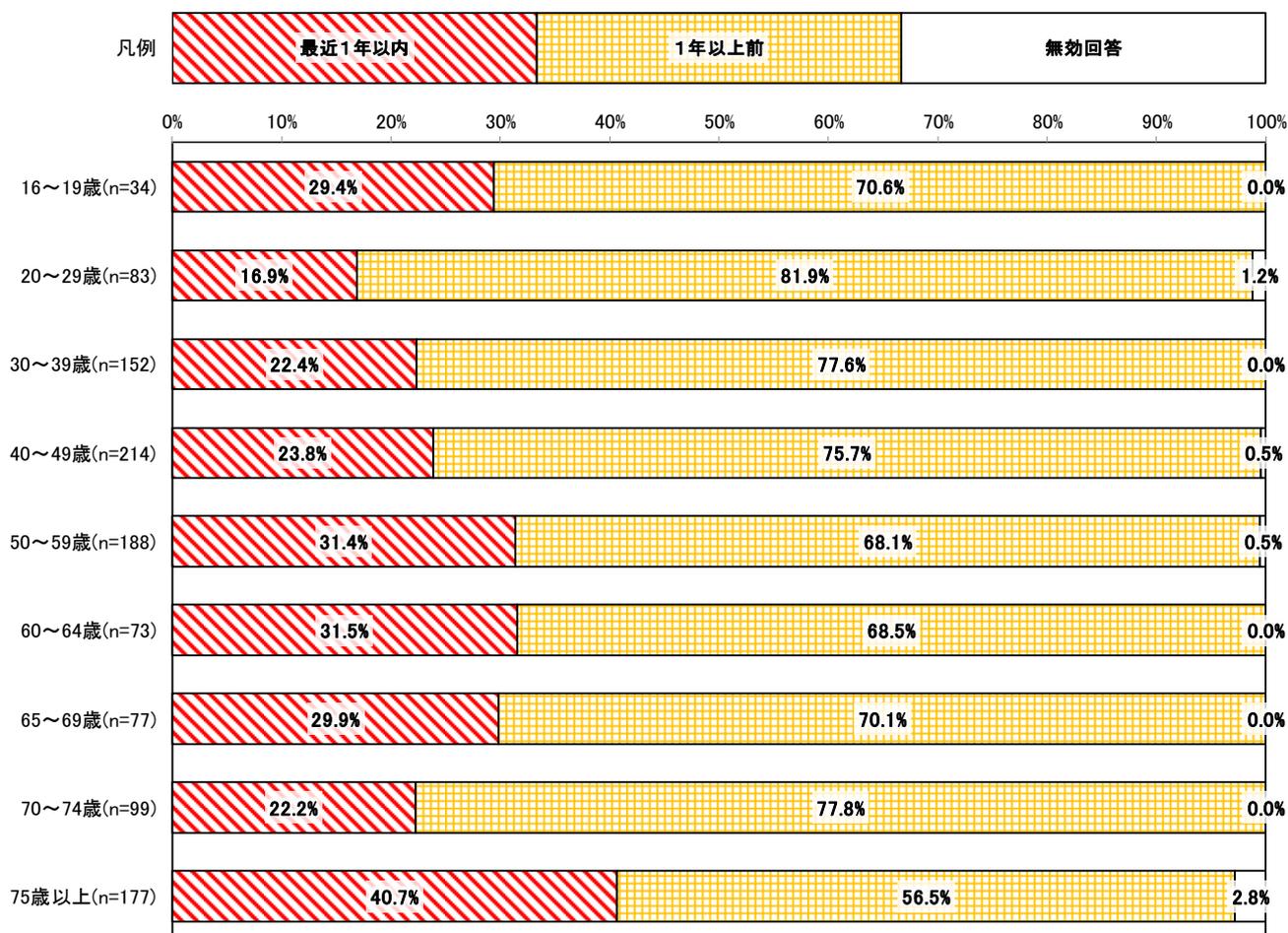
<全体 (n=1099) >

○時期については、「最近1年以内」が28.0%、「1年以上前」が71.2%となっています。



<年齢層別>

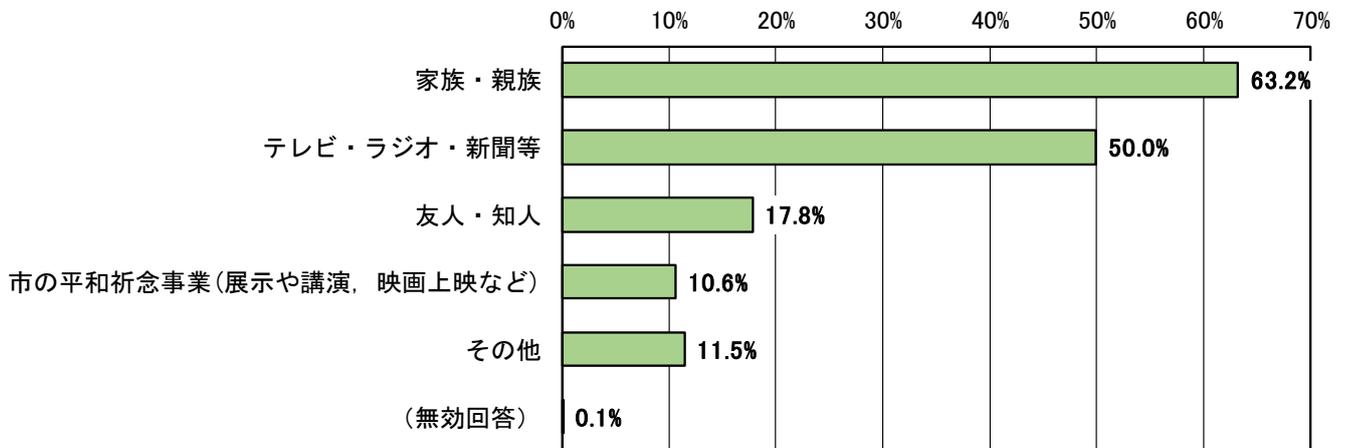
○「最近1年以内」では、75歳以上が40.7%と最も高く、次いで60～64歳の31.5%、50～59歳の31.4%の順となっています。



問 59-2) 「誰と (誰から)」戦争中の話をしたり, 聞いたりしましたか。

<全体 (n=1136) >

○相手については, 「家族・親族」が63.2%で最も高く, 次いで「テレビ・ラジオ・新聞等」の50.0%, 「友人・知人」の17.8%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「家族・親族」と「テレビ・ラジオ・新聞等」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,099	34	83	152	214	188	73	77	99	177
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族・親族	695	11	29	77	133	134	56	55	77	122
	63.2%	32.4%	34.9%	50.7%	62.1%	71.3%	76.7%	71.4%	77.8%	68.9%
テレビ・ラジオ・新聞等	549	12	38	81	113	99	37	38	50	80
	50.0%	35.3%	45.8%	53.3%	52.8%	52.7%	50.7%	49.4%	50.5%	45.2%
友人・知人	196	7	6	18	22	30	12	23	19	58
	17.8%	20.6%	7.2%	11.8%	10.3%	16.0%	16.4%	29.9%	19.2%	32.8%
市の平和祈念事業(展示や講演, 映画上映など)	117	5	10	24	24	19	8	3	8	15
	10.6%	14.7%	12.0%	15.8%	11.2%	10.1%	11.0%	3.9%	8.1%	8.5%
その他	126	18	30	28	21	10	4	2	3	10
	11.5%	52.9%	36.1%	18.4%	9.8%	5.3%	5.5%	2.6%	3.0%	5.6%
(無効回答)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	0.1%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い： 0.0%

回答割合が2番目に高い： 0.0%

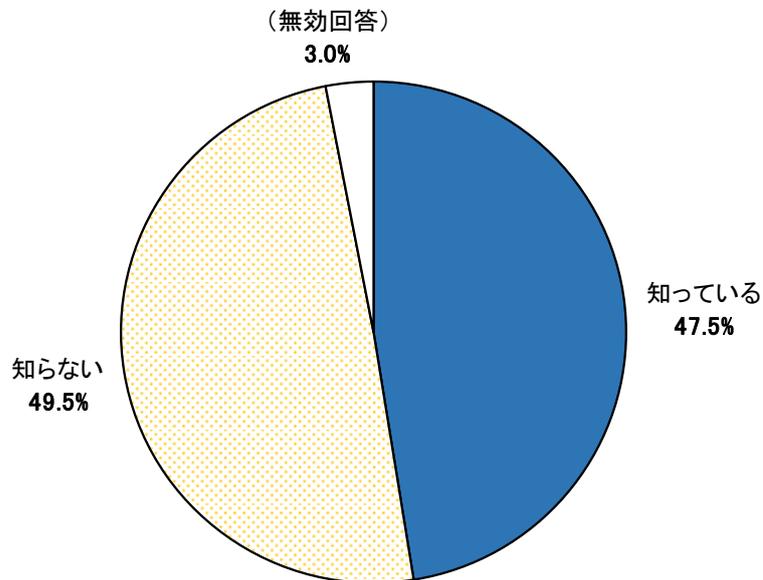
【児童虐待・人権・男女共同参画について】

問 60) あなたは、児童虐待やDV(ドメスティックバイオレンス)に関する次の相談窓口を知っていますか。

<全体 (n=1378) >

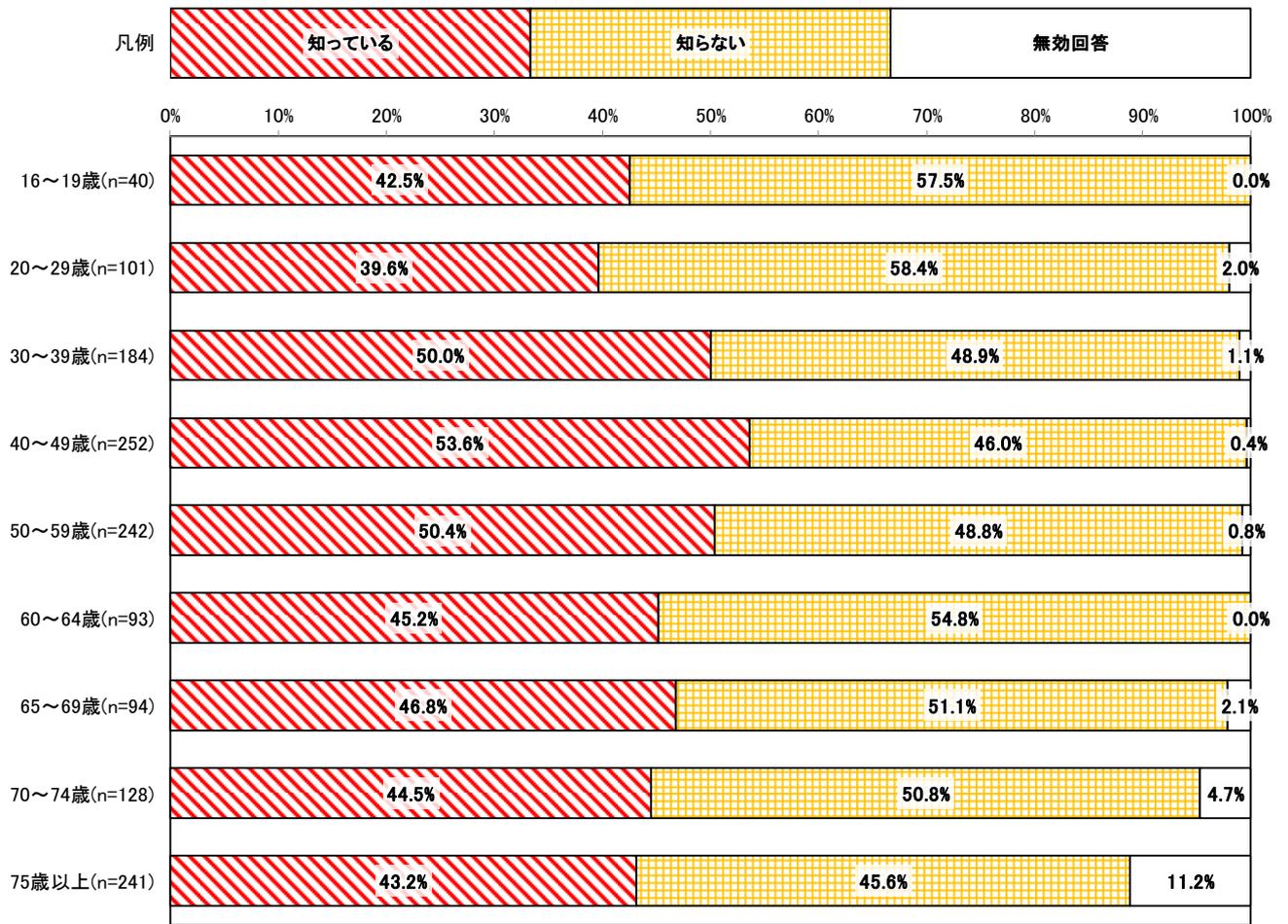
ア 児童虐待に関する相談

○「知っている」は47.5%、「知らない」は49.5%となっています。



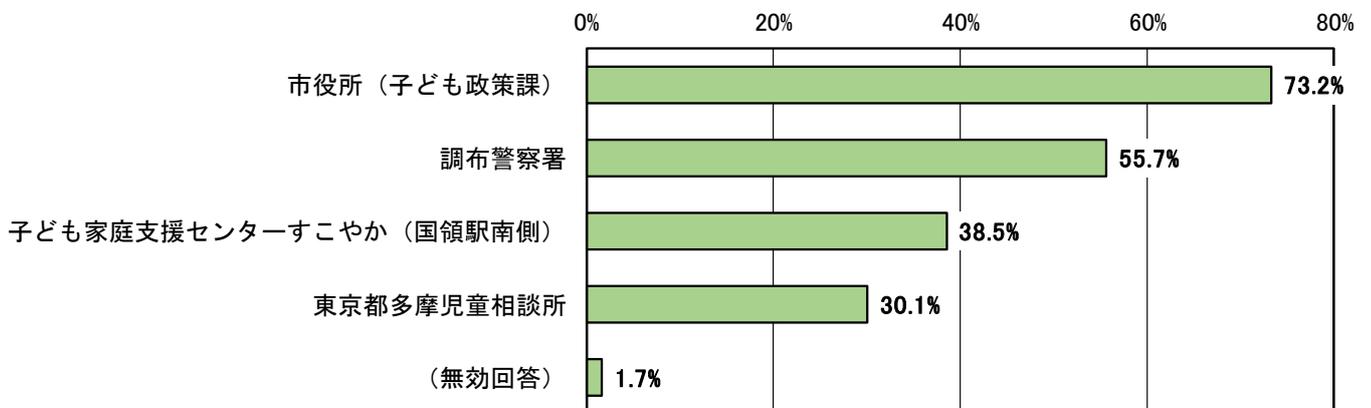
<年齢層別>

○30～59歳では「知っている」が50%以上となっています。



<相談窓口 (n=654) >

○「市役所（子ども政策課）」が73.2%で最も高く、次いで「調布警察署」の55.7%、「子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）」の38.5%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢別相談窓口>

○いずれの年齢層も「市役所（子ども政策課）」と「調布警察署」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	654 100.0%	17 100.0%	40 100.0%	92 100.0%	135 100.0%	122 100.0%	42 100.0%	44 100.0%	57 100.0%	104 100.0%
市役所（子ども政策課）	479 73.2%	10 58.8%	32 80.0%	70 76.1%	107 79.3%	85 69.7%	29 69.0%	25 56.8%	45 78.9%	75 72.1%
調布警察署	364 55.7%	10 58.8%	18 45.0%	53 57.6%	66 48.9%	71 58.2%	24 57.1%	29 65.9%	36 63.2%	57 54.8%
子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）	252 38.5%	5 29.4%	13 32.5%	48 52.2%	74 54.8%	42 34.4%	10 23.8%	11 25.0%	21 36.8%	28 26.9%
東京都多摩児童相談所	197 30.1%	5 29.4%	15 37.5%	25 27.2%	43 31.9%	42 34.4%	15 35.7%	12 27.3%	16 28.1%	24 23.1%
（無効回答）	11 1.7%	1 5.9%	0 0.0%	2 2.2%	0 0.0%	3 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	4 3.8%

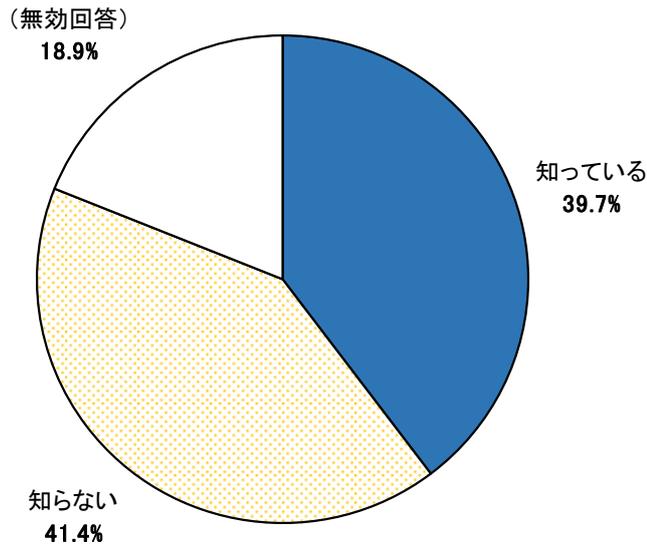
回答割合が最も高い： 0.0%

（上段：実数（人），下段：構成比）
回答割合が2番目に高い： 0.0%

イ DV（ドメスティックバイオレンス）に関する相談

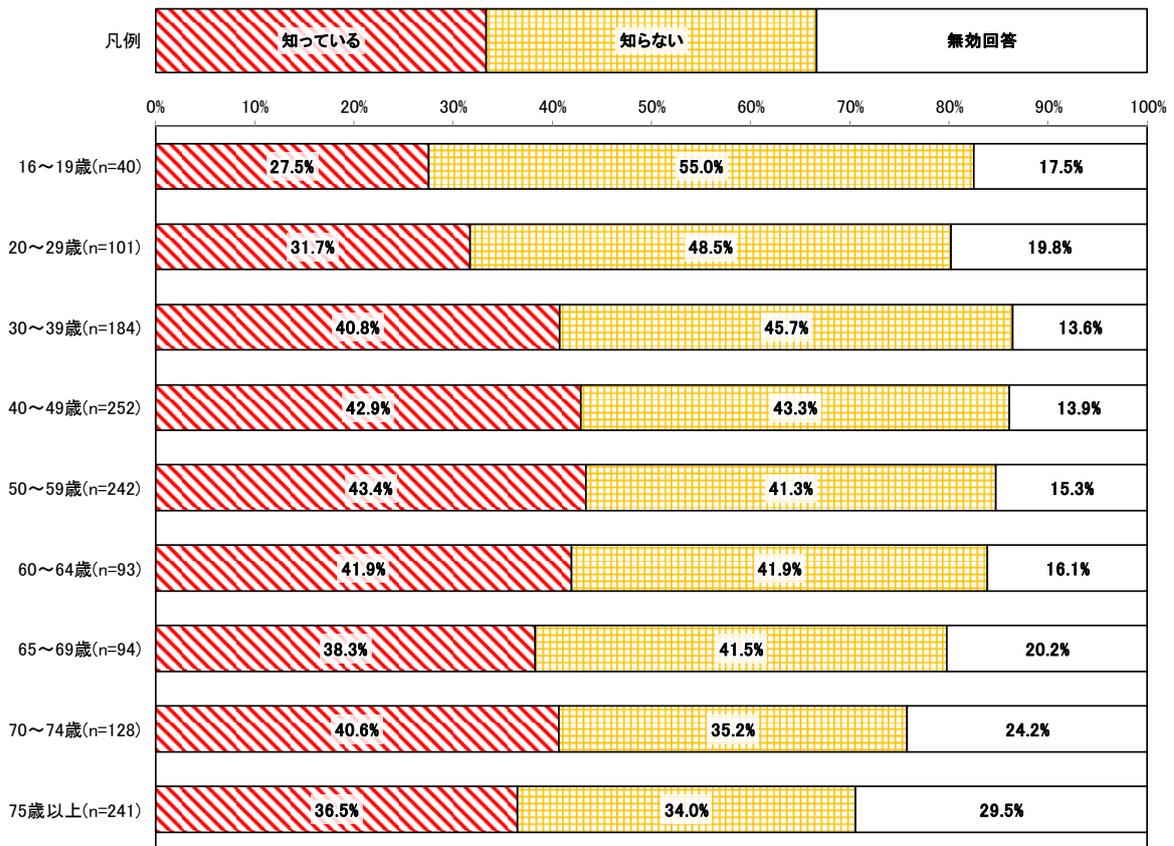
<全体（n=1378）>

○「知っている」は39.7%、「知らない」は41.4%となっています。



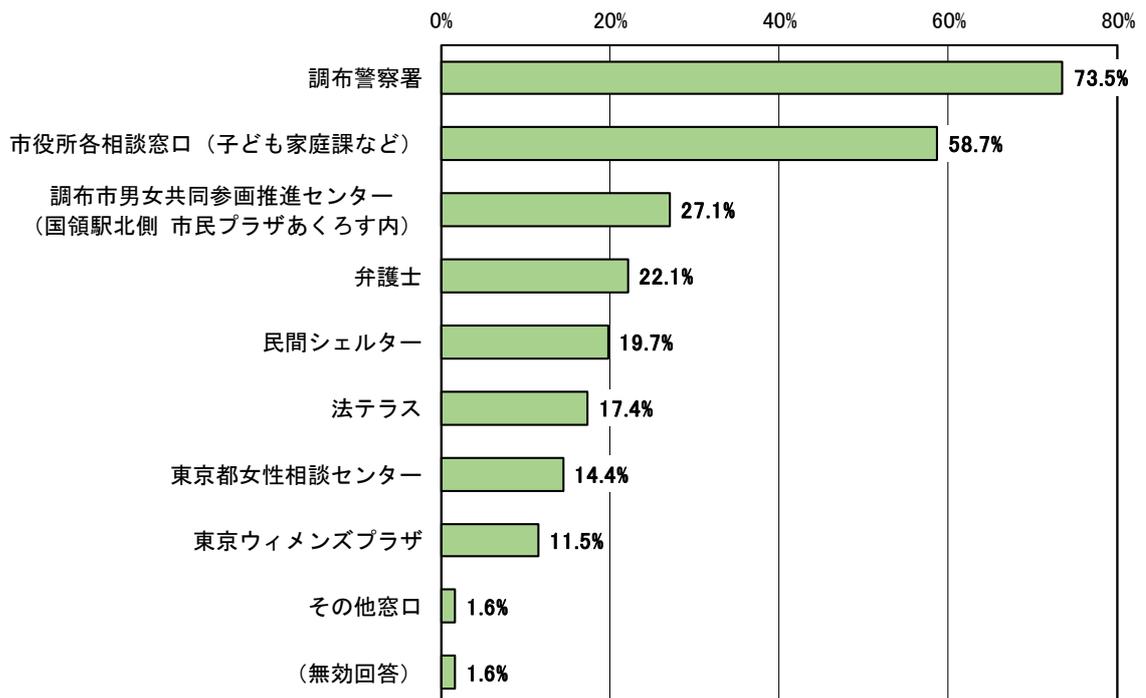
<年齢層別>

○50～59歳、70歳以上では「知っている」が「知らない」を上回っています。



<相談窓口 (n=547) >

○「調布警察署」が73.5%で最も高く、次いで「市役所各相談窓口（子ども家庭課など）」の58.7%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別相談窓口>

○いずれの年齢層でも「調布警察署」が最も高く、「市役所各相談窓口（子ども家庭課など）」が2番目に高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	547 100.0%	11 100.0%	32 100.0%	75 100.0%	108 100.0%	105 100.0%	39 100.0%	36 100.0%	52 100.0%	88 100.0%
調布警察署	402 73.5%	8 72.7%	23 71.9%	57 76.0%	78 72.2%	72 68.6%	29 74.4%	31 86.1%	42 80.8%	62 70.5%
市役所各相談窓口（子ども家庭課など）	321 58.7%	4 36.4%	14 43.8%	48 64.0%	64 59.3%	55 52.4%	20 51.3%	21 58.3%	37 71.2%	58 65.9%
調布市男女共同参画推進センター（国領駅北側 市民プラザあくろす内）	148 27.1%	4 36.4%	14 43.8%	16 21.3%	27 25.0%	30 28.6%	10 25.6%	6 16.7%	13 25.0%	27 30.7%
弁護士	121 22.1%	3 27.3%	6 18.8%	18 24.0%	28 25.9%	28 26.7%	9 23.1%	7 19.4%	7 13.5%	15 17.0%
民間シェルター	108 19.7%	1 9.1%	6 18.8%	15 20.0%	29 26.9%	24 22.9%	8 20.5%	8 22.2%	7 13.5%	10 11.4%
法テラス	95 17.4%	2 18.2%	6 18.8%	13 17.3%	18 16.7%	25 23.8%	9 23.1%	6 16.7%	7 13.5%	9 10.2%
東京都女性相談センター	79 14.4%	1 9.1%	5 15.6%	6 8.0%	19 17.6%	15 14.3%	11 28.2%	3 8.3%	8 15.4%	11 12.5%
東京ウィメンズプラザ	63 11.5%	1 9.1%	3 9.4%	5 6.7%	19 17.6%	16 15.2%	9 23.1%	2 5.6%	5 9.6%	3 3.4%
その他窓口	9 1.6%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	3 7.7%	1 2.8%	0 0.0%	2 2.3%
（無効回答）	9 1.6%	1 9.1%	0 0.0%	2 2.7%	0 0.0%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.3%

（上段：実数（人），下段：構成比）

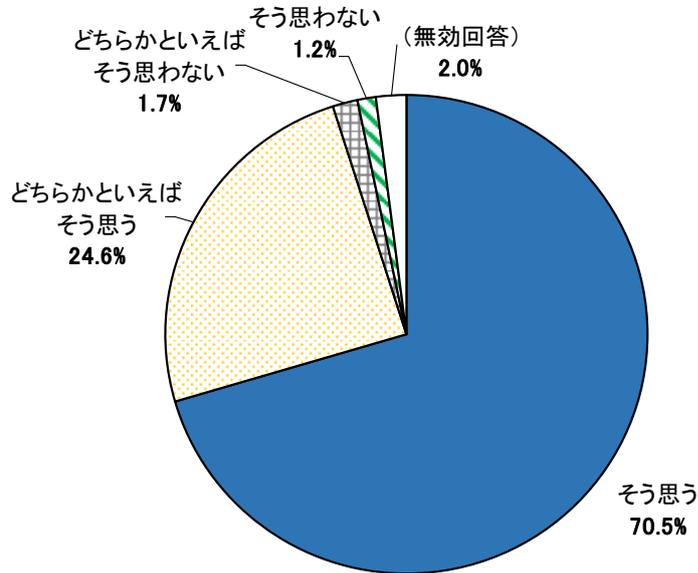
回答割合が最も高い： 0.0%

回答割合が2番目に高い： 0.0%

問 61) あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。

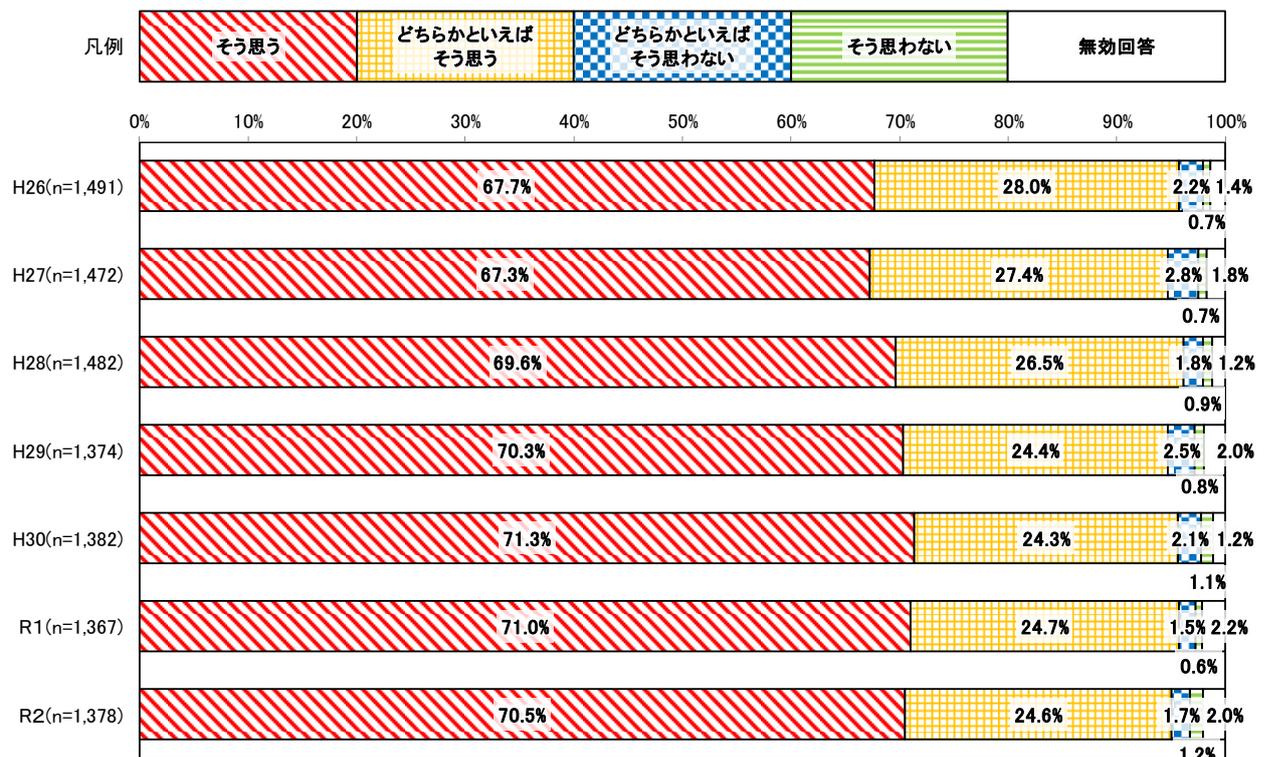
<全体 (n=1378) >

○「そう思う」が70.5%、「どちらかといえばそう思う」が24.6%で、合計95.1%を占めています。



<経年比較>

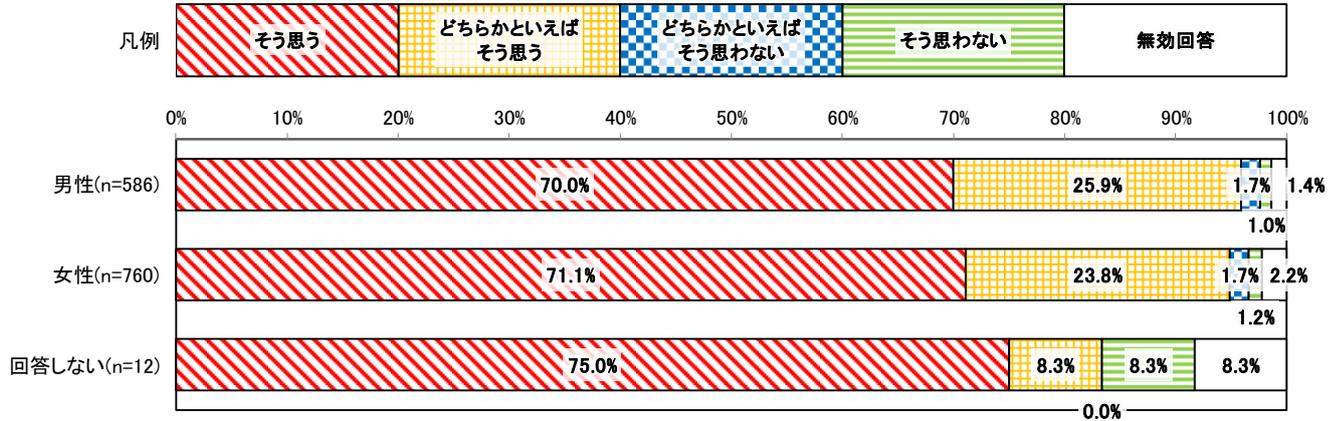
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成26年度以降、一貫して95%前後で推移しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

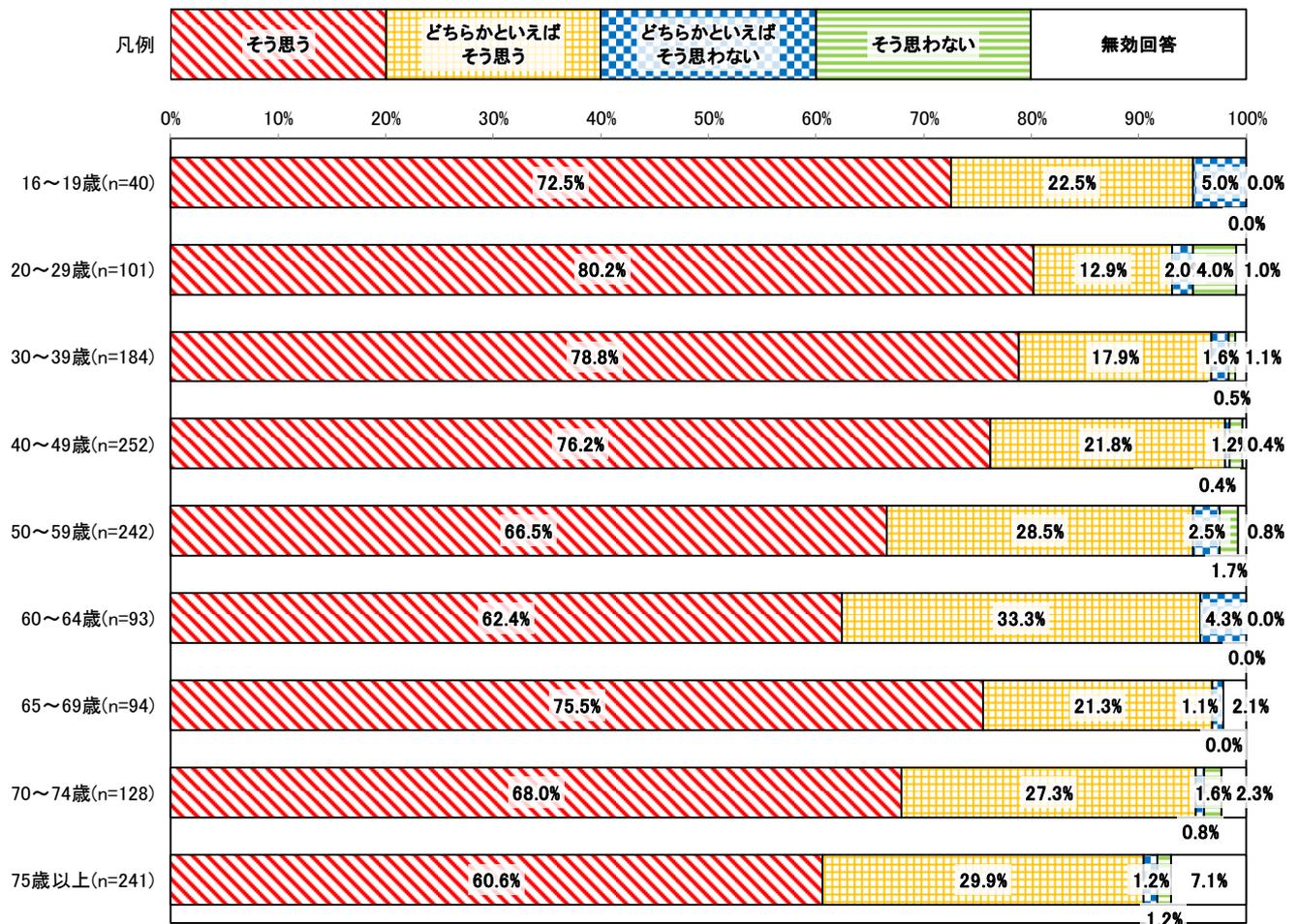
<性別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、男性が95.9%、女性が94.9%となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が90%台となっています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

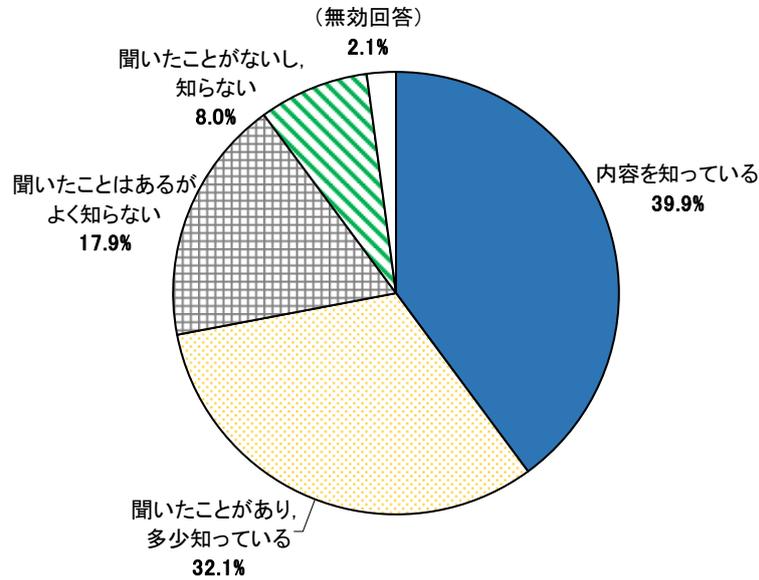
【図表 人権・男女共同参画に関する施策についてのご意見・ご提案】(62件)

- ・学校での教育, 企業教育
- ・男性のコミュニケーションの場など, 勉強会などを増やしてほしい。

問 62) あなたは、多様な性に関してLGBTやSOGIという言葉を知っていますか。

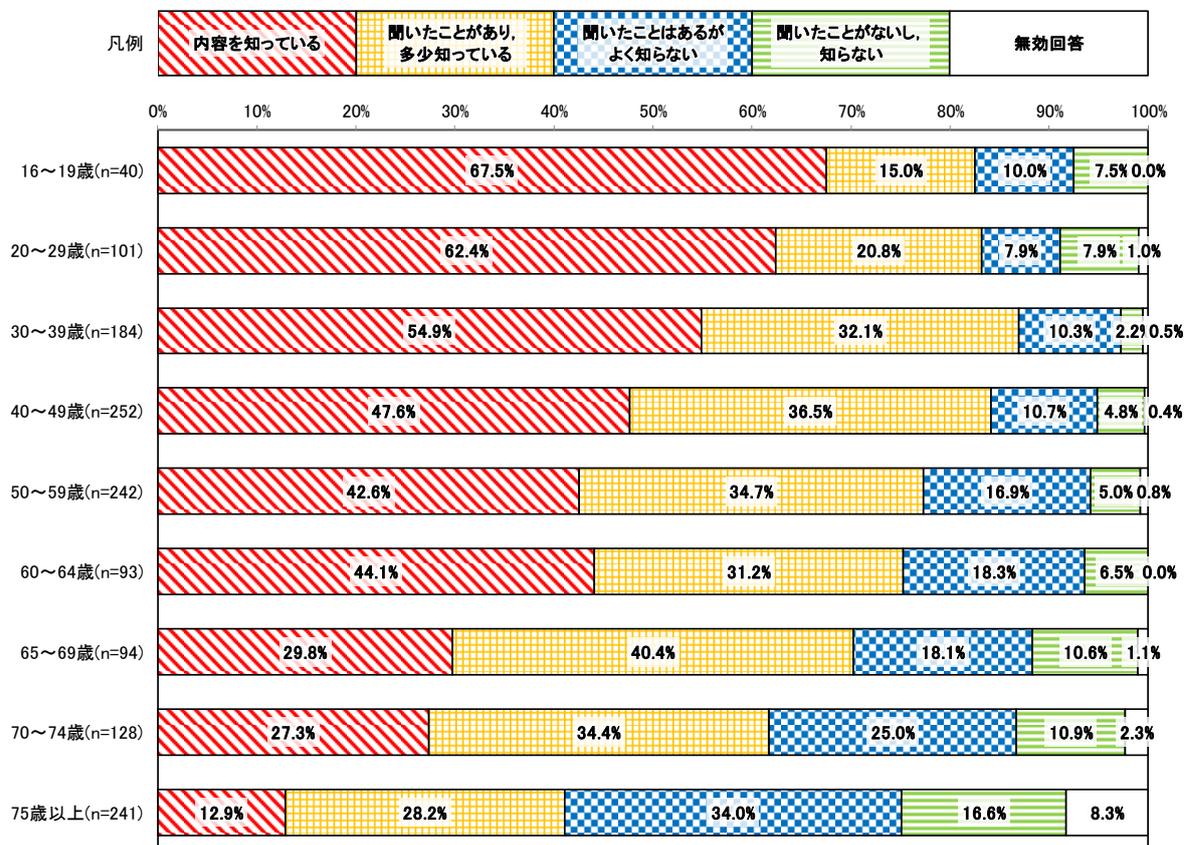
<全体 (n=1378) >

○「内容を知っている」が39.9%、「聞いたことがあり、多少知っている」が32.1%で、合計72.0%を占めています。



<年齢層別>

○「内容を知っている」と「聞いたことがあり、多少知っている」の合計は、70歳以上を除くいずれの年齢層でも70%以上となっています。

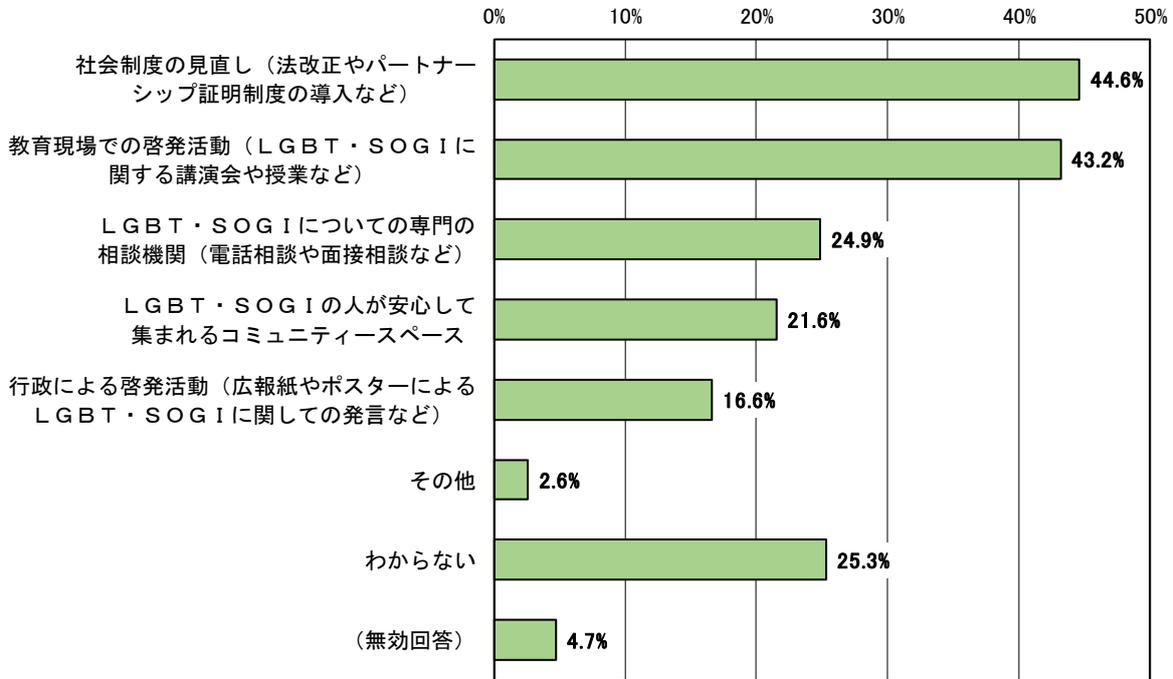


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

問 63) あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。

<全体 (n=1378) >

○「社会制度の見直し」が44.6%で最も高く、次いで「教育現場での啓発活動」の43.2%、「LGBT・SOGIについての専門の相談機関」の24.9%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも「社会制度の見直し」,「教育現場での啓発活動」が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,378	40	101	184	252	242	93	94	128	241
社会制度の見直し (法改正やパートナーシップ証明制度の導入など)	615	24	59	106	142	119	42	31	42	49
教育現場での啓発活動 (LGBT・SOGIに関する講演会や授業など)	595	20	42	99	130	117	43	37	49	57
LGBT・SOGIについての専門の相談機関 (電話相談や面接相談など)	343	10	24	46	71	62	28	25	35	40
LGBT・SOGIの人が安心して集まれるコミュニティースペース	297	12	28	50	64	53	23	12	24	30
行政による啓発活動 (広報紙やポスターによるLGBT・SOGIに関する発言など)	229	6	13	25	33	49	13	21	26	42
その他	36	0	4	5	7	12	1	2	1	4
わからない	349	10	18	27	39	56	22	32	51	93
(無効回答)	65	0	2	3	5	5	2	5	2	41

(上段:実数(人), 下段:構成比)
 回答割合が最も高い: 0.0%
 回答割合が2番目に高い: 0.0%

<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

【図表 上記の取組が必要だと思う理由】(62件)

- ・多様な性を公にみとめることが大事だと思います。
- ・パートナーシップ証明制度は今後多様な家族のありかたを認める為にも必要だと思うから
- ・偏見を増やさないようにするなら、小学校道徳で学ぶのが理想的に思う。
- ・行政が積極的にやることなのか今ひとつ疑問があります。

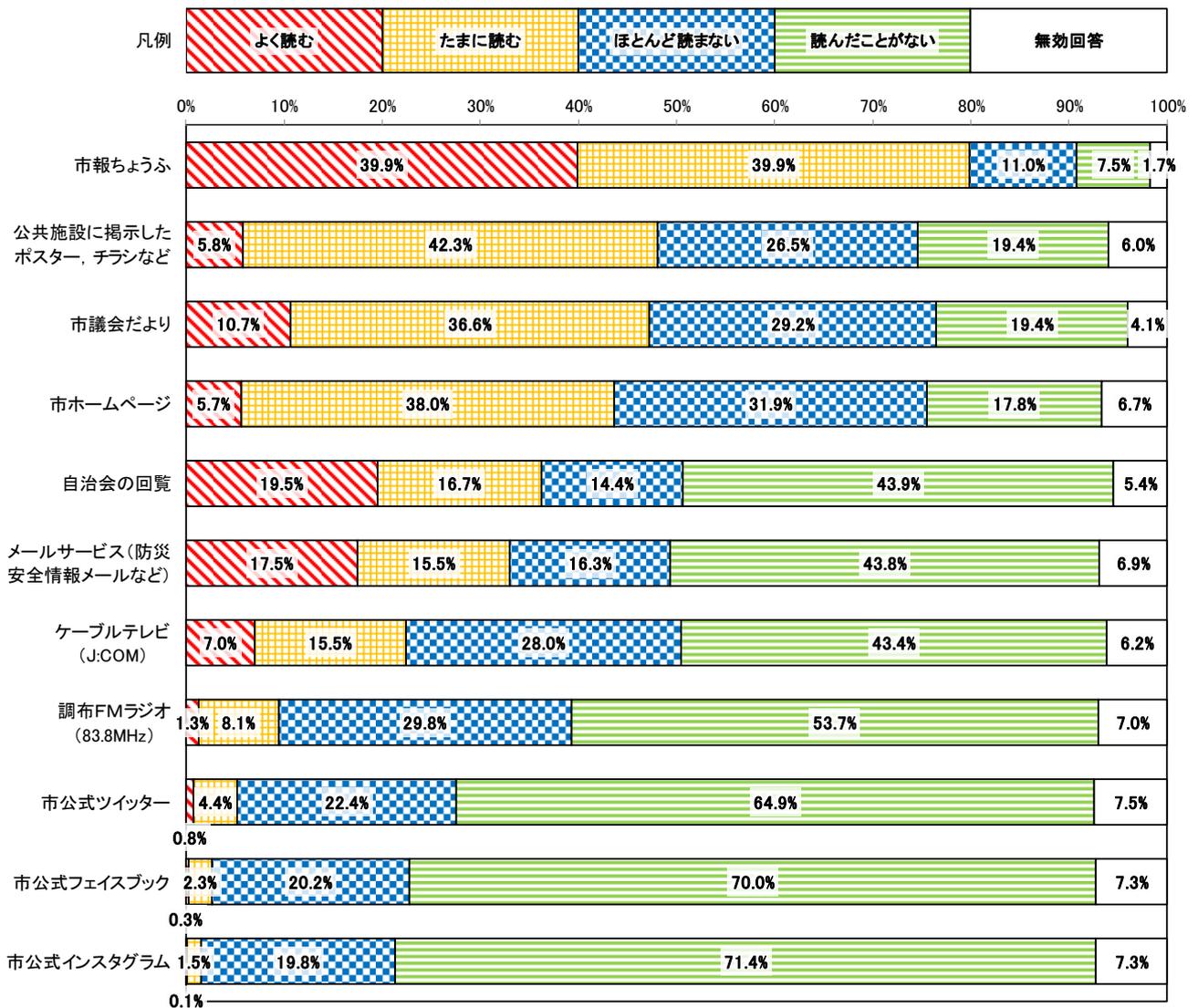
【市政等の情報について】

問 64) あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。

<全体 (n=1378) >

○「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計は、「市報ちようふ」が79.8%で最も高く、次いで「公共施設に掲示したポスター、チラシなど」の48.1%、「市議会だより」の47.3%の順となっています。

○一方、「読んだことがない・見たことがない・聴いたことがない」と「ほとんど読まない・見ない・聴かない」の合計は、「市公式インスタグラム」が91.2%で最も高く、次いで「市公式フェイスブック」の90.2%の順となっています。

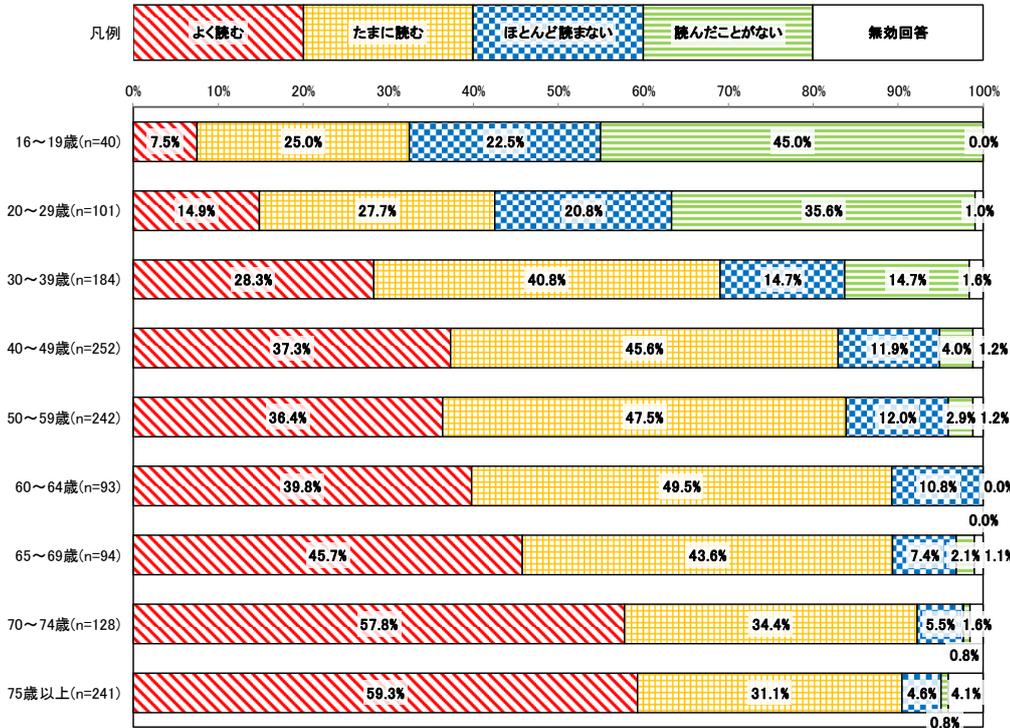


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

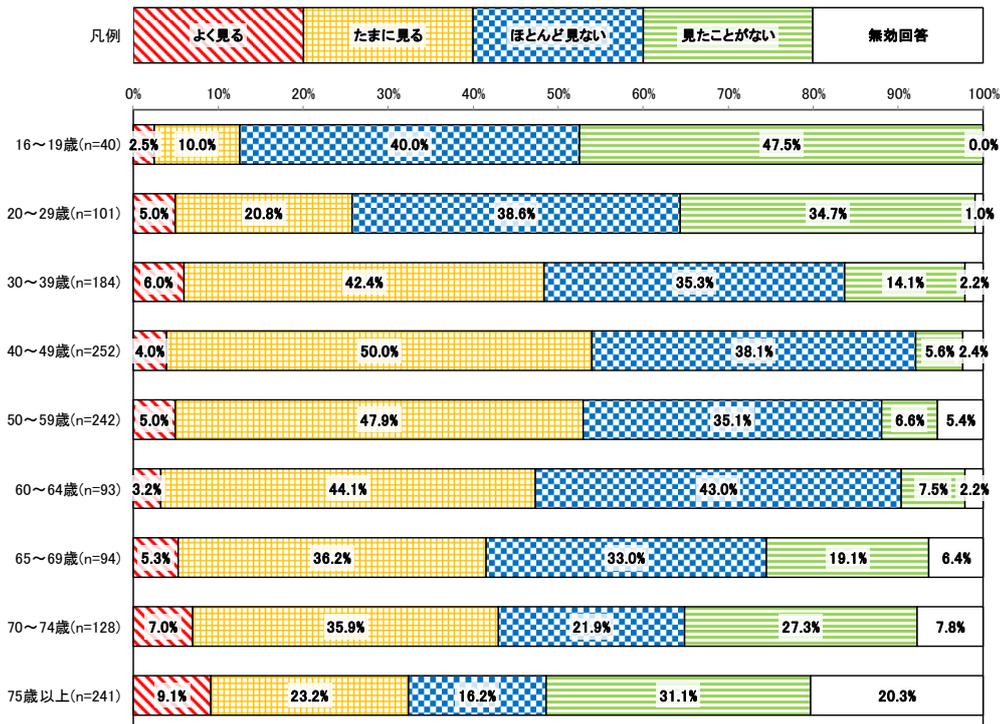
<年齢層別>

- 「ア 市報ちようふ」と「サ 市議会だより」については、年齢層が上がるにつれて「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計が高くなっており、特に「ア 市報ちようふ」は40歳以上の年齢層で80%を超えています。
- 「ク メールサービス」では、40～59歳の年齢層の「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計が、他の年齢層に比べて高くなっています。

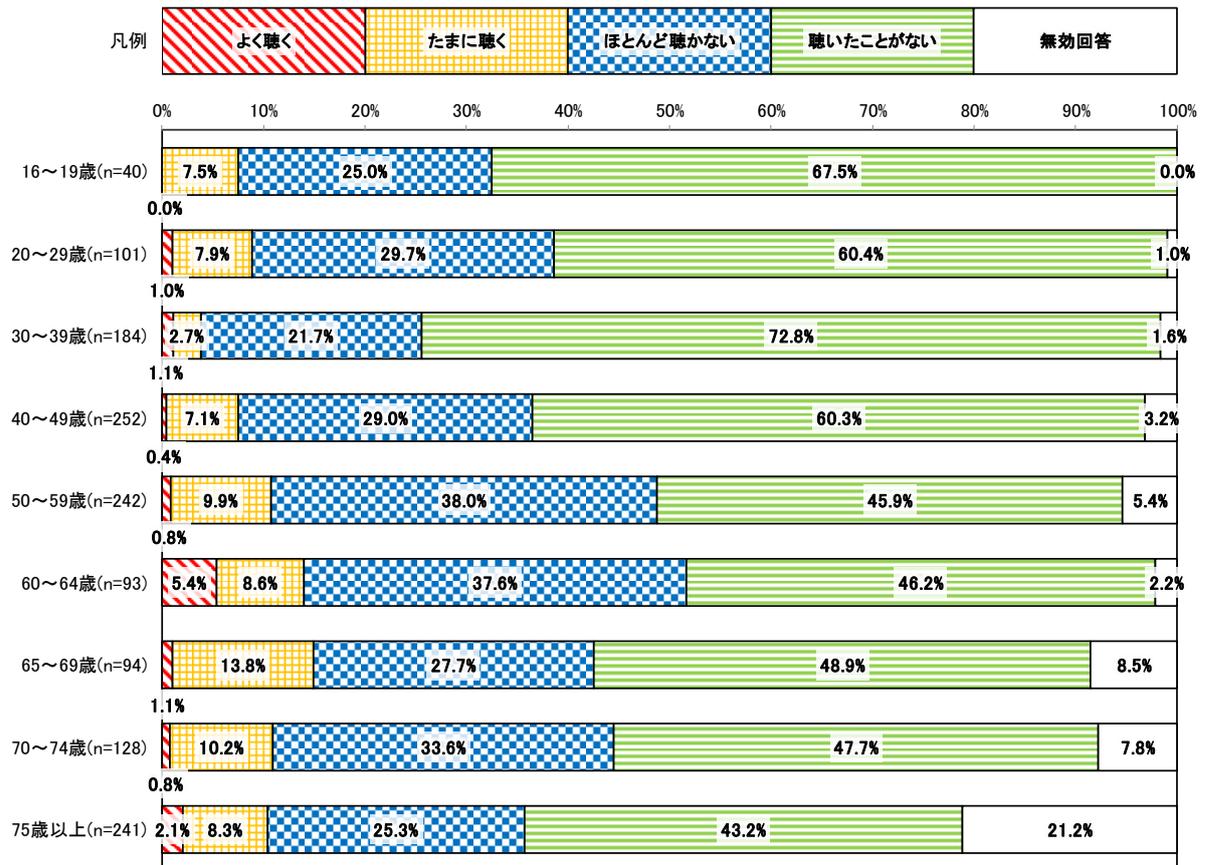
ア 市報ちようふ



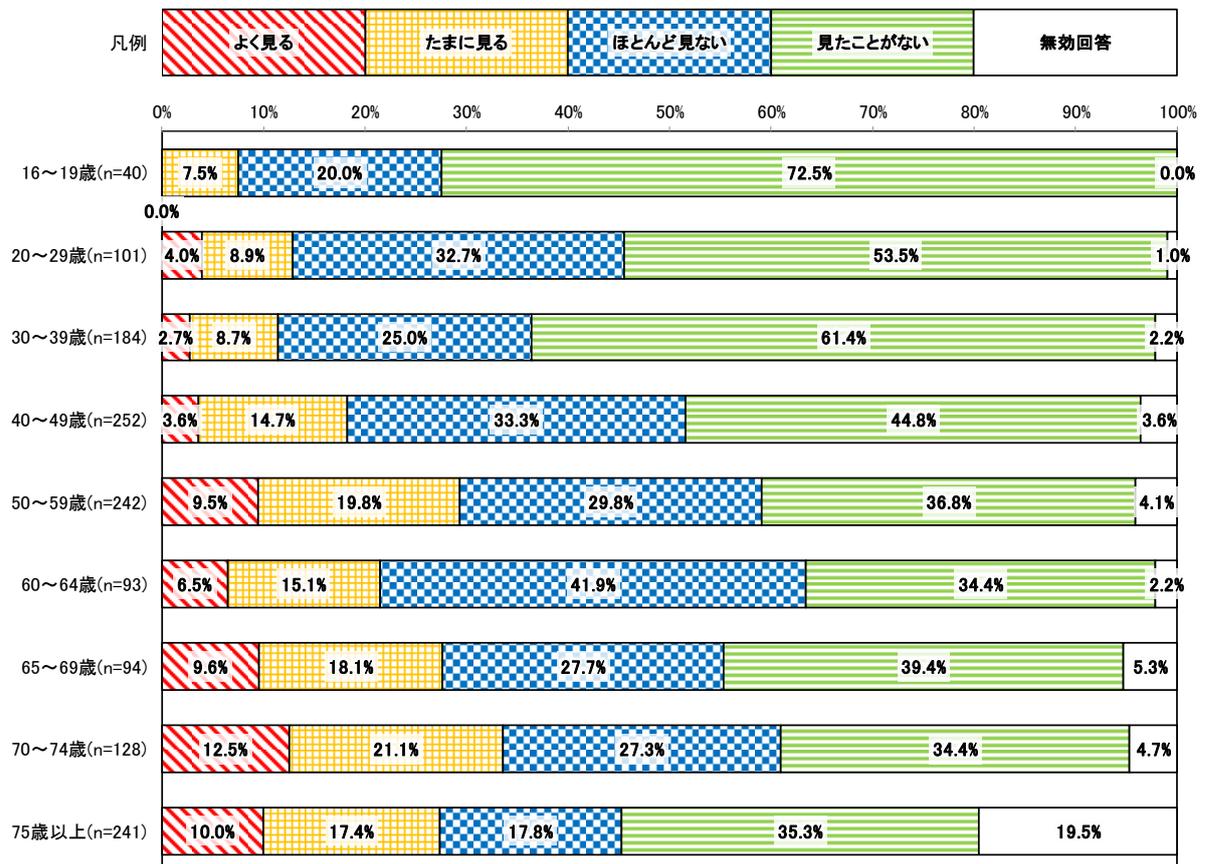
イ 市ホームページ



ウ 調布 FM ラジオ (83.8MHz)

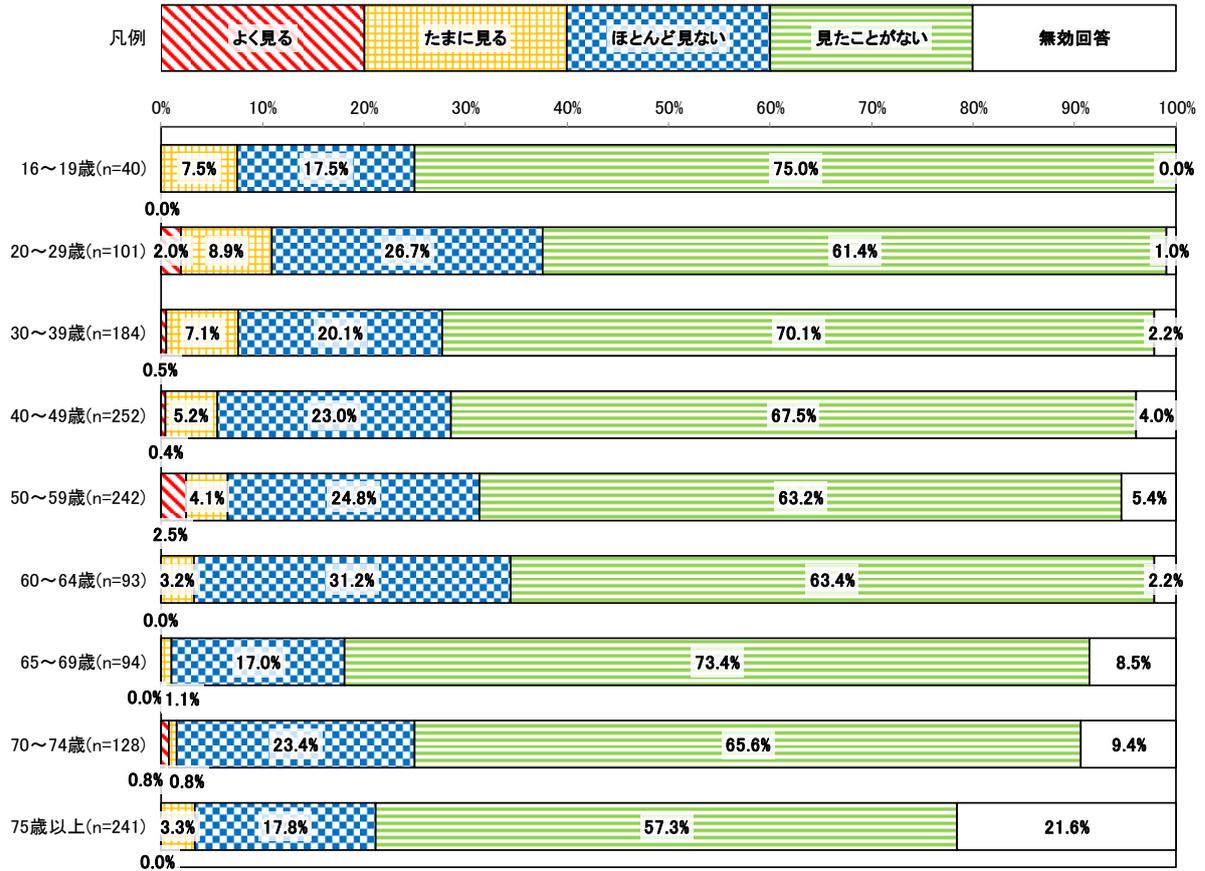


エ ケーブルテレビ (J:COM)

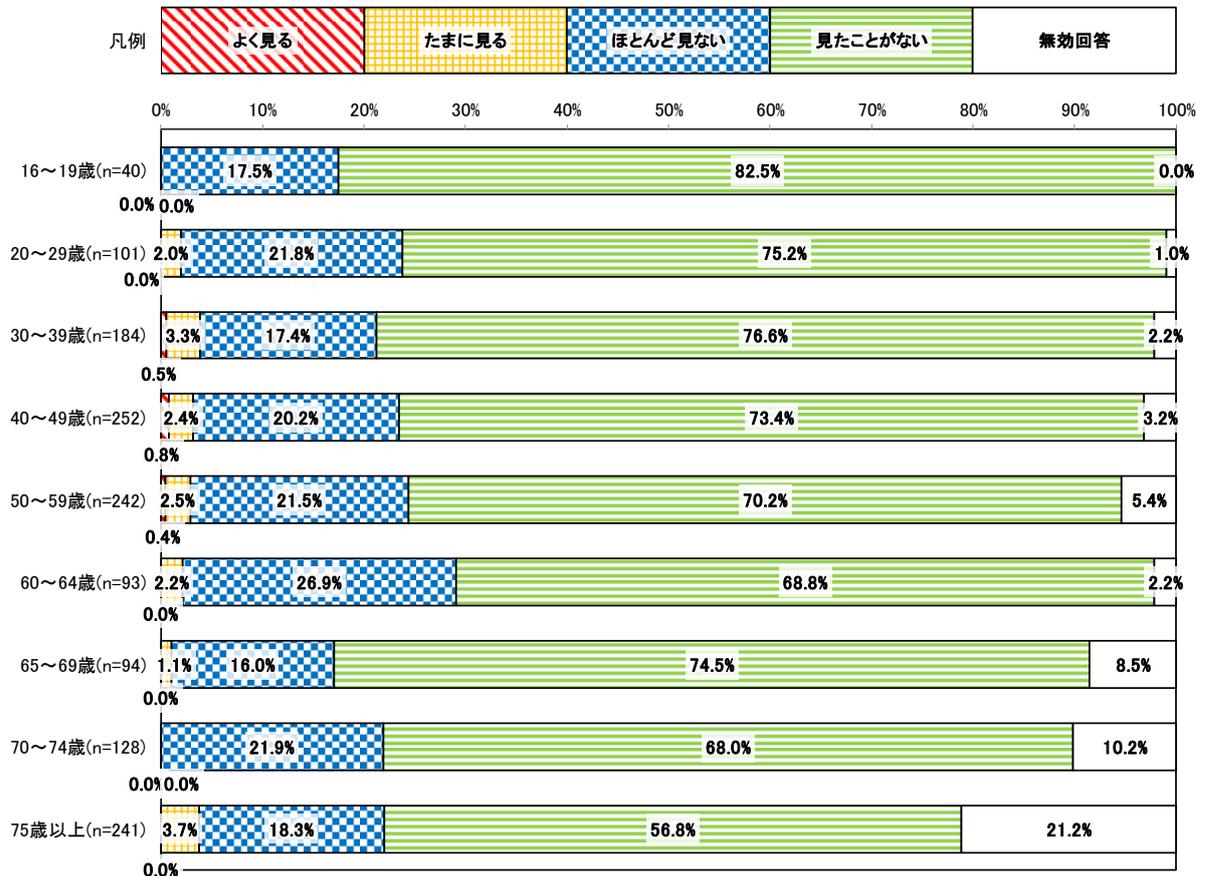


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

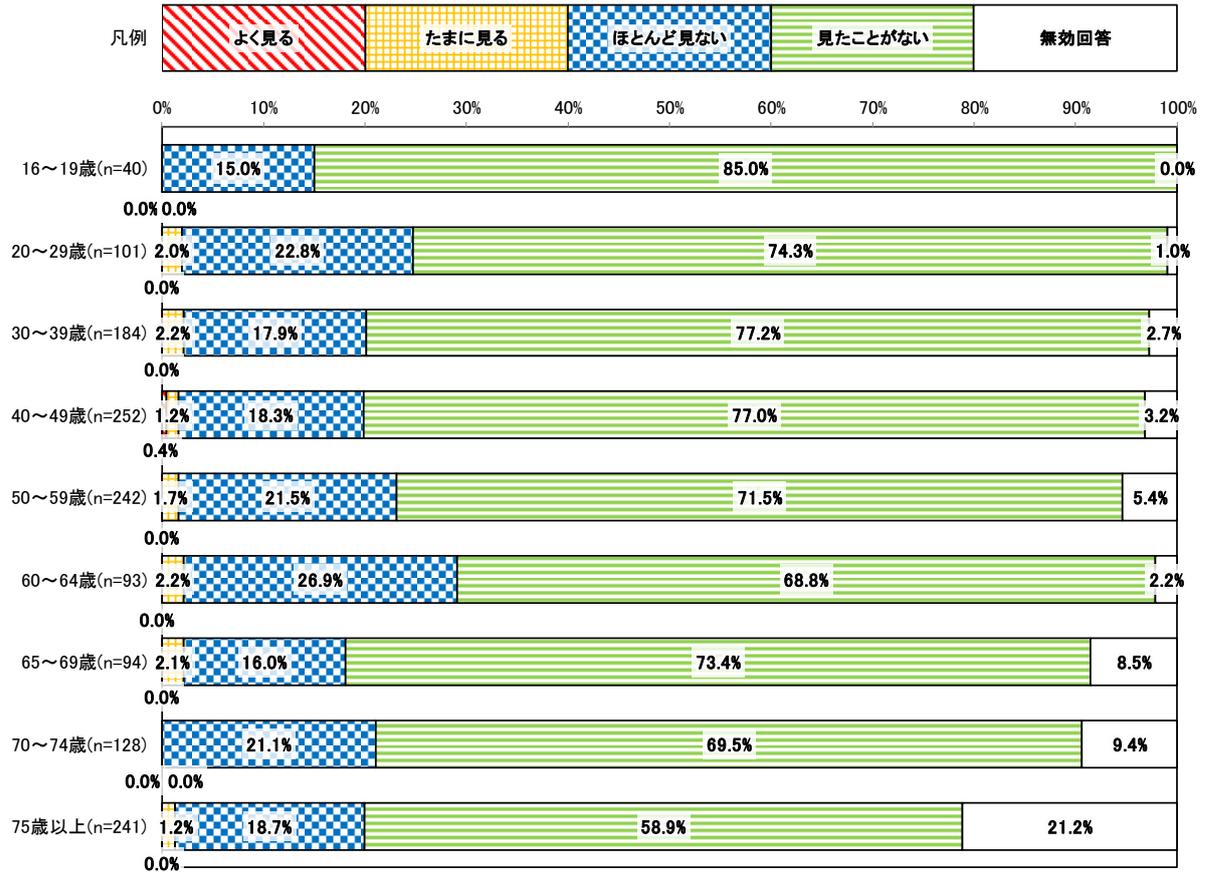
オ 市公式ツイッター



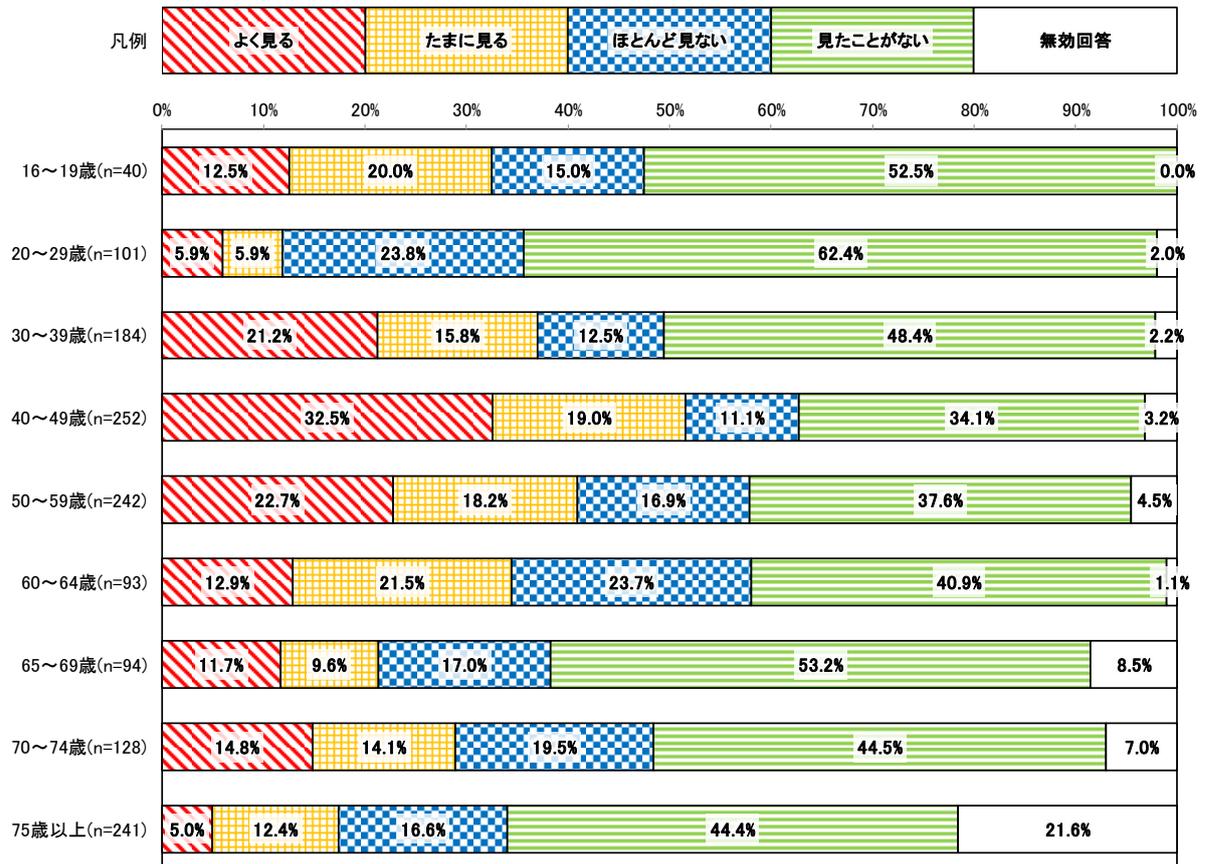
カ 市公式フェイスブック



キ 市公式Instagram

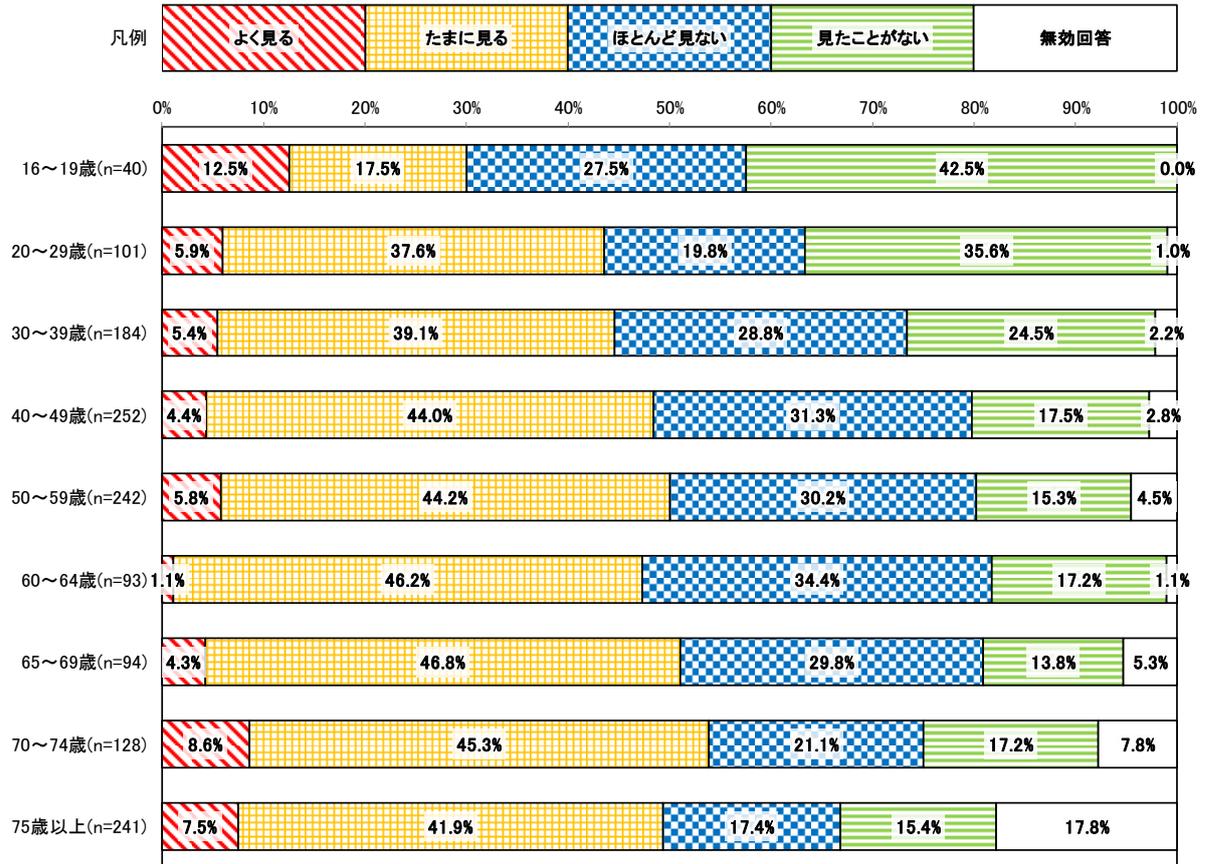


ク メールサービス

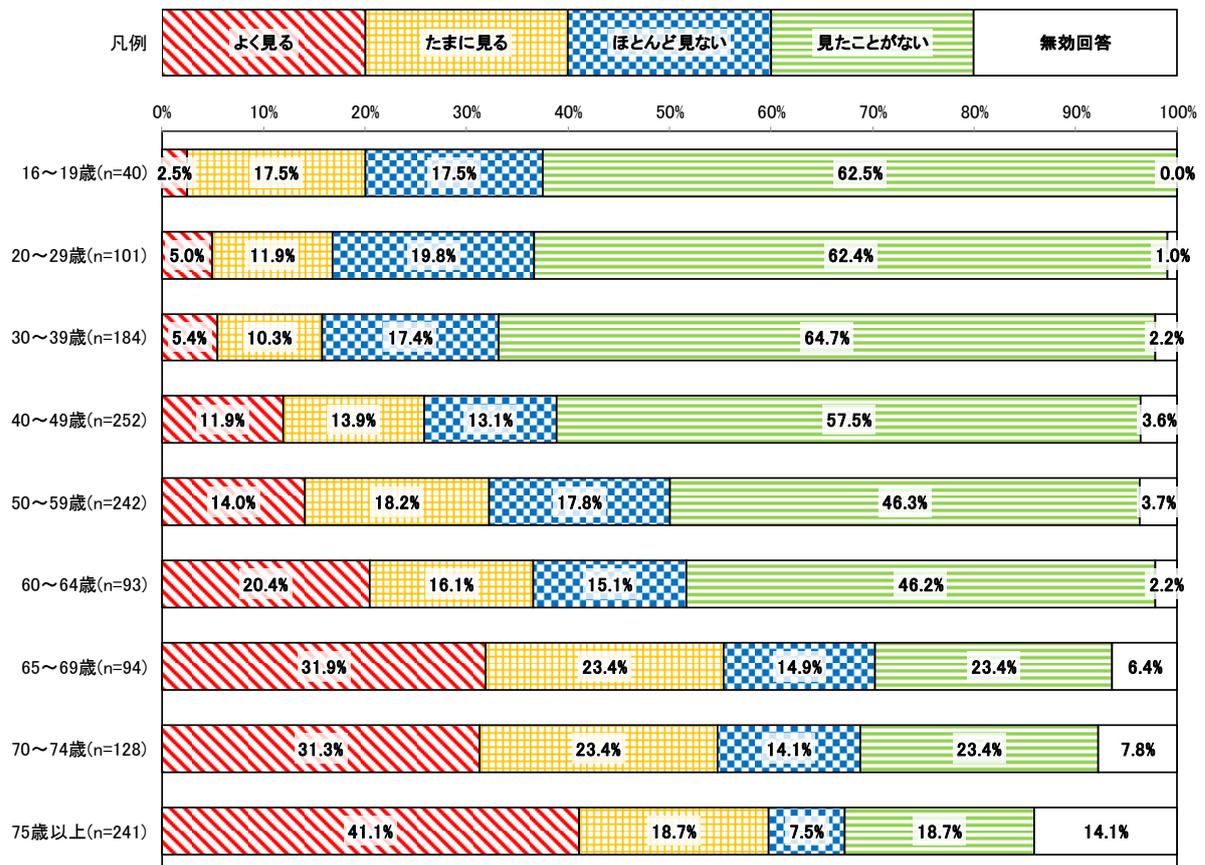


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

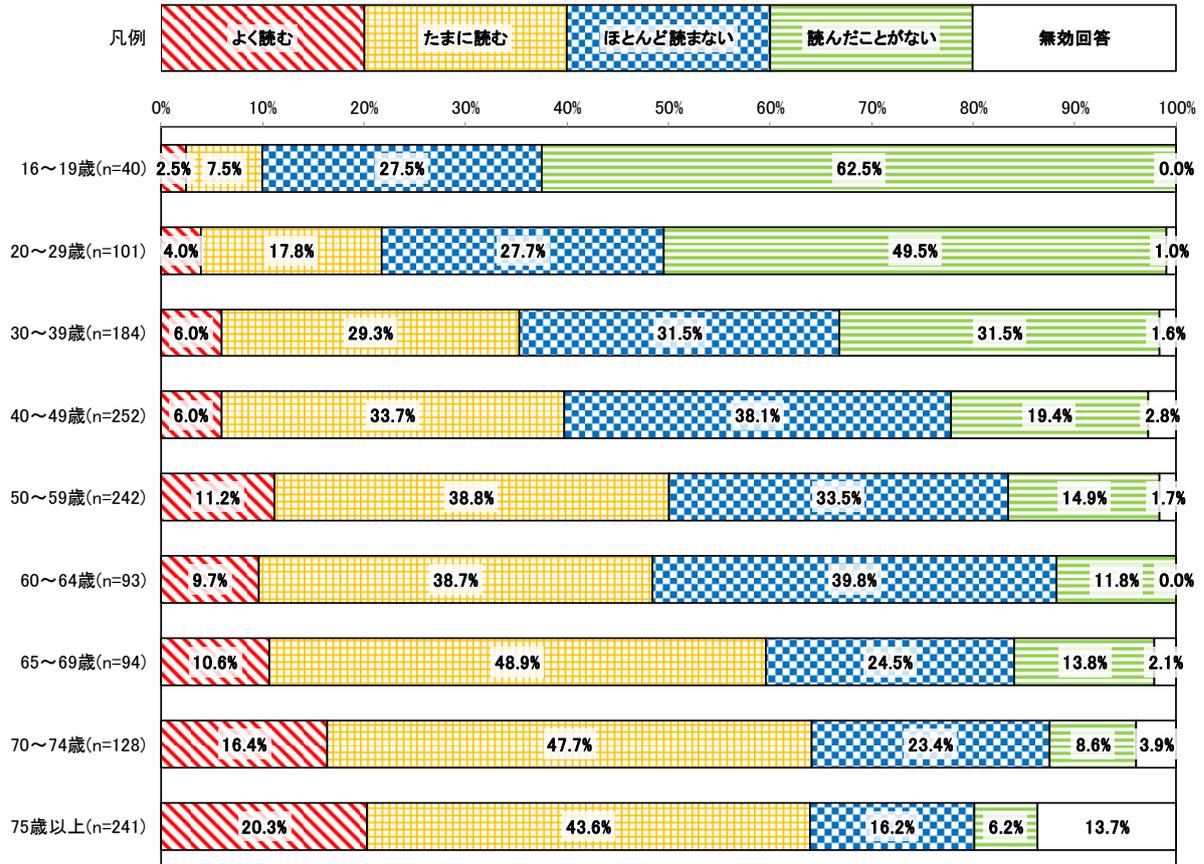
ケ 公共施設に掲示したポスター，チラシなど



コ 自治会の回覧



サ 市議会だより



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

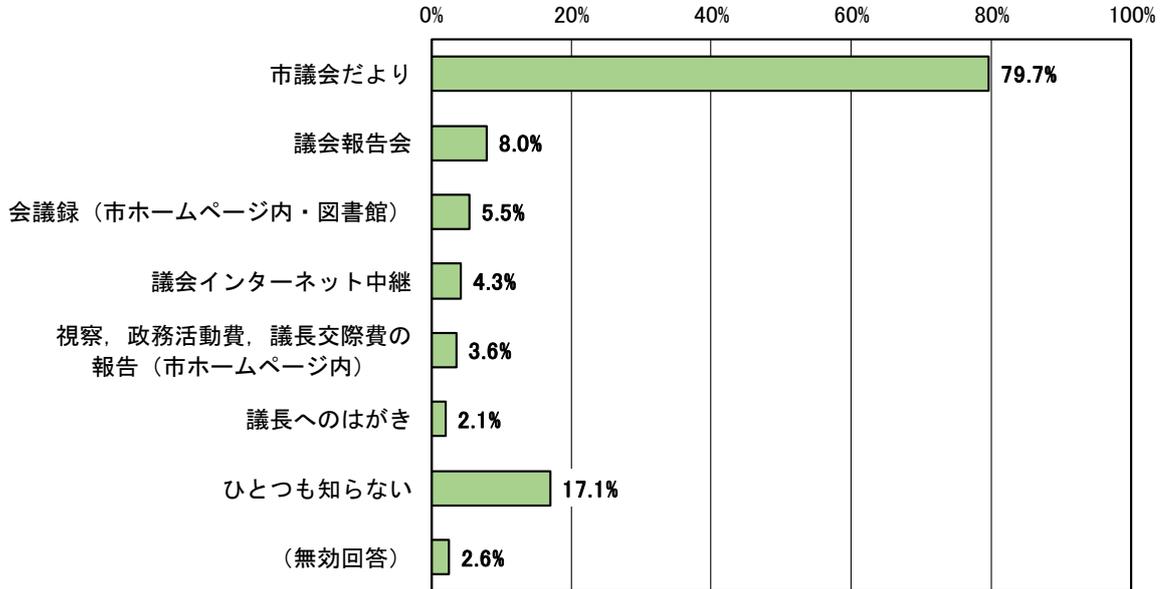
【図表 市政の情報発信についてのご意見・ご提案】(31件)

- ・ ホームページの必要なページが探しづらいと思う。また情報の更新も遅い。
- ・ 市報も、希望される人だけに配り、ペーパーレスにしてもいいと思う。配られるから読んでいる。
- ・ 日々、仕事をしているため、忙しい。簡単に見れるライン導入

問 65) 市議会が行っている広報、広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。

<全体 (n=1378) >

○「調布市議会だより」が79.7%で最も高く、次いで「議会報告会」の8.0%、「会議録（市ホームページ内・図書館）」の5.5%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「市議会だより」が最も高くなっています。特に、40歳以上の年齢層では80%以上を占めています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,378	40	101	184	252	242	93	94	128	241
市議会だより	1,098	21	61	124	213	208	84	78	112	194
議会報告会	110	2	4	7	6	15	5	16	17	38
会議録（市ホームページ内・図書館）	76	2	8	8	21	19	4	3	7	4
議会インターネット中継	59	2	7	8	21	9	3	2	3	4
視察、政務活動費、議長交際費の報告（市ホームページ内）	50	1	5	6	10	9	4	2	7	6
議長へのはがき	29	1	3	5	4	8	3	2	1	2
ひとつも知らない	235	19	38	54	36	30	9	11	14	24
(無効回答)	36	0	2	2	2	4	0	2	2	22

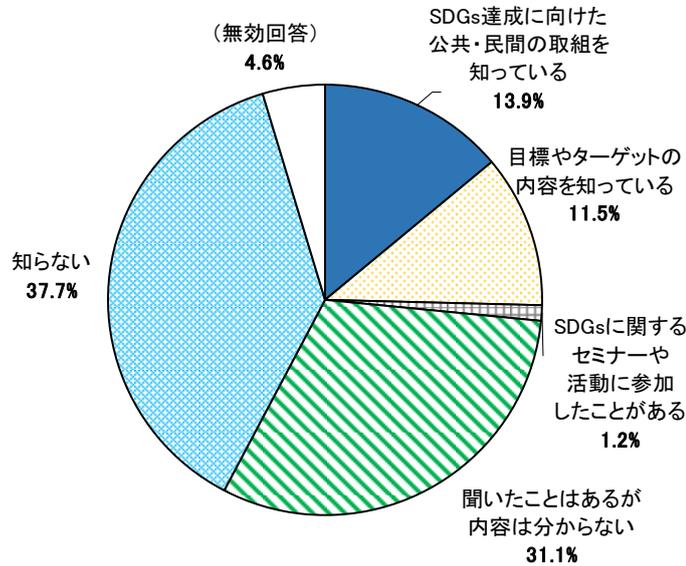
(上段：実数(人)、下段：構成比)
 回答割合が最も高い： 0.0%
 回答割合が2番目に高い： 0.0%

【SDGsについて】

問 66) あなたは、国連で採択された持続可能な開発目標 SDGs を知っていますか。

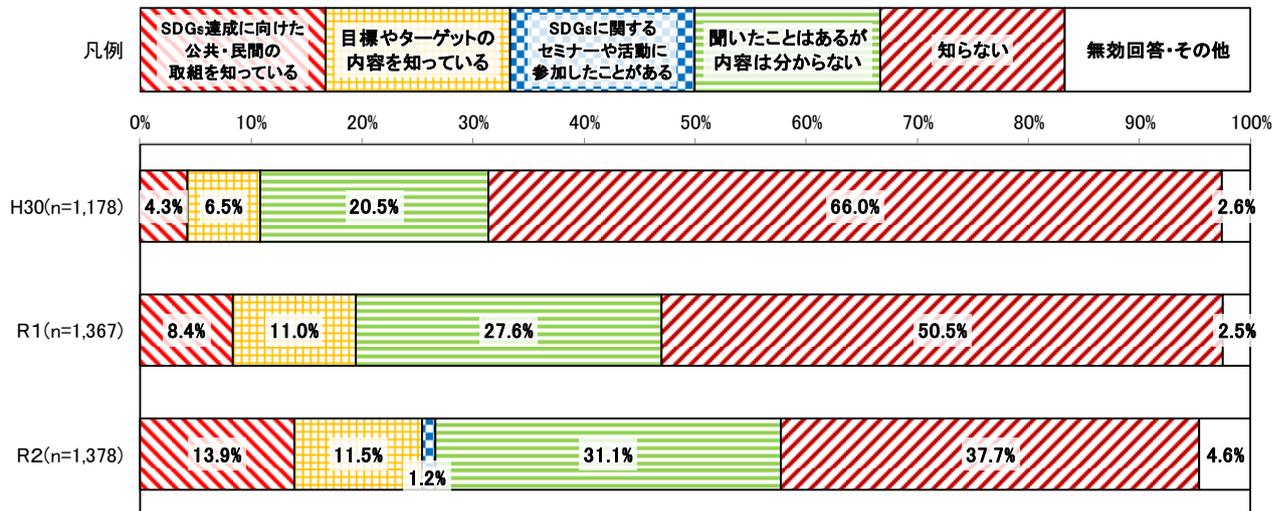
<全体 (n=1378) >

○「SDGs 達成に向けた公共・民間の取組を知っている」が 13.9%、「目標やターゲットの内容を知っている」が 11.5%、「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」が 1.2%で合計 26.6%、また、「知らない」は 37.7%となっています。



<経年比較>

○「SDGs 達成に向けた公共・民間の取組を知っている」と「目標やターゲットの内容を知っている」の合計は、令和 2 年度は前年度 (19.4%) に比べ 6.0 ポイント増加しています。



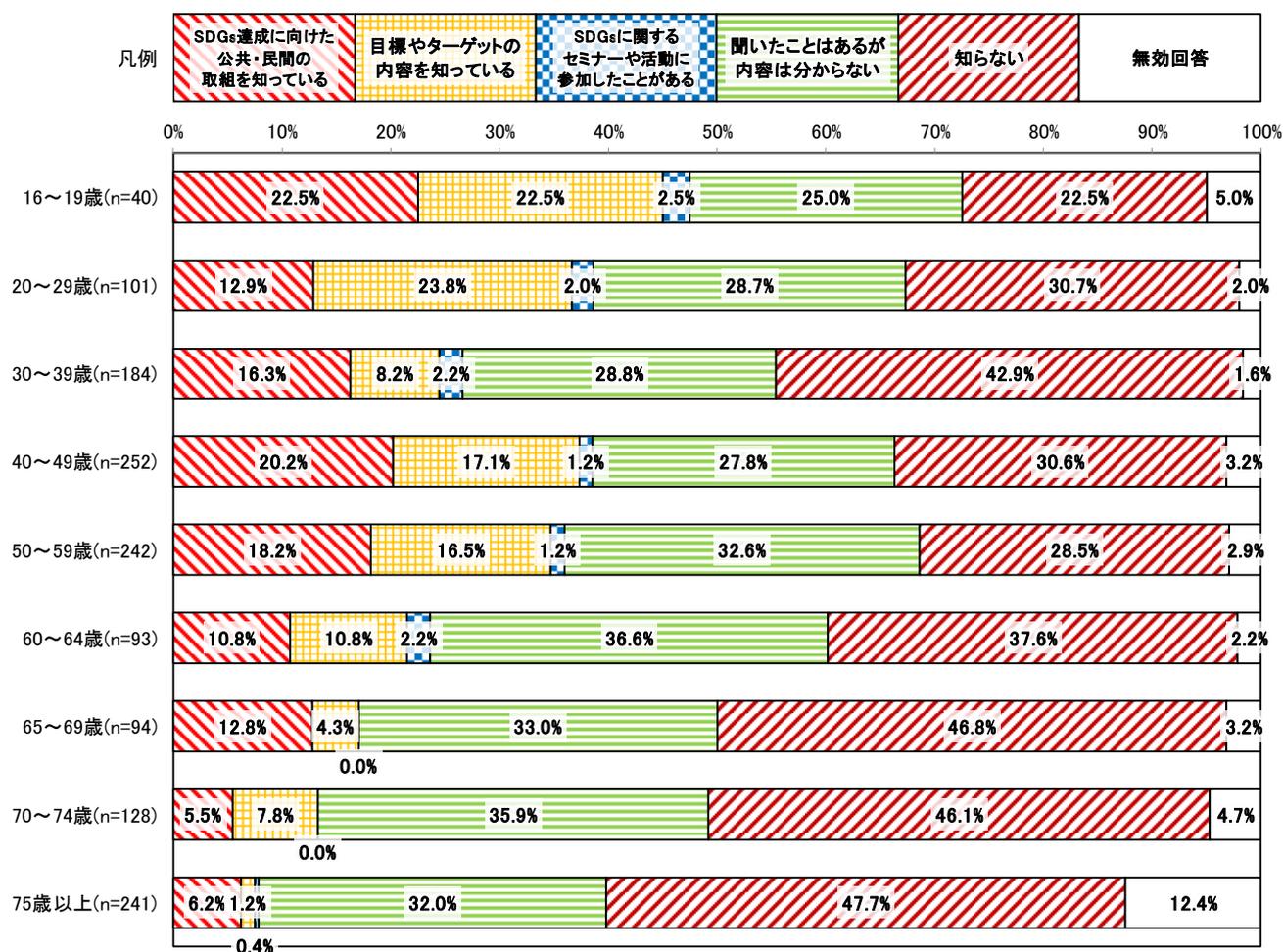
※ 1 平成 30 年度は「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査 (調査期間: H30. 12. 28~H31. 1. 18)」による把握値

※ 2 「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」は、令和 2 年度から新たに設定した選択肢です。

第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

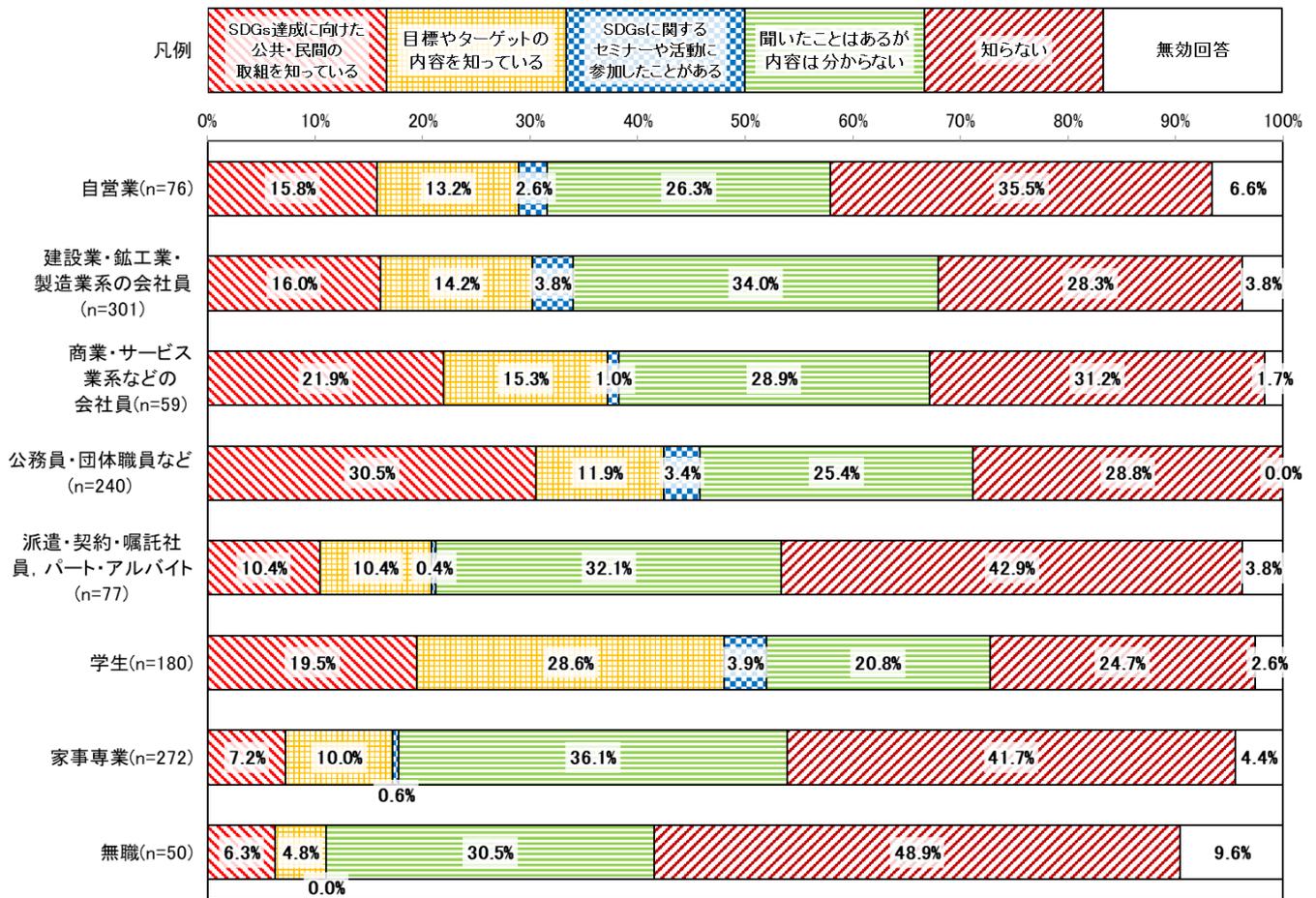
<年齢層別>

○「SDGs 達成に向けた公共・民間の取組を知っている」、「目標やターゲットの内容を知っている」、「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」の合計は、16～19歳が47.5%で最も高く、次いで20～29歳の38.7%、40～49歳の38.5%の順となっています。



<職業別>

○「SDGs 達成に向けた公共・民間の取組を知っている」、「目標やターゲットの内容を知っている」、「SDGs に関するセミナーや活動に参加したことがある」の合計は、学生が 52.0%で最も高く、次いで公務員・団体職員などの 45.8%，商業・サービス業系などの会社員の 38.2%の順となっています。



<自由記述> 主な意見を原文のまま抜粋

【図表 SDGs に関するご意見・ご提案】(36 件)

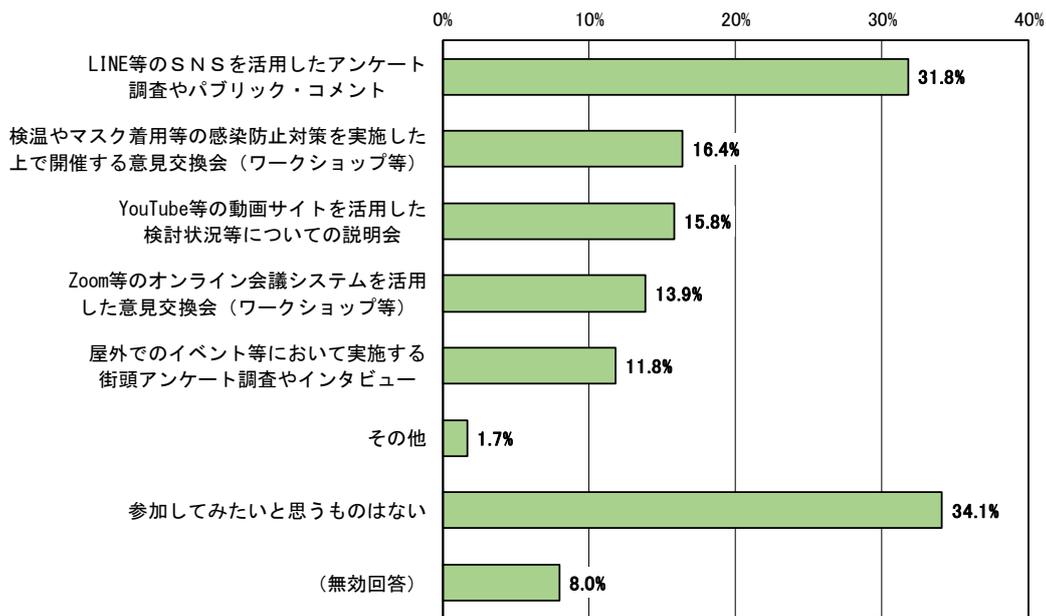
- ・大切なことなのでもっとPRしてほしい。
- ・市としての取組状況や進展，結果について，もう少し具体的に情報を提出希望。

【市民参加について】

問 67) 現在，新型コロナウイルスの感染拡大の状況が今なお不透明な中で，多くの市民の意見が行政に届きやすくするために，あなたは，次のうちどのような手法であれば参加してみたいと思いますか。

<全体 (n=1378) >

- 「LINE等のSNSを活用したアンケート調査やパブリック・コメント」が31.8%と最も高く，次いで「検温やマスク着用等の感染防止対策を実施した上で開催する意見交換会（ワークショップ等）」が16.4%，「YouTube等の動画サイトを活用した検討状況等についての説明会」が15.8%の順となっています。
- また，「参加してみたいと思うものはない」は34.1%となっています。



<年齢層別>

○16～64歳では，「LINE等のSNSを活用したアンケート調査やパブリック・コメント」，65歳以上では「検温やマスク着用等の感染防止対策を実施した上で開催する意見交換会」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,378	40	101	184	252	242	93	94	128	241
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
LINE等のSNSを活用したアンケート調査やパブリック・コメント	438	22	49	94	108	87	29	14	18	16
	31.8%	55.0%	48.5%	51.1%	42.9%	36.0%	31.2%	14.9%	14.1%	6.6%
検温やマスク着用等の感染防止対策を実施した上で開催する意見交換会（ワークショップ等）	226	1	10	31	30	40	16	18	33	46
	16.4%	2.5%	9.9%	16.8%	11.9%	16.5%	17.2%	19.1%	25.8%	19.1%
YouTube等の動画サイトを活用した検討状況等についての説明会	218	9	33	41	53	49	13	8	6	6
	15.8%	22.5%	32.7%	22.3%	21.0%	20.2%	14.0%	8.5%	4.7%	2.5%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した意見交換会（ワークショップ等）	191	6	13	42	48	48	18	4	5	6
	13.9%	15.0%	12.9%	22.8%	19.0%	19.8%	19.4%	4.3%	3.9%	2.5%
屋外でのイベント等において実施する街頭アンケート調査やインタビュー	163	5	11	16	30	31	9	15	13	31
	11.8%	12.5%	10.9%	8.7%	11.9%	12.8%	9.7%	16.0%	10.2%	12.9%
その他	23	0	0	0	4	3	2	0	3	11
	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.2%	2.2%	0.0%	2.3%	4.6%
参加してみたいと思うものはない	470	10	23	49	66	77	35	49	56	104
	34.1%	25.0%	22.8%	26.6%	26.2%	31.8%	37.6%	52.1%	43.8%	43.2%
(無効回答)	110	4	6	6	10	13	5	6	14	46
	8.0%	10.0%	5.9%	3.3%	4.0%	5.4%	5.4%	6.4%	10.9%	19.1%

（上段：実数（人），下段：構成比）
 回答割合が最も高い： 0.0%
 回答割合が2番目に高い： 0.0%